

令和２年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

インフラ長寿命化のための児童福祉施設等における
更新費用等の算定に関する調査研究

事業報告書

令和３年３月

PwC コンサルティング合同会社

要旨

【事業の目的】

本事業は、全国の公立の児童福祉施設等の更新費用の効率化に資することを目的として実施した。児童福祉施設等についてその現状（築年数や面積、構造等）を把握するとともに、改築や更新等の将来必要となる対策を行った場合に建造物の存続期間全体でかかる費用、すなわち「ライフサイクルコスト（以下、「LCC」と表記する。）」を試算した。そのうえで、長寿命化工事（予防保全）を実施することによる更新費用の効率化効果を検証した。

【研究方法】

児童福祉施設等に関する LCC を算出するために必要なデータを、全国の地方自治体を対象としたアンケート調査を実施することにより収集した。アンケート調査の調査票は本体と個票で構成するつくりとし、個票では、1自治体あたり最大4施設に関する回答を得た。調査票では、個票において対象とする建物の延床面積や建築年度等の基本情報を調査するとともに、LCC 算出のために必要となる主要な費目である、「建築コスト」、「運用コスト」、「保全コスト」、「解体処理コスト」に関する実績値及び見込み値（金額）を調査した。

こうした調査によって得られた結果に基づいて、児童福祉施設の建築から解体までの期間の LCC を算出するためのモデル（以下、単に「モデル」と呼ぶ）を構築し、これにより試算を行った。

【研究結果】

アンケート調査で得られた結果に基づいて、「建築コスト」、「運用コスト」、「保全コスト」、「解体処理コスト」等に関して、建物の施設種別、面積及び築年数と LCC との関係を示す算出モデルを入所系施設について1種類、通所系施設について2種類（保育所とそれ以外の施設）構築した。このモデルを用いて、現実に近いと想定されるケース（建築以降 30 年間施設の保全を十分に行っていない状況の下で、31 年以降の対策を3通り設定し、それぞれ検討）にて試算を行ったところ、長寿命化を図ることにより LCC の低減を図ることができることが明らかになった。したがって、コストの低減を図る観点から長寿命化を実施することが望ましいことが示された。

【考察】

今回の調査結果を鑑みると、運用・保全を実施するうえで、運用や保全を行った履歴やその時の予算・実支出等のデータを残し、いつでも参照できるようにしておくことが求められる。調査結果から建物の経年劣化により運用や保全にかかる各種コストが増加する傾向にあることが明らかになり、試算においても割高な単価を設定した。自治体において建物の保全に関する予算策定においてもこうした経年変化の影響を織り込むことが必要となる。さらには、データの変化を見る中で明らかにこれまでと異なる傾向がある場合には、隠れた故障等が存在することがあるため、大きな影響を及ぼす前に事前に保全を施すことが可能となる場合がある。

今回の試算では取り入れていないが、故障等に都度対応するという方法をとった場合、対応期間中は施設の提供ができなくなる可能性がある。そうした損失を考慮すると、故障前に定期的に対応を行うことの効用はさらに大きなものとなる。

目次

要旨.....	i
1 本事業の背景、目的.....	1
1.1 本事業の実施背景.....	1
1.2 本事業の目的.....	1
2 事業概要.....	2
2.1 都道府県・市町村アンケート.....	2
2.2 アンケート設計のためのヒアリング.....	7
2.3 インフラ長寿命化に関する推計.....	7
2.4 事業実施事務局について.....	8
3 研究結果.....	9
3.1 アンケート集計結果.....	9
3.1.1 調査対象者数と回収数、有効回答数.....	9
3.1.2 単純集計.....	9
A 入所系施設.....	10
A-1 対象となった施設数（問 3-1、問 19-1）.....	10
A-2 施設の構造（問 6-1、問 22-1）.....	11
A-3 延床面積（問 7-1、問 23-1）.....	12
A-4 建築コスト（問 13-1、問 29-1）.....	13
A-5 運用コスト（問 14-1、問 30-1）.....	15
A-6 保全コスト（問 14-4、問 30-4）.....	17
A-7 解体処理コスト（問 18-1、問 34-1）.....	19
A-8 修繕回数（問 15-1、問 31-1）.....	21
A-9 修繕間隔（問 15-7、問 31-7）.....	22

A-10 築年数（問 4-1、問 20-1）	23
B 通所系施設	24
B-1 対象となった施設数（問 35-1、問 51-1）	24
B-2 施設の構造（問 38-1、問 54-1）	25
B-3 延床面積（問 39-1、問 55-1）	26
B-4 建築コスト（問 45-1、問 61-1）	27
B-5 運用コスト（問 46-1、問 62-1）	29
B-6 保全コスト（問 46-4、問 62-4）	31
B-7 解体処理コスト（問 50-1、問 66-1）	33
B-8 修繕回数（問 47-1、問 63-1）	35
B-9 修繕間隔（問 47-7、問 63-7）	36
B-10 築年数（問 36-1、問 52-1）	37
C 施設種別ごとの施設数と延床面積（問 2）	38
3. 1. 3. クロス集計	39
A-1 施設種別ごとの施設の構造	39
A-2 建築コストの分析	40
A-3 運用コストの分析	43
A-4 保全コストの分析	47
A-5 解体処理コストの分析	51
A-6 修繕費の分析	52
A-7 更新費の分析	53
A-8 改修の分析	54
3. 2 インフラ長寿命化に関する推計結果	55
3. 2. 1. 推計条件	55
3. 2. 2. 各コストの推定方法	57

3.2.3. 試算結果.....	58
3.2.4. 各シナリオの詳細.....	59
3.3.1. 試算シートの作成.....	87
4 まとめ.....	88
4.1 インフラ長寿命化のために望ましいこと	88
4.2 インフラ長寿命化のために、運用・保全時に実施するのが望ましいこと	88
付録1 アンケート調査票.....	89
付録2 アンケート単純集計結果.....	105

1 本事業の背景、目的

1.1 本事業の実施背景

「経済財政運営と改革の基本方針 2019（令和元年 6 月 21 日閣議決定）」では、「公的ストックの適正化」という視点から、公共施設の長寿命化を徹底し、地方の単独事業も含め、効率的・効果的に老朽化に対応するとともに、各地方の実情に応じた「コンパクト・プラス」の考え方等に基づき公共施設の統廃合を推進するとの方針が示された。

この実現のために、インフラ所轄省は、長寿命化等による効率的なインフラ維持管理・更新費見通しを公表するとともに、新経済・財政再生計画に定めた「地方公共団体による 3 年以内の維持管理・更新費見通しの公表」を着実に促すため、その標準的な算定方法を示すなどの必要な支援を行うこととされている。また、「個別施設計画」が確実に策定されるよう必要な対策を講ずるとともに、インフラ所轄省は、個別施設計画等に基づく集約・再編、廃止等の状況を毎年度点検し、フォローアップを行うとされた。加えて、「公共施設等総合管理計画」における公営企業施設分を含めた地方自治体ごとの策定状況や「個別施設計画」における地方自治体ごとの長寿命化等の対策の有無等の「見える化」の内容のさらなる充実、先進・優良事例の横展開を図ることとされている。

1.2 本事業の目的

上記を踏まえ、本事業は、全国の公立の児童福祉施設等の更新費用の効率化に資することを目的として実施する。具体的には児童福祉施設等についてその現状（築年数や面積、構造等）を把握するとともに、改築や更新等の将来必要となる対策を行った場合に建造物の存続期間全体でかかる費用、すなわち「ライフサイクルコスト（以下、「ライフサイクルコスト」または「LCC」と表記する。）」を試算する。そのうえで、長寿命化工事（予防保全）を実施することによる更新費用の効率化効果を検証する。

2 事業概要

前述の目的を実現するために、以下の各事業を実施した。各事業の実施結果をもとに本報告書を作成した。

2.1 都道府県・市町村アンケート

公立の児童福祉施設等のライフサイクルコストを推計するため、全国の都道府県と市町村を対象に、保有する児童福祉施設等の築年数や建築・保全にかかった費用、将来の解体費の見通しなどを尋ねた。調査概要を表1に示す。

表1 調査概要

1. 調査対象 全国の都道府県及び市区町村（1,788自治体）
2. 調査方法 エクセル調査票を電子メールで送付し、電子メールで回収 ・なお、メールは厚生労働省より全国自治体の児童福祉主管課に送付した。 ・調査期間中は電子メールでの問い合わせを受けるとともに、必要により電話による質問対応を行った。 ・調査票回収期限前に電子メールにより、全自治体の主管課に対しての調査協力への御礼とともに回答していない自治体には調査協力を改めて依頼した。
3. 調査期間 令和2年10月16日から令和2年11月6日まで ・メール督促は令和2年11月2日に実施 ・最終的に令和2年11月20日までに到着した調査票を対象として集計作業を実施した。

アンケート調査を設計するにあたり、幅広い情報を収集することで、現実に即したモデルを構築するよう留意した。このため調査票は本体と個票で構成する作りとした。個票は①入所系施設のうち最も建築年が古い施設、②入所系施設のうち最も近年に改修又は更新をした施設、③通所系施設のうち最も建築年が古い施設、④通所系施設のうち最も近年に改修又は更新をした施設、の4シートを作成した。自治体によっては①と②や③と④が一致する場合もあるため、1自治体あたり最大で4施設に関する回答を得た。

アンケートの設問構成は表2及び表3の通り。入所系施設、通所系施設の内訳は表4に示した。

表 2 アンケート設問構成（全体票）

問	カテゴリ	設問の内容
0	回答者属性	連絡先
1	個別施設計画の策定状況	自治体名
2		・種別ごとの施設数 ・延床面積 ・個別施設計画策定対象施設数 ・個別施設計画策定対象施設の延床面積

表 3 アンケート設問構成（個票）

（①入所系施設のうち最も建築年が古い施設、②入所系施設のうち最も近年に改修又は更新をした施設、
③通所系施設のうち最も建築年が古い施設、④通所系施設のうち最も近年に改修又は更新をした施設）

問				大 カテゴリ	中 カテゴリ	設問の内容
①	②	③	④			
3	19	35	51	建物諸元	施設概要	・施設の種別 ・施設名 ・建築年度
4	20	36	52			
5	21	37	53			・個別施設計画の策定年度 ・計画初年度 ・計画最終年度
6	22	38	54		個別施設計画 対象施設	・対象施設の構造 ・階数 ・対象施設の延床面積 ・（昭和 56 年 6 月 1 日以前に建築された建物について）対象施設の耐震化状況 ・建築当初の耐用（利用）予定年数 ・現時点での今後の利用予定年数 ・施設の外部譲渡の見通し ・（譲渡予定がある場合）譲渡予定年度 ・対象施設は災害等による全壊・半壊を経て再建したか
7	23	39	55			
8	24	40	56			
9	25	41	57			
10	26	42	58			
11	27	43	59			
12	28	44	60	計画	コストの見通し	・解体までの期間にかかる運用コスト・保全コストの見通しを算出しているか ・令和 2 年度の予算化の有無
13	29	45	61	実績	建築に要した費用	【建築コスト】 ・設計コスト ・新築コスト ・工事監理コスト ・その他
14	30	46	62	現状	運用コスト、 保全コスト	【運用コスト】 ・高熱水コスト ・その他 【保全コスト】 ・維持管理コスト ・修繕等コスト ・その他

(前頁の表 続き)

問				大 カテゴリ	中 カテゴリ	設問の内容
①	②	③	④			
15	31	47	63		保全コスト内訳： 修繕費	・建設からこれまでの実施回数 ・直近（１回前）の実施年度 ・前回（２回前）の実施年度 ・前々回（３回前）の実施年度 ・前々々回（４回前）の実施年度 ・次回実施予定年度 ・建設から現在の全期間の実施周期 ・これまでの総費用額 ・直近（１回前）の修繕費用 ・費用計上の対象期間
16	32	48	64		保全コスト内訳： 更新費	・建設からこれまでの実施回数 ・直近（１回前）の実施年度 ・前回（２回前）の実施年度 ・前々回（３回前）の実施年度 ・前々々回（４回前）の実施年度 ・次回実施予定年度 ・建設から現在の全期間の実施周期 ・これまでの総費用額 ・直近（１回前）の更新費用 ・費用計上の対象期間
17	33	49	65		保全コスト内訳： 改修費	・建設からこれまでの実施回数 ・直近（１回前）の実施年度 ・前回（２回前）の実施年度 ・前々回（３回前）の実施年度 ・前々々回（４回前）の実施年度 ・次回実施予定年度 ・建設から現在の全期間の実施周期 ・これまでの総費用額 ・直近（１回前）の改修費用 ・費用計上の対象期間
18	34	50	66	将来推計	解体処理コスト	・解体コスト ・廃棄処分コスト ・その他

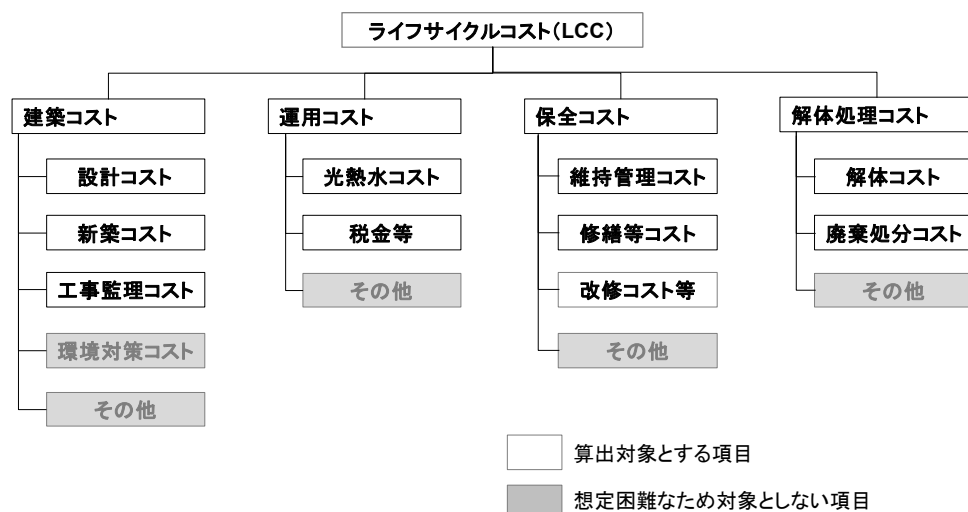
表４ 入所系施設、通所系施設の内訳

	カテゴリ	施設
1	入所系施設	助産施設
2		乳児院
3		母子生活支援施設
4		児童養護施設
5		児童自立支援施設
6		婦人保護施設
7		児童心理治療施設
8	通所系施設	保育所
9		保育所型認定こども園
10		幼保連携型認定こども園
11		児童厚生施設（児童遊園は除く）
12		児童家庭支援センター
13		母子・父子福祉施設

ライフサイクルコストの体系については図1の通り整理した。既に示した表3の通り、主要な費目を今回の調査対象とした。また、図2に示すように、保全コストは「維持管理コスト」「修繕等コスト」「改修コスト」により構成するという前提のもとで集計及び推計を進めた。修繕等コストはさらに「修繕コスト」と「改修コスト」に大別できる。

保全コストの中でも金額が大きく建物のライフサイクルコストに特に影響を及ぼすとされる修繕・更新・改修の各コストについて、建物の性能との関係を表したものが図3である。建物の性能が経年劣化してきた場合、「修繕」は当初の性能には到達しないものの、施設を使う上で機能に支障ない水準まで回復させることを指す。「更新」は建築当初の水準まで機能を回復させることを指し、「改修」は建築当所を上回る水準に機能を高めることを指す。例えば、屋根が経年劣化した場合、太陽光発電機能付きのものに取り換えると「改修」に当たる。

図1 ライフサイクルコストの体系と本事業での算出対象¹（網掛け部は本調査の対象外）



¹ 監修：国土交通省大臣官房官庁営繕部、編集・発行：一般財団法人建築保全センター「建築物のライフサイクルコスト 第2版」を参考に
PwC コンサルティング合同会社作成

図 2 保全コストの詳細²（網掛け部は本調査の対象外）

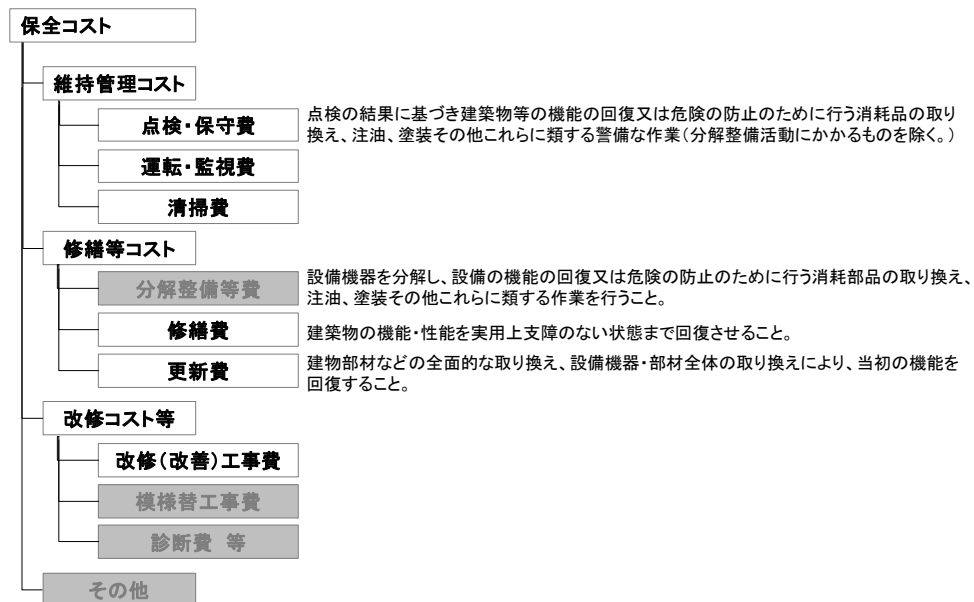
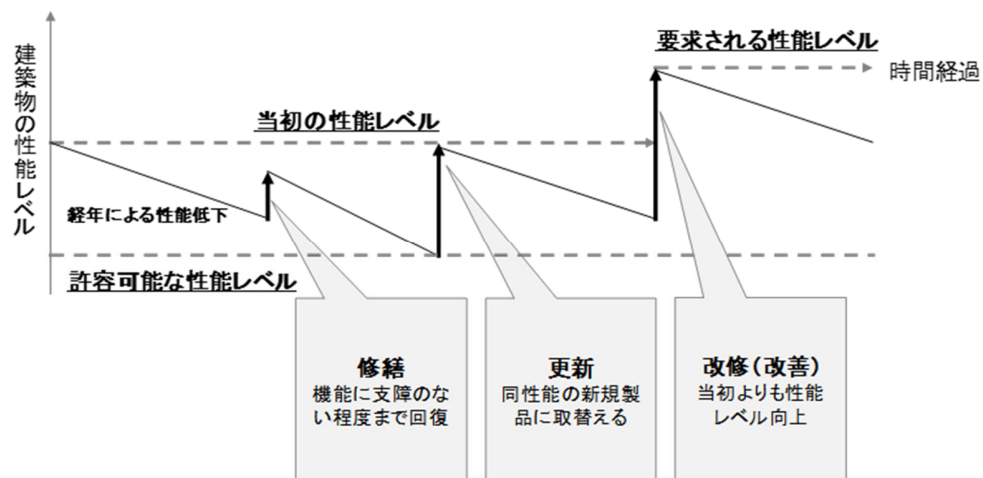


図 3 建築物の性能レベルと修繕・更新・改修の関係³



² 監修：国土交通省大臣官房官庁営繕部、編集・発行：一般財団法人建築保全センター「建築物のライフサイクルコスト 第2版」を参考に PwC コンサルティング合同会社作成

³ 監修：国土交通省大臣官房官庁営繕部、編集・発行：一般財団法人建築保全センター「建築物のライフサイクルコスト 第2版」を参考に PwC コンサルティング合同会社作成

2.2 アンケート設計のためのヒアリング

アンケート調査票を全国に送付する前、回答のしやすさや設問の分かりやすさなどを確認する目的でいくつかの都道府県や市町村に協力を依頼し、暫定版資料を試験的に回答してもらった。業務多忙の中で協力をいただいた自治体の方々に、この場を借りて御礼を申し上げたい。

2.3 インフラ長寿命化に関する推計

アンケートの集計結果をもとに、インフラ長寿命化に関する推計を実施した。いくつかのシナリオを設定し、集計結果から構築した算定式を当てはめてライフサイクルコストを計算した。詳しいシナリオは表5の通り。

表5 ライフサイクルコストを推計するためのシナリオ

- | |
|---|
| 1. ライフサイクルコスト推計対象年数 |
| 70 年間 |
| 2. 延床面積 |
| 800 m ² |
| 3. シナリオ |
| ・ 共通事項 |
| 建築後 30 年間は運用コスト及び維持管理コストのみ計上 |
| 修繕・更新・改修はしない |
| ・ 建築後 31 年目からのコスト計上パターン |
| シナリオ 1：建物の寿命を延ばす取り組みをせず、建て替える |
| シナリオ 2：「長寿命化」に取り組みつつ LCC を抑えるよう計画的に保全する |
| シナリオ 3：建て替えはしないが、老朽化でやむなく保全を行うことになる |

2.4 事業実施事務局について

本事業は表6に示すスタッフが担当した。委員会は置かず、厚生労働省と一定期間ごとに打ち合わせを行い、進捗を共有しながら事業を推進した。

表6 事業実施事務局

氏名	所属・役職
東海林 崇	PwC コンサルティング合同会社 公共事業部 シニアマネージャー
古屋 智子	PwC コンサルティング合同会社 公共事業部 マネージャー
石尾 恵朋	PwC コンサルティング合同会社 公共事業部 シニアアソシエイト
一二三 達哉	PwC コンサルティング合同会社 公共事業部 シニアアソシエイト
工藤 晴樹	PwC コンサルティング合同会社 公共事業部 アソシエイト
大野 晴香	PwC コンサルティング合同会社 公共事業部 アソシエイト
清水 式子	PwC コンサルティング合同会社 公共事業部

3 研究結果

3.1 アンケート集計結果

以降よりアンケートの集計結果を記載する。単純集計のほか、延べ床面積とコストの関係や築年数とコストの関係などを確認するクロス集計も実施し、一定の相関を得られたものがあった。

3.1.1 調査対象者数と回収数、有効回答数

アンケート調査票の送付数は表 7 に示す通り、全都道府県・市町村に配布したため 1,788 件である。回収数は 970 件、回収率は 54.3% だった。

表 7 アンケート調査票の回収率

	都道府県	市区町村	全体
送付数	47	1,741	1,788
回収数	25	945	970
回収率	54.3%	53.2%	54.3%

3.1.2 単純集計

以下、単純集計結果として、入所系施設に関する結果、通所系施設に関する結果をそれぞれ記載する。対応する設問番号を記載した。なお、本項では主要な設問の集計結果のみ掲載している。すべての設問の集計結果については付録に掲載した。

A 入所系施設

入所系施設（助産施設、乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、児童自立支援施設、婦人保護施設、児童心理治療施設）に関する設問は、問 3 から問 34 である。そのうち問 3 から問 18 では「①最も古い（建設年が古い）施設（以下、「最も古い施設」と記載する）」、問 19 から問 34 では「②最も近年に改修又は更新を実施した施設（以下、「最も近年に改修又は更新を実施した施設」と記載する）」について尋ねた。

①、②で同一の設問構成となっていることから、以下では、①、②で同一の設問結果をまとめて記載する。

A-1 対象となった施設数（問 3-1、問 19-1）

回答の対象となった施設数は、表 8 に示す通り、最も古い施設（問 3-1）が 53 施設、最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 19-1）が 36 施設である。

表 8 回答対象となった施設の種類

施設種別		問 3-1 最も古い（建設年が古い）施設		問 19-1 最も近年に改修 又は更新を実施 した施設		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	助産施設	8	15.1%	4	11.1%	12	13.5%
2	乳児院	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3	母子生活支援施設	23	43.4%	11	30.6%	34	38.2%
4	児童養護施設	2	3.8%	3	8.3%	5	5.6%
5	児童自立支援施設	16	30.2%	14	38.9%	30	33.7%
6	婦人保護施設	4	7.5%	3	8.3%	7	7.9%
7	児童心理治療施設	0	0.0%	1	2.8%	1	1.1%
合計		53	100.0%	36	100.0%	89	100.0%

A-2 施設の構造（問 6-1、問 22-1）

回答のあった施設全体のうち、表 9 に示す通り、最も古い施設（問 6-1）、最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 22-1）ともに、RC 造（コンクリート構造）の施設の割合が最も高く、回答施設全体の約 8 割を占めた。

表 9 入所系施設の構造

施設の構造		問 6-1		問 22-1		合計	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
1	RC 造（鉄筋コンクリート構造）	39	73.6%	28	82.4%	67	77.0%
2	S 造（鉄骨構造）	4	7.5%	2	5.9%	6	6.9%
3	SRC 造 （鉄骨鉄筋コンクリート構造）	8	15.1%	3	8.8%	11	12.6%
4	木造構造	2	3.8%	1	2.9%	3	3.4%
合計		53	100.0%	34	100.0%	87	100.0%

A-3 延床面積（問 7-1、問 23-1）

回答のあった施設のうち、表 10 に示す通り、延床面積の平均は最も古い施設（問 7-1）で 5,230 m²、最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 23-1）では、5,175 m²だった。度数分布（表 11）を見てみると、最も古い施設は 500 m²以上 1,000 m²未満の施設が 26.4%で最も多く、最も近年に改修又は更新を実施した施設では 1,000 m²以上 1,500 m²未満の施設が 27.3%で最も多くを占めていた。

表 10 入所系施設の延べ床面積に関する設問の回答状況（問 7-1、問 23-1）

	問 7-1	問 23-1
有効回答数	53	33
平均（m ² ）	5,230	5,175
中央値（m ² ）	1,336	1,609
最大値（m ² ）	43,423	45,932
最小値（m ² ）	172	221

表 11 入所系施設の延床面積の度数分布表（問 7-1、問 23-1）

施設の延床面積（m ² ）			問 7-1		問 23-1	
以上	未満		施設数	割合	施設数	割合
1	—	500	4	7.5%	4	12.1%
500	—	1,000	14	26.4%	3	9.1%
1,000	—	1,500	13	24.5%	9	27.3%
1,500	—	2,000	3	5.7%	5	15.2%
2,000	—	2,500	2	3.8%	5	15.2%
2,500	—	3,000	2	3.8%	1	3.0%
3,000	—	3,500	2	3.8%	1	3.0%
3,500	—	4,000	3	5.7%	0	0.0%
4,000	—	4,500	2	3.8%	0	0.0%
4,500	—	5,000	1	1.9%	1	3.0%
5,000	—		7	13.2%	4	12.1%
合計			53	100.0%	33	100.0%

A-4 建築コスト（問 13-1、問 29-1）

最も古い施設（問 13-1）について、建設コストの平均値は、約 15 億円であり（表 12）、度数分布で見ると、1 億円以上 2 億円未満の回答が 33.3%と最も多い。また 3 億円未満に回答の約 6 割が集中している（表 13）。

最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 29-1）について、建設コストの平均値は、約 10 億円であり（表 13）、度数分布で見ると、2 億円以上 3 億円未満の回答が 23.8%と最も多い（表 15）。

表 12 入所系施設の建築コストに関する設問の回答状況（問 13-1、問 29-1）

	問 13-1	問 29-1
有効回答数	30	21
平均（円）	1,515,974,782	1,016,801,380
中央値（円）	231,915,006	441,200,500
最大値（円）	24,309,837,756	9,011,696,382
最小値（円）	42,971,535	11,493,420

表 13 入所系施設の建築コストの度数分布表（問 13-1）

施設当たりの建築コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	100,000,000	4	13.3%
100,000,000	—	200,000,000	10	33.3%
200,000,000	—	300,000,000	4	13.3%
300,000,000	—	400,000,000	2	6.7%
400,000,000	—	500,000,000	0	0.0%
500,000,000	—	600,000,000	1	3.3%
600,000,000	—	700,000,000	1	3.3%
700,000,000	—	800,000,000	1	3.3%
800,000,000	—	900,000,000	1	3.3%
900,000,000	—	1,000,000,000	1	3.3%
1,000,000,000	—		5	16.7%
合計			30	100.0%

表 14 入所系施設の建築コストの度数分布表（問 29-1）

施設当たりの建築コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	100,000,000	2	9.5%
100,000,000	—	200,000,000	2	9.5%
200,000,000	—	300,000,000	5	23.8%
300,000,000	—	400,000,000	0	0.0%
400,000,000	—	500,000,000	3	14.3%
500,000,000	—	600,000,000	1	4.8%
600,000,000	—	700,000,000	1	4.8%
700,000,000	—	800,000,000	1	4.8%
800,000,000	—	900,000,000	1	4.8%
900,000,000	—	1,000,000,000	0	0.0%
1,000,000,000	—		5	23.8%
合計			21	100.0%

A-5 運用コスト（問 14-1、問 30-1）

運用コストについて得られたデータを整理する。

最も古い施設（問 14-1）について運用コストの平均は 2,036 万円であり（表 15）、中央値は 251 万円である。また、100 万円以上 200 万円未満の区分が 23.8%を占め最も多い（表 16）。

最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 30-1）について運用コストの平均は 1,079 万円であり、中央値は 550 万円である（表 15）。また、1 円以上 100 万円未満の区分が 19.4%を占め最も多い（表 17）。

表 15 入所系施設の運用コストに関する設問の回答状況

	問 14-1	問 30-1
有効回答数	42	31
平均（円）	20,356,268	10,789,321
中央値（円）	2,511,609	5,502,136
最大値（円）	275,631,120	156,055,107
最小値（円）	447,427	192,208

表 16 入所系施設の運用コストの度数分布表（問 14-1）

施設当たりの運用コスト（円）			施設数	割合
以上	未満			
1	—	1,000,000	6	14.3%
1,000,000	—	2,000,000	10	23.8%
2,000,000	—	3,000,000	6	14.3%
3,000,000	—	4,000,000	3	7.1%
4,000,000	—	5,000,000	0	0.0%
5,000,000	—	6,000,000	4	9.5%
6,000,000	—	7,000,000	1	2.4%
7,000,000	—	8,000,000	2	4.8%
8,000,000	—	9,000,000	1	2.4%
9,000,000	—	10,000,000	1	2.4%
10,000,000	—		8	19.0%
合計			42	100.0%

表 17 入所系施設の運用コストの度数分布表（問 30-1）

施設当たりの運用コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	1,000,000	6	19.4%
1,000,000	—	2,000,000	3	9.7%
2,000,000	—	3,000,000	4	12.9%
3,000,000	—	4,000,000	1	3.2%
4,000,000	—	5,000,000	1	3.2%
5,000,000	—	6,000,000	1	3.2%
6,000,000	—	7,000,000	4	12.9%
7,000,000	—	8,000,000	3	9.7%
8,000,000	—	9,000,000	2	6.5%
9,000,000	—	10,000,000	1	3.2%
10,000,000	—		5	16.1%
合計			31	100.0%

A-6 保全コスト（問 14-4、問 30-4）

保全コストについて、得られたデータを整理する。

最も古い施設（問 14-4）について、保全コストの平均は 1,684 万円であり、中央値は 412 万円である（表 18）。また、1 円以上 200 万円未満の区分が、30.2%を占め最も多い（表 19）。

最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 30-4）について、保全コストの平均は 546 万円であり、中央値は 201 万円である（表 18）。1 円以上 100 万円未満、100 万円以上 200 万円未満の区分がそれぞれ 25.0%を占め最も多い（表 20）。

表 18 入所系施設の保全コストに関する設問の回答状況

	問 14-4	問 30-4
有効回答数	43	28
平均（円）	16,835,355	5,458,127
中央値（円）	4,122,615	2,012,654
最大値（円）	245,867,623	30,097,325
最小値（円）	295,240	111,820

表 19 入所系施設の保全コストの度数分布表（問 14-4）

施設当たりの保全コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	2,000,000	13	30.2%
2,000,000	—	4,000,000	8	18.6%
4,000,000	—	6,000,000	8	18.6%
6,000,000	—	8,000,000	4	9.3%
8,000,000	—	10,000,000	0	0.0%
10,000,000	—	12,000,000	0	0.0%
12,000,000	—	14,000,000	2	4.7%
14,000,000	—	16,000,000	1	2.3%
16,000,000	—	18,000,000	0	0.0%
18,000,000	—	20,000,000	2	4.7%
20,000,000	—		5	11.6%
合計			43	100.0%

表 20 入所系施設の保全コストの度数分布表（問 30-4）

施設当たりの保全コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	1,000,000	7	25.0%
1,000,000	—	2,000,000	7	25.0%
2,000,000	—	3,000,000	1	3.6%
3,000,000	—	4,000,000	2	7.1%
4,000,000	—	5,000,000	6	21.4%
5,000,000	—	6,000,000	1	3.6%
6,000,000	—	7,000,000	0	0.0%
7,000,000	—	8,000,000	0	0.0%
8,000,000	—	9,000,000	0	0.0%
9,000,000	—	10,000,000	0	0.0%
10,000,000	—		4	14.3%
合計			28	100.0%

A-7 解体処理コスト（問 18-1、問 34-1）

解体処理コストについて、得られたデータを整理する。

最も古い施設（問 18-1）に関して、解体処理コストの平均が 5,251 万円であり、中央値は 4,673 万円である（表 21）。最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 34-1）に関して、解体処理コストの平均が 3,916 万円であり、中央値は 3,701 万円である（表 21）。金額区分別の回答件数は最も古い施設が表 22、最も近年に改修又は更新を実施した施設が表 23 に示した。

表 21 入所系施設の解体処理コストに関する設問の回答状況

	問 18-1	問 34-1
有効回答数	8	6
平均（円）	52,505,700	39,164,267
中央値（円）	46,725,000	37,011,500
最大値（円）	90,129,600	90,129,600
最小値（円）	28,470,000	7,800,000

表 22 入所系施設の解体処理コストの度数分布表（問 18-1）

施設当たりの解体処理コスト（円）			施設数	割合
以上	未満			
1	—	10,000,000	0	0.0%
10,000,000	—	20,000,000	0	0.0%
20,000,000	—	30,000,000	2	25.0%
30,000,000	—	40,000,000	1	12.5%
40,000,000	—	50,000,000	1	12.5%
50,000,000	—	60,000,000	2	25.0%
60,000,000	—	70,000,000	0	0.0%
70,000,000	—	80,000,000	0	0.0%
80,000,000	—	90,000,000	1	12.5%
90,000,000	—	100,000,000	1	12.5%
100,000,000	—		0	0.0%
合計			8	100.0%

表 23 入所系施設の解体処理コストに関する度数分布表（問 34-1）

施設当たりの解体処理コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	10,000,000	1	16.7%
10,000,000	—	20,000,000	1	16.7%
20,000,000	—	30,000,000	0	0.0%
30,000,000	—	40,000,000	1	16.7%
40,000,000	—	50,000,000	1	16.7%
50,000,000	—	60,000,000	1	16.7%
60,000,000	—	70,000,000	0	0.0%
70,000,000	—	80,000,000	0	0.0%
80,000,000	—	90,000,000	0	0.0%
90,000,000	—	100,000,000	1	16.7%
100,000,000	—		0	0.0%
合計			6	100%

A-8 修繕回数（問 15-1、問 31-1）

修繕回数に関して得られたデータを整理する。

最も古い施設（問 15-1）に関して、施設の修繕回数の平均が 21 回であり（表 24）、中央値は 5 回である。また、5 回以上 10 回未満が 42.9%を占め最も多い（表 25）。

最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 31-1）に関して、施設の修繕回数の平均が 26 回であり、中央値は 3 回である（表 24）。また、1 回以上 5 回未満が 54.5%と過半を占め最も多い（表 26）。

表 24 入所系施設の修繕回数に関する設問の回答状況

	問 15-1	問 31-1
有効回答数	14	11
平均（回）	21	26
中央値（回）	5	3
最大値（回）	194	194
最小値（回）	1	1

表 25 入所系施設の修繕回数に関する度数分布表（問 15-1）

建設からこれまでの修繕の実施回数（回）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	5	4	28.6%
5	—	10	6	42.9%
10	—	15	1	7.1%
15	—	20	1	7.1%
20	—		2	14.3%
合計			14	100.0%

表 26 入所系施設の修繕回数に関する度数分布表（問 31-1）

建設からこれまでの修繕の実施回数（回）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	5	6	54.5%
5	—	10	3	27.3%
10	—	15	0	0.0%
15	—	20	0	0.0%
20	—		2	18.2%
合計			11	100.0%

A-9 修繕間隔（問 15-7、問 31-7）

修繕間隔に関して、得られたデータを整理する。

最も古い施設（問 15-7）に関して、施設の修繕間隔年数の平均が 4.0 年であり（表 27）、中央値は 1.0 年である。また、0.1 年以上 5.0 年未満が 84.6%を占め最も多い（表 28）。

最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 31-7）に関して、施設の修繕間隔年数の平均が 3.8 年であり、中央値は 1.0 年である（表 27）。また、0.1 年以上 5.0 年未満が 72.7%を占め最も多い（表 29）。

表 27 入所系施設の修繕間隔に関する設問の回答状況

	問 15-7	問 31-7
有効回答数	13	11
平均（年）	4.0	3.8
中央値（年）	1.0	1.0
最大値（年）	23.0	23.0
最小値（年）	0.8	0.1

表 28 入所系施設の修繕間隔に関する度数分布表（問 15-7）

建設以降の修繕の実施間隔（年）			施設数	割合
以上		未満		
0.1	—	5.0	11	84.6%
5.0	—	10.0	0	0.0%
10.0	—	15.0	0	0.0%
15.0	—	20.0	1	7.7%
20.0	—		1	7.7%
合計			13	100.0%

表 29 入所系施設の修繕間隔に関する度数分布表（問 31-7）

建設以降の修繕の実施間隔（年）			施設数	割合
以上		未満		
0.1	—	5.0	8	72.7%
5.0	—	10.0	2	18.2%
10.0	—	15.0	0	0.0%
15.0	—	20.0	0	0.0%
20.0	—		1	9.1%
合計			11	100.0%

A-10 築年数（問 4-1、問 20-1）

築年数に関して得られたデータを整理する。

建築年度に関する設問である問 4-1（最も古い施設）、問 20-1（最も近年に改修又は更新を実施した施設）のデータを用いて建築からの年数（築年数）を求めた。

最も古い施設（問 4-1）では平均築年数が 36 年、最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 20-1）では平均築年数が 25 年である（表 30）。

表 30 施設の築年数に関する設問の回答状況

	問 4-1	問 20-1
有効回答数	53	33
平均（年）	36	25
中央値（年）	38	26
最大値（年）	82	56
最小値（年）	4	1

B 通所系施設

通所系施設に関する設問は、問 35 から問 66 である。そのうち、そのうち問 35 から問 50 が「①最も古い（建設年が古い）施設（以下、「最も古い施設」と記載する）」、問 51 から問 66 が「②最も近年に改修又は更新を実施した施設（以下、「最も近年に改修又は更新を実施した施設」と記載する）」である。

①、②で同一の設問構成となっていることから、以下では、①、②で同一の設問結果をまとめて記載する。

B-1 対象となった施設数（問 35-1、問 51-1）

回答の対象となった施設数は、最も古い施設が 711 施設（問 35-1）、最も近年に改修又は更新を実施した施設が 594 施設（問 51-1）である（表 31）。

表 31 回答対象となった施設の種類の

		問 35-1 最も古い（建設年が古い）施設		問 51-1 最も近年に改修又は更新を実施した施設		合計	
施設種別 (入所系施設からの通し番号)		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
8	保育所	473	66.5%	370	62.3%	843	64.6%
9	保育所型認定こども園	21	3.0%	26	4.4%	47	3.6%
10	幼保連携型認定こども園	51	7.2%	68	11.4%	119	9.1%
11	児童厚生施設（児童遊園は除く）	106	14.9%	92	15.5%	198	15.2%
12	児童家庭支援センター	7	1.0%	1	0.2%	8	0.6%
13	母子・父子福祉施設	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%
合計		711	100.0%	594	100.0%	1,305	100.0%

B-2 施設の構造（問 38-1、問 54-1）

回答のあった施設全体のうち、最も古い施設、最も近年に改修又は更新を実施した施設ともに、RC 造（コンクリート構造）の施設が最も割合として高く、それぞれで約 5 割を占め、木造構造についてもそれぞれ約 26%を占めている（表 32）。

表 32 通所系施設の構造

		問 38-1		問 54-1		合計	
施設の構造		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
1	RC 造（鉄筋コンクリート構造）	330	50.8%	251	45.6%	581	48.4%
2	S 造（鉄骨構造）	138	21.2%	136	24.7%	274	22.8%
3	SRC 造（鉄骨鉄筋コンクリート構造）	13	2.0%	18	3.3%	31	2.6%
4	木造構造	169	26.0%	145	26.4%	314	26.2%
合計		650	100.0%	550	100.0%	1,200	100.0%

B-3 延床面積（問 39-1、問 55-1）

回答のあった施設のうち、最も古い施設の延床面積の平均は 800 m²、最も近年に更新又は更新を実施した施設では 1,141 m²だった。度数分布表をみると、最も古い施設及び最も近年に更新又は更新を実施した施設のいずれも 500 m²以上 1,000 m²未満が最も多く、最も古い施設では回答対象数の 43.1%、最も近年に更新又は更新を実施した施設では 36.9%をそれぞれ占めている（表 33、表 34）

表 33 通所系施設の延床面積に関する設問の回答状況（問 39-1、問 55-1）

	問 39-1	問 55-1
有効回答数	654	548
平均（m ² ）	800	1,141
中央値（m ² ）	618	895
最大値（m ² ）	10,000	17,129
最小値（m ² ）	33	88

表 34 通所系施設の延床面積の度数分布表（問 39-1、問 55-1）

施設の延床面積（m ² ）			問 39-1		問 55-1	
以上		未満	施設数	割合	施設数	割合
1	—	500	227	34.7%	114	20.8%
500	—	1,000	282	43.1%	202	36.9%
1,000	—	1,500	92	14.1%	118	21.5%
1,500	—	2,000	30	4.6%	64	11.7%
2,000	—	2,500	8	1.2%	21	3.8%
2,500	—	3,000	4	0.6%	14	2.6%
3,000	—	3,500	3	0.5%	3	0.5%
3,500	—	4,000	1	0.2%	3	0.5%
4,000	—	4,500	2	0.3%	2	0.4%
4,500	—	5,000	0	0.0%	0	0.0%
5,000	—		5	0.8%	7	1.3%
合計			654	100.0%	548	100.0%

B-4 建築コスト（問 45-1、問 61-1）

最も古い施設（問 45-1）について、建設コストの平均値は、約 3.6 億円であり（表 35）、度数分布で見ると、1 円以上 1 億円未満の回答が 59.9%と最も多い（表 36）。

最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 61-1）について、建設コストの平均値は、約 4.0 億円であり（表 35）、度数分布で見ると、1 円以上 1 億円未満の回答が 24.1%と最も多い（表 37）。

表 35 通所系施設の建築コストに関する設問の回答状況（問 45-1、問 61-1）

	問 45-1	問 61-1
有効回答数	367	381
平均（円）	356,407,507	401,570,979
中央値（円）	77,300,000	265,350,000
最大値（円）	31,194,651,090	12,808,271,000
最小値（円）	1,579	56,624

表 36 通所系施設の建築コストの度数分布表（問 45-1）

施設当たりの建築コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	100,000,000	220	59.9%
100,000,000	—	200,000,000	58	15.8%
200,000,000	—	300,000,000	24	6.5%
300,000,000	—	400,000,000	23	6.3%
400,000,000	—	500,000,000	15	4.1%
500,000,000	—	600,000,000	5	1.4%
600,000,000	—	700,000,000	4	1.1%
700,000,000	—	800,000,000	1	0.3%
800,000,000	—	900,000,000	3	0.8%
900,000,000	—	1,000,000,000	1	0.3%
1,000,000,000	—		13	3.5%
合計			367	100.0%

表 37 通所系施設の建築コストの度数分布表（問 61-1）

施設当たりの建築コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	100,000,000	92	24.1%
100,000,000	—	200,000,000	71	18.6%
200,000,000	—	300,000,000	49	12.9%
300,000,000	—	400,000,000	42	11.0%
400,000,000	—	500,000,000	39	10.2%
500,000,000	—	600,000,000	20	5.2%
600,000,000	—	700,000,000	15	3.9%
700,000,000	—	800,000,000	15	3.9%
800,000,000	—	900,000,000	15	3.9%
900,000,000	—	1,000,000,000	6	1.6%
1,000,000,000	—		17	4.5%
合計			381	100.0%

B-5 運用コスト（問 46-1、問 62-1）

運用コストについて得られたデータを整理する。

最も古い施設（問 46-1）について運用コストの平均は 721 万円であり（表 38）、中央値は 202 万円である。また、100 万円以上 200 万円未満の区分が 26.1%を占め最も多い（表 39）。

最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 62-1）について運用コストの平均は 962 万円であり、中央値は 259 万円である（表 38）。また、200 万円以上 300 万円未満の区分が 23.8%を占め最も多い（表 40）。

表 38 通所系施設の運用コストに関する設問の回答状況

	問 46-1	問 62-1
有効回答数	590	487
平均（円）	7,213,302	9,624,972
中央値（円）	2,016,175	2,590,000
最大値（円）	318,557,695	412,880,310
最小値（円）	653	1,108

表 39 通所系施設の運用コストの度数分布表（問 46-1）

施設当たりの運用コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	1,000,000	138	23.4%
1,000,000	—	2,000,000	154	26.1%
2,000,000	—	3,000,000	137	23.2%
3,000,000	—	4,000,000	58	9.8%
4,000,000	—	5,000,000	36	6.1%
5,000,000	—	6,000,000	11	1.9%
6,000,000	—	7,000,000	5	0.8%
7,000,000	—	8,000,000	5	0.8%
8,000,000	—	9,000,000	6	1.0%
9,000,000	—	10,000,000	1	0.2%
10,000,000	—		39	6.6%
合計			590	100.0%

表 40 通所系施設の運用コストの度数分布表（問 62-1）

施設当たりの運用コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	1,000,000	83	17.0%
1,000,000	—	2,000,000	93	19.1%
2,000,000	—	3,000,000	116	23.8%
3,000,000	—	4,000,000	74	15.2%
4,000,000	—	5,000,000	40	8.2%
5,000,000	—	6,000,000	22	4.5%
6,000,000	—	7,000,000	4	0.8%
7,000,000	—	8,000,000	6	1.2%
8,000,000	—	9,000,000	5	1.0%
9,000,000	—	10,000,000	2	0.4%
10,000,000	—		42	8.6%
合計			487	100.0%

B-6 保全コスト（問 46-4、問 62-4）

保全コストについて、得られたデータを整理する。

最も古い施設（問 46-4）について、保全コストの平均は 652 万円であり、中央値は 128 万円である（表 41）。また、1 円以上 100 万円未満の区分が、41.2%を占め最も多い（表 42）。

最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 62-4）について、保全コストの平均は 929 万円であり、中央値は 149 万円である（表 41）。また、1 円以上 100 万円未満の区分が 38.5%を占め最も多い（表 43）。

表 41 通所系施設の保全コストに関する設問の回答状況

	問 46-4	問 62-4
有効回答数	566	467
平均（円）	6,522,149	9,288,677
中央値（円）	1,279,849	1,494,276
最大値（円）	376,469,926	376,469,926
最小値（円）	700	778

表 42 通所系施設の保全コストの度数分布表（問 46-4）

施設当たりの保全コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	1,000,000	233	41.2%
1,000,000	—	2,000,000	129	22.8%
2,000,000	—	3,000,000	49	8.7%
3,000,000	—	4,000,000	46	8.1%
4,000,000	—	5,000,000	23	4.1%
5,000,000	—	6,000,000	17	3.0%
6,000,000	—	7,000,000	6	1.1%
7,000,000	—	8,000,000	5	0.9%
8,000,000	—	9,000,000	6	1.1%
9,000,000	—	10,000,000	1	0.2%
10,000,000	—		51	9.0%
合計			566	100.0%

表 43 通所系施設の保全コストの度数分布表（問 62-4）

施設当たりの保全コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	1,000,000	180	38.5%
1,000,000	—	2,000,000	92	19.7%
2,000,000	—	3,000,000	61	13.1%
3,000,000	—	4,000,000	30	6.4%
4,000,000	—	5,000,000	14	3.0%
5,000,000	—	6,000,000	8	1.7%
6,000,000	—	7,000,000	3	0.6%
7,000,000	—	8,000,000	5	1.1%
8,000,000	—	9,000,000	4	0.9%
9,000,000	—	10,000,000	2	0.4%
10,000,000	—		68	14.6%
合計			467	100.0%

B-7 解体処理コスト（問 50-1、問 66-1）

解体処理コストについて、得られたデータを整理する。

最も古い施設（問 50-1）に関して、解体処理コストの平均が 3,778 万円であり、中央値は 2,000 万円である（表 44）。また、1 円以上 1,000 万未満、2,000 万円以上 3,000 万円未満の区分が最も多く、それぞれ 23.7%である（表 45）。

最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 66-1）に関して、解体処理コストの平均が 3,080 万円であり、中央値は 2,325 万円である（表 44）。また、1 億円以上の区分が最も多く 23.6%である（表 46）。

表 44 通所系施設の解体処理コストに関する設問の回答状況

	問 50-1	問 64-1
有効回答数	97	55
平均（円）	37,781,515	30,803,506
中央値（円）	20,000,000	23,250,000
最大値（円）	1,176,230,000	164,311,800
最小値（円）	1,320	18,200

表 45 通所系施設の解体処理コストの度数分布表（問 50-1）

施設当たりの解体処理コスト（円）			施設数	割合
以上	未満			
1	—	10,000,000	23	23.7%
10,000,000	—	20,000,000	22	22.7%
20,000,000	—	30,000,000	23	23.7%
30,000,000	—	40,000,000	11	11.3%
40,000,000	—	50,000,000	6	6.2%
50,000,000	—	60,000,000	5	5.2%
60,000,000	—	70,000,000	3	3.1%
70,000,000	—	80,000,000	0	0.0%
80,000,000	—	90,000,000	0	0.0%
90,000,000	—	100,000,000	0	0.0%
100,000,000	—		4	4.1%
合計			97	100.0%

表 46 通所系施設の解体処理コストに関する度数分布表（問 66-1）

施設当たりの解体処理コスト（円）			施設数	割合
以上		未満		
1	—	10,000,000	4	7.3%
10,000,000	—	20,000,000	6	10.9%
20,000,000	—	30,000,000	4	7.3%
30,000,000	—	40,000,000	5	9.1%
40,000,000	—	50,000,000	9	16.4%
50,000,000	—	60,000,000	6	10.9%
60,000,000	—	70,000,000	4	7.3%
70,000,000	—	80,000,000	3	5.5%
80,000,000	—	90,000,000	1	1.8%
90,000,000	—	100,000,000	0	0.0%
100,000,000	—		13	23.6%
合計			55	100.0%

B-8 修繕回数（問 47-1、問 63-1）

修繕回数に関して得られたデータを整理する。

最も古い施設（問 47-1）に関して、施設の修繕回数の平均が 13 回であり（表 47）、中央値は 5 回である。また、5 回以上 10 回未満が 36.0%を占め最も多い（表 48）。

最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 63-1）に関して、施設の修繕回数の平均が 8 回であり、中央値は 5 回である（表 47）。また、1 回以上 5 回未満が 49.2%と最も多い（表 49）。

表 47 通所系施設の修繕回数に関する設問の回答状況

	問 47-1	問 63-1
有効回答数	175	185
平均（回）	13	8
中央値（回）	5	5
最大値（回）	140	100
最小値（回）	1	1

表 48 通所系施設の修繕回数に関する度数分布表（問 47-1）

建設からこれまでの修繕の実施回数（回）		施設数	割合
以上	未満		
1	— 5	54	30.9%
5	— 10	63	36.0%
10	— 15	14	8.0%
15	— 20	10	5.7%
20	—	34	19.4%
合計		175	100.0%

表 49 通所系施設の修繕回数に関する度数分布表（問 31-1）

建設からこれまでの修繕の実施回数（回）		施設数	割合
以上	未満		
1	— 5	91	49.2%
5	— 10	61	33.0%
10	— 15	8	4.3%
15	— 20	4	2.2%
20	—	21	11.4%
合計		185	100.0%

B-9 修繕間隔（問 47-7、問 63-7）

修繕間隔に関して、得られたデータを整理する。

最も古い施設（問 47-7）に関して、施設の修繕間隔年数の平均が 3.9 年であり（表 50）、中央値は 2.5 年である。また、0.1 年以上 5.0 年未満が 84.4%を占め最も多い（表 51）。

最も近年に改修又は更新を実施した施設（問 63-7）に関して、施設の修繕間隔年数の平均が 3.4 年であり、中央値は 1.0 年であり（表 50）、また、0.1 年以上 5.0 年未満が 83.9%を占め最も多い（表 52）。

表 50 通所系施設の修繕間隔に関する設問の回答状況

	問 47-7	問 63-7
有効回答数	289	205
平均（年）	3.9	3.4
中央値（年）	2.5	1.0
最大値（年）	55	44
最小値（年）	0.1	0.1

表 51 通所系施設の修繕間隔に関する度数分布表（問 47-7）

建設以降の修繕の実施間隔（年）			施設数	割合
以上	—	未満		
0.1	—	5.0	244	84.4%
5.0	—	10.0	21	7.3%
10.0	—	15.0	7	2.4%
15.0	—	20.0	5	1.7%
20.0	—		12	4.2%
合計			289	100.0%

表 52 通所系施設の修繕間隔に関する度数分布表（問 63-7）

建設以降の修繕の実施間隔（年）			施設数	割合
以上	—	未満		
0.1	—	5.0	172	83.9%
5.0	—	10.0	14	6.8%
10.0	—	15.0	9	4.4%
15.0	—	20.0	4	2.0%
20.0	—		6	2.9%
合計			205	100.0%

B-10 築年数（問 36-1、問 52-1）

築年数に関して得られたデータを整理する。

建築年度に関する設問である問 36-1（最も古い施設）、問 52-1（最も近年に改修又は更新を実施した施設）のデータを用いて建築からの年数（築年数）を求めた。

問 36-1 では平均築年数が 40 年、問 52-1 では平均築年数が 23 年である（表 53）。

表 53 通所系施設の築年数に関する設問の回答状況

	問 36-1	問 52-1
有効回答数	654	548
平均（年）	40	23
中央値（年）	44	21
最大値（年）	114	58
最小値（年）	1	0

C 施設種別ごとの施設数と延床面積（問2）

入所系施設（「1. 助産施設」～「7. 児童心理治療施設」）と通所系施設（「8. 保育所」～「13. 母子・父子福祉施設」）について、施設種別ごとの施設数、施設種別ごとの延床面積を表 54 にまとめた。1自治体あたりの施設数は、「8. 保育所」が 6.8 箇所と最も多く、次いで「11. 児童厚生施設（児童遊園は除く）」の 5.4 箇所である。

また、施設の延床面積については、1施設あたりの平均延床面積は、「1. 助産施設」が最も広く、次いで、「5. 児童自立支援施設」となっており、入所系施設の面積が通所系施設の面積よりも広い傾向にある。

表 54 施設種別ごとの施設数と施設の延床面積

施設種別		施設数（施設数）			延床面積（㎡）		
		施設数 合計	回答の あった 自治体数	1自治体 あたりの 施設数の 平均	施設の 合計延床 面積	1自治体 あたりの 平均延床 面積	1施設 あたりの 平均延床 面積
1	助産施設	29	24	1.2	249,628	10,401	8,608
2	乳児院	3	3	1.0	3,014	1,005	1,005
3	母子生活支援施設	44	41	1.1	52,069	1,270	1,183
4	児童養護施設	14	9	1.6	35,725	3,969	2,552
5	児童自立支援施設	30	28	1.1	155,767	5,563	5,192
6	婦人保護施設	14	12	1.2	14,863	1,239	1,062
7	児童心理治療施設	9	8	1.1	22,439	2,805	2,493
8	保育所	4,898	724	6.8	4,034,793	5,573	824
9	保育所型認定こども園	216	91	2.4	240,121	2,639	1,112
10	幼保連携型認定こども園	570	170	3.4	719,883	4,235	1,263
11	児童厚生施設 （児童遊園は除く）	2,157	396	5.4	1,027,786	2,595	476
12	児童家庭支援センター	57	33	1.7	36,964	1,120	648
13	母子・父子福祉施設	9	9	1.0	5,949	661	661
合計		8,050	1,548	5.2	6,599,001	4,263	820

3.1.3. クロス集計

ライフサイクルコストの推計に用いるため、複数の設問を組み合わせでクロス集計を行った。結果を以下に記載する。

A-1 施設種別ごとの施設の構造

入所系施設、通所系施設について、施設種別（問 3-1、問 19-1、問 35-1、問 51-1）ごとの施設の構造（問 6-1、問 22-1、問 38-1、問 54-1）をまとめた。入所系施設で用いられているのは鉄筋コンクリート構造や鉄骨鉄筋コンクリート構造が多いが、通所系施設では鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨鉄筋コンクリート構造、木造構造のいずれも用いられていることが分かった。

表 55 施設種別ごとの施設の構造

施設種別		施設の構造							
		RC 造 (鉄筋コンクリート構造)		S 造 (鉄骨構造)		SRC 造 (鉄骨鉄筋コンクリート構造)		木造構造	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
1	助産施設	3	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2	乳児院	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3	母子生活支援施設	9	3.2%	0	0.0%	1	4.8%	1	0.7%
4	児童養護施設	1	0.4%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
5	児童自立支援施設	13	4.7%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%
6	婦人保護施設	2	0.7%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%
7	児童心理治療施設	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
8	保育所	167	59.9%	81	58.7%	11	52.4%	107	73.3%
9	保育所型認定こども園	8	2.9%	13	9.4%	0	0.0%	5	3.4%
10	幼保連携型認定こども園	34	12.2%	20	14.5%	2	9.5%	11	7.5%
11	児童厚生施設 (児童遊園は除く)	40	14.3%	22	15.9%	5	23.8%	22	15.1%
12	児童家庭支援センター	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13	母子・父子福祉施設	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		279	100.0%	138	100.0%	21	100.0%	146	100.0%

A-2 建築コストの分析

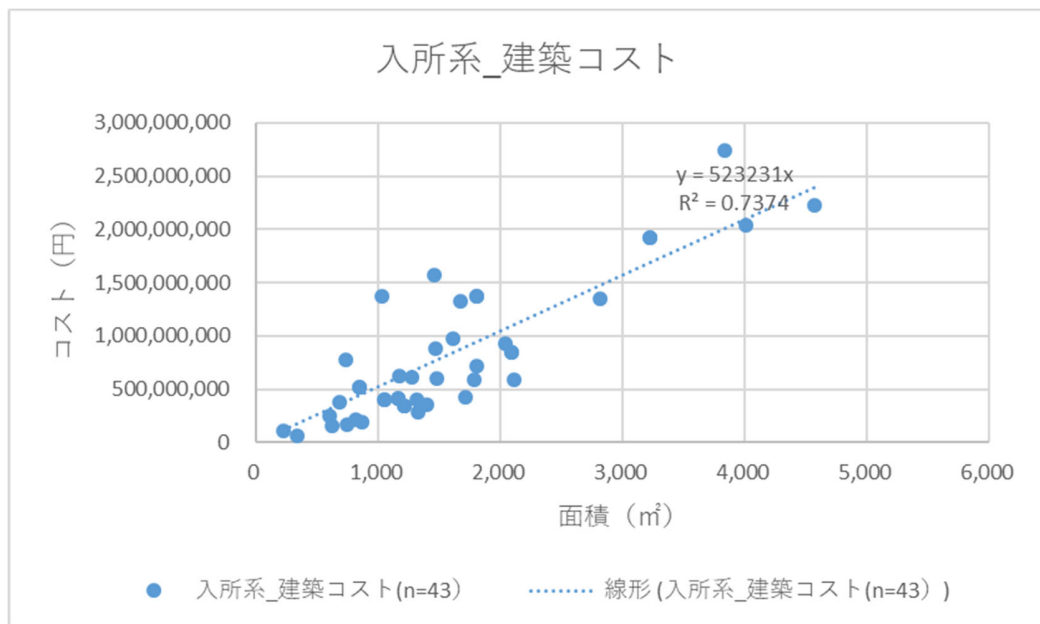
通所系施設、入所系施設について、単回帰分析により建築コストを分析する。

以下では通所系施設、入所系施設について、施設の面積と建築コストの関係を記載する。関係を示すために、横軸に施設の延床面積、縦軸に施設ごとの建築コストをとった散布図を記載し、図中に、それらの点を直線で近似する近似式と、 R^2 の値⁴を記載する。

【入所系施設】

入所系施設 43 件に関して、延床面積（問 7-1、問 23-1）、建築コスト（問 13-1、問 29-1）の関係を記載する（図 4）。直線近似をした場合、 R^2 は 0.5 より大きいことから、延床面積が広がるほど建築コストが高くなるとして、二つのコストの関係が説明できるものと考えられる。

図 4 入所系施設に関する延床面積と建築コストの関係



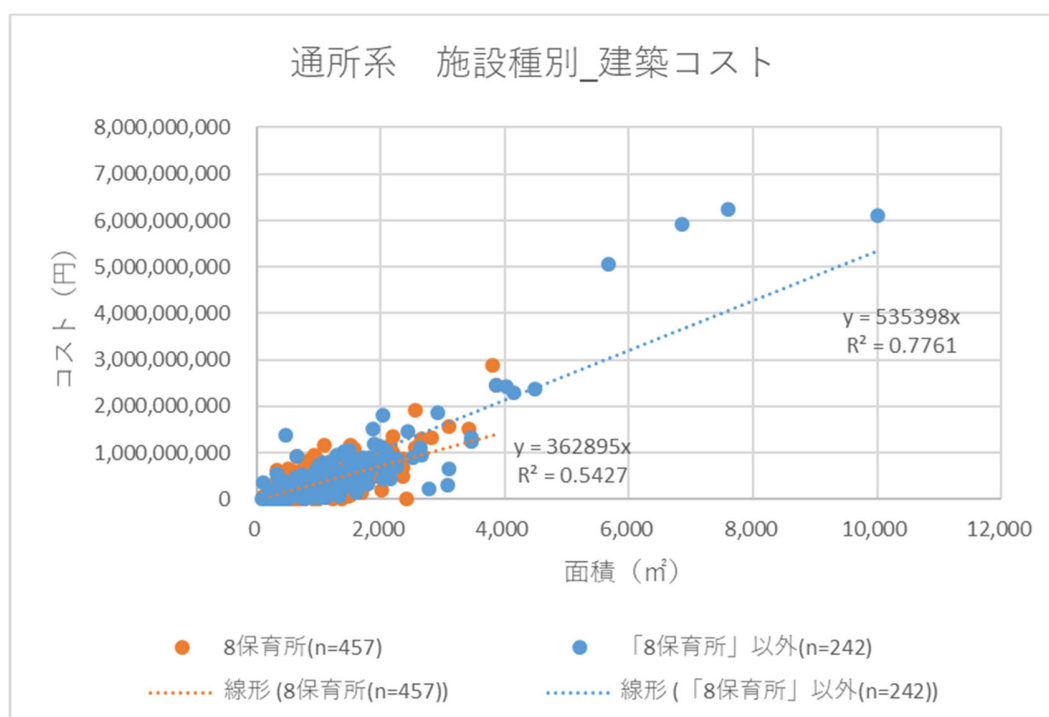
⁴ R^2 は決定係数と呼ばれ、回帰式により数値データをどれだけ説明できているかを示す値である。1に近いほど回帰式が数値データをよく説明できていると解釈できる。

【通所系施設】

通所系施設に関して、延床面積（問 39-1、問 55-1）、建築コスト（問 45-1、問 61-1）の関係を記載する（図 5）。

ここでは、通所施設に関して、件数の多い保育所（オレンジ色）と、保育所以外（青色）の2種類についてそれぞれ分析を行った。直線近似をした場合、 R^2 はいずれも 0.5 より大きいことから、延床面積により建築コストが説明できていると解釈できる。

図 5 通所系施設に関する延床面積と建築コストの関係



以上の結果を踏まえて、入所系施設、通所系施設（保育園、保育園以外）⁵⁾について、延床面積と建築コストの関係は表 56 に示す式で表現できる。

表 56 延床面積と建築コストの関係

X：延床面積（㎡）、Y：建築コスト（円）としたとき、

入所系施設

$$Y=523,231 \times X$$

通所系施設

・ 保育所

$$Y=362,895 \times X$$

・ 保育所以外

$$Y=535,398 \times X$$

⁵⁾ ここでは、通所系施設について、施設数の多い保育所とそれ以外の施設に分けて考えた。

A-3 運用コストの分析

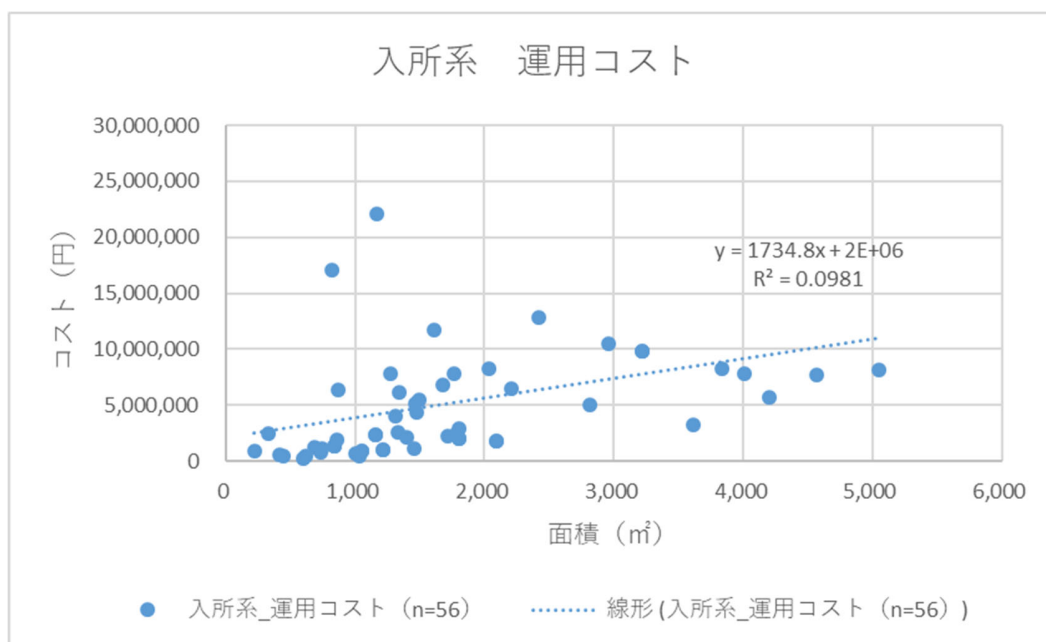
通所系施設、入所系施設について、運用コストを分析する。

以下、通所系施設、入所系施設の面積と運用コストの関係を図示した結果を記載する。横軸に施設の延床面積、縦軸に施設ごとの運用コストをとり、直線近似による近似式と R^2 の値を記載する。

【入所系施設】

入所系施設に関して、図6に延床面積（問 7-1、問 23-1）、運用コスト（問 14-1、問 30-1）の関係を記載する。直線近似をした場合、 R^2 は 0.10 と 0.5 より小さいことから、延床面積により運用コストを説明することは困難であると解釈できる。

図6 入所系施設に関する延床面積と運用コストの関係



また、図 7 に横軸に建築からの経過年数（年）、縦軸に 1 m²あたりの運用コストを示した。この図に関して、経過年数あたりの 1 m²あたりの運用コストの中央値⁶を表 58 に示す。建築からの経過年数に拘らず、1 m²あたりおおむね一定の運用コストがかかっていることが分かった。

図 7 入所系施設に関する延床面積と 1 m²あたりの運用コストの関係

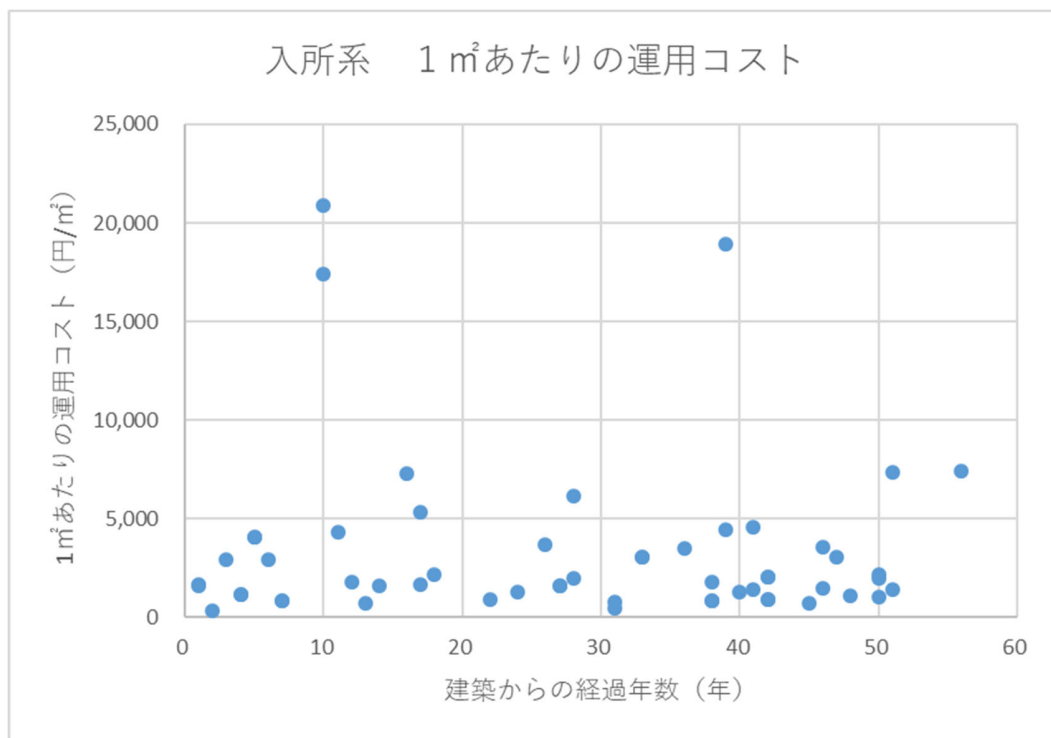


表 57 入所系施設における建築からの経過年数ごとの 1 m²あたりの運用コスト

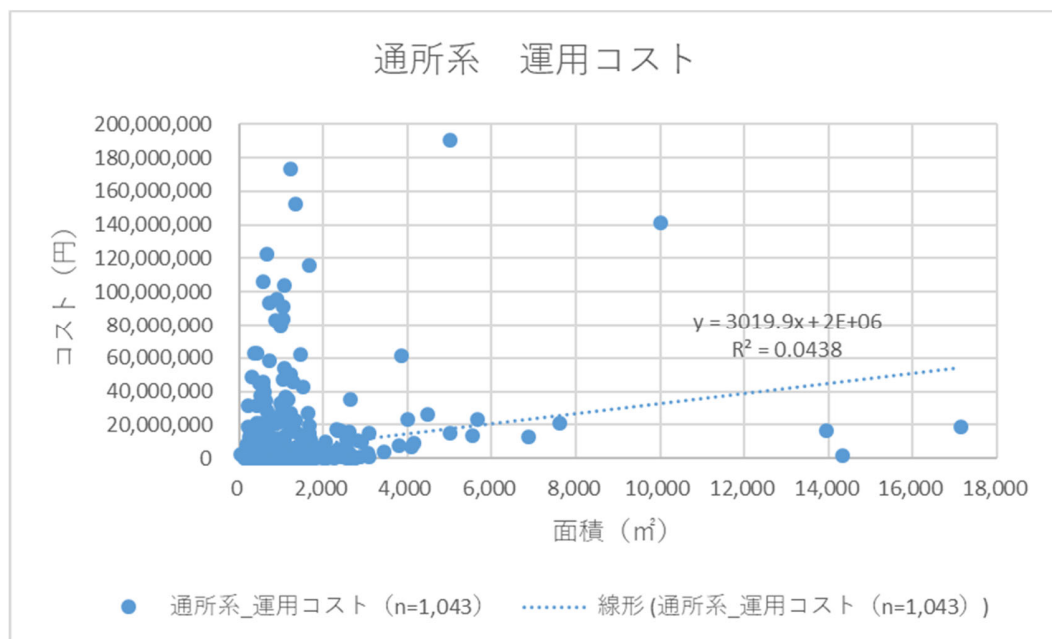
建築からの経過年数 (年)			1 m ² あたりの運用コストの中央値 (円)	回答数
以上		以下		
0	—	20	1,788	21
21	—	40	1,777	17
41	—		1,702	18

⁶ 本アンケートの結果のように「小さな値に回答が集中しているが、少数の非常に大きな値の回答もある」場合、平均値が標本の傾向をうまく表現しないことがある。標本を2分する値である中央値を用いることで、全体の傾向をより表現しやすいことから、本事業の分析に中央値を用いた。

【通所系施設】

通所系施設に関して、延床面積（問 39-1、問 55-1）、運用コスト（問 46-1、問 62-1）の関係を記載する（図 8）。直線近似をした場合、 R^2 は 0.04 と 0.5 より小さいことから、延床面積により運用コストを説明することは困難であると解釈できる。

図 8 通所系施設に関する延床面積と運用コストの関係



また、図 9 に横軸に建築からの経過年数（年）、縦軸に 1 m²あたりの運用コストを示した図を記載する。この図に関して、経過年数あたりの 1 m²あたりの運用コストの中央値を表 58 に示す。通所系施設では、築年数が長い施設ほど 1 m²あたりの運用コストが長くなっている。

図 9 通所系施設に関する延床面積と 1 m²あたりの運用コストの関係

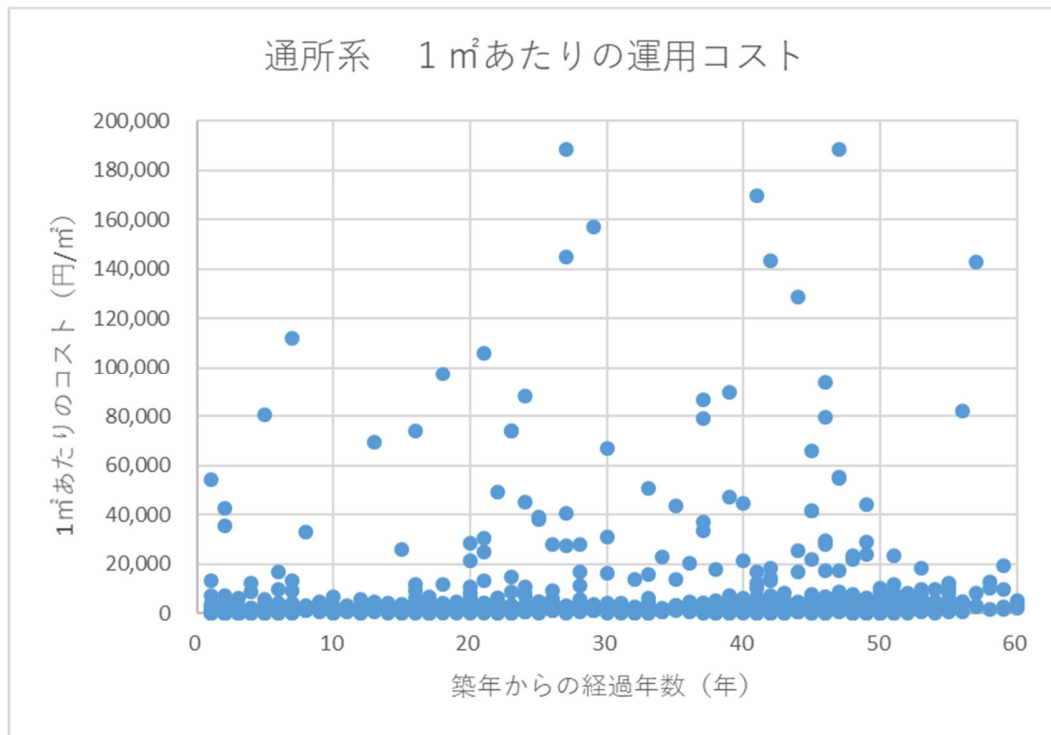


表 58 通所系施設における建築からの経過年数ごとの 1 m²あたりの運用コスト

建築からの経過年数 (年)			1 m ² あたりの運用コストの中央値 (円)	回答数
以上		以下		
0	—	20	1,411	259
21	—	40	2,485	271
41	—	60	2,780	494
61	—		3,638	15

上記より、運用コストについて、入所系施設、通所系施設ともに面積との関係を一定の式に示すことは困難である。一方で、築年数と運用コストの間には一定の関係があることが分かった。そのため、運用コストについては、築年数に応じて数値を計上する。

A-4 保全コストの分析

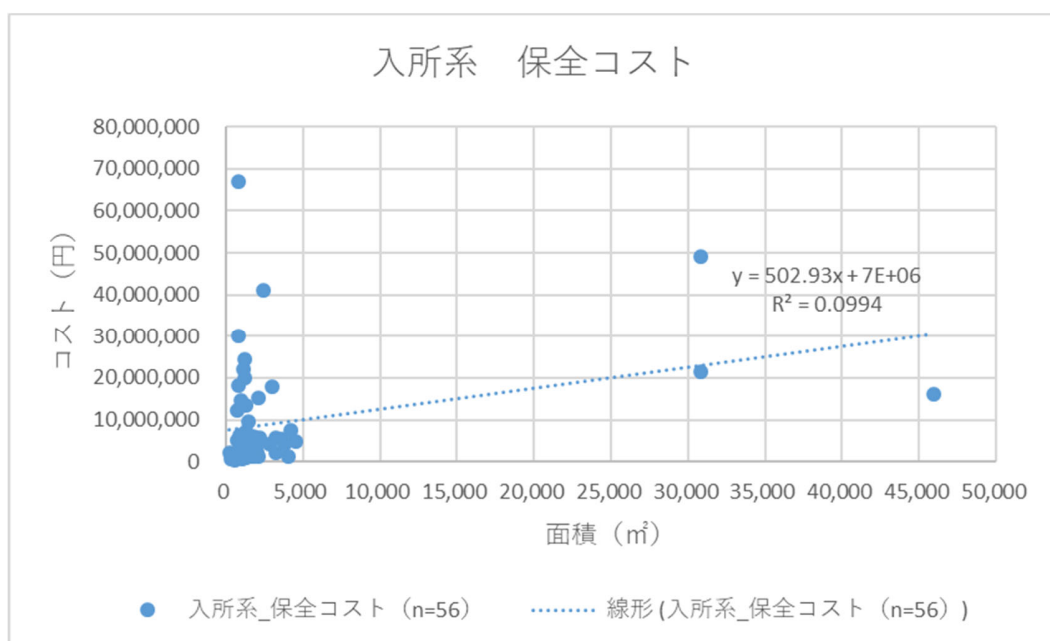
入所系、通所系の施設について保全コストを分析する。

通所系施設、入所系施設について、それぞれの施設の面積と保全コストの関係を図示した結果をそれぞれ記載する。横軸に施設の延床面積、縦軸に施設ごとの保全コストをとり、直線近似による近似式と R^2 の値を記載する。

【入所系施設】

入所系施設に関して、延床面積（問 7-1、問 23-1）、保全コスト（問 14-4、問 30-4）の関係を記載する（図 10）。直線近似をした場合、 R^2 は 0.10 と 0.5 より小さいことから、延床面積により保全コストを説明することは困難であると解釈できる。

図 10 入所系施設に関する延床面積と保全コストの関係



また、図 11 に横軸に建築からの経過年数（年）、縦軸に 1 m²あたりの保全コストを示す。
この図に関して、経過年数あたりの 1 m²あたりの保全コストを表 60 に示す。

図 11 入所系施設に関する延床面積と 1 m²あたりの保全コストの関係

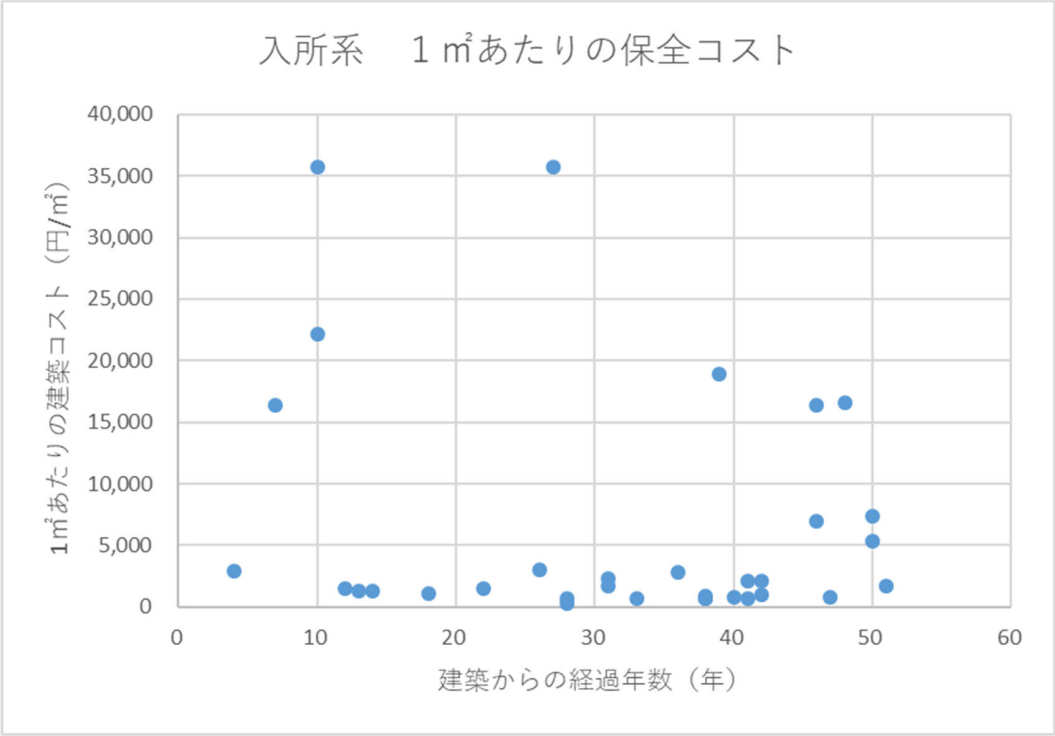


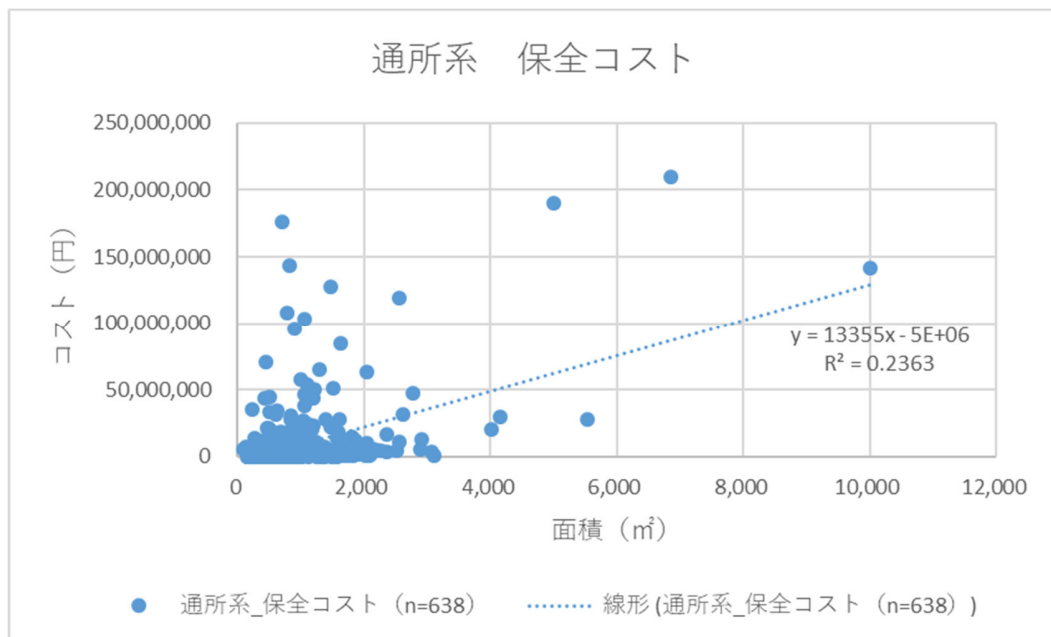
表 59 入所系施設の建築からの経過年数ごとの 1 m²あたりの保全コスト

建築からの経過年数（年）		1 m ² あたりの保全コストの中央値（円）	回答数
以上	以下		
0	20	2,176	8
21	40	1,520	13
41	—	1,329	12

【通所系施設】

通所系施設に関して、図12に延床面積（問39-1、問55-1）と保全コスト（46-4、問62-4）の関係を記載する。直線近似をした場合、 R^2 は0.24で0.5より小さいことから、延床面積により保全コストを説明することは困難であると解釈できる。

図12 通所系施設に関する延床面積と保全コストの関係



また、図 13 に横軸に建築からの経過年数（年）、縦軸に 1 m²あたりの保全コストを示した図を記載する。この図に関して、経過年数あたりの 1 m²あたりの保全コストを表 61 に示す。

図 13 通所系施設に関する延床面積と 1 m²あたりの保全コストの関係

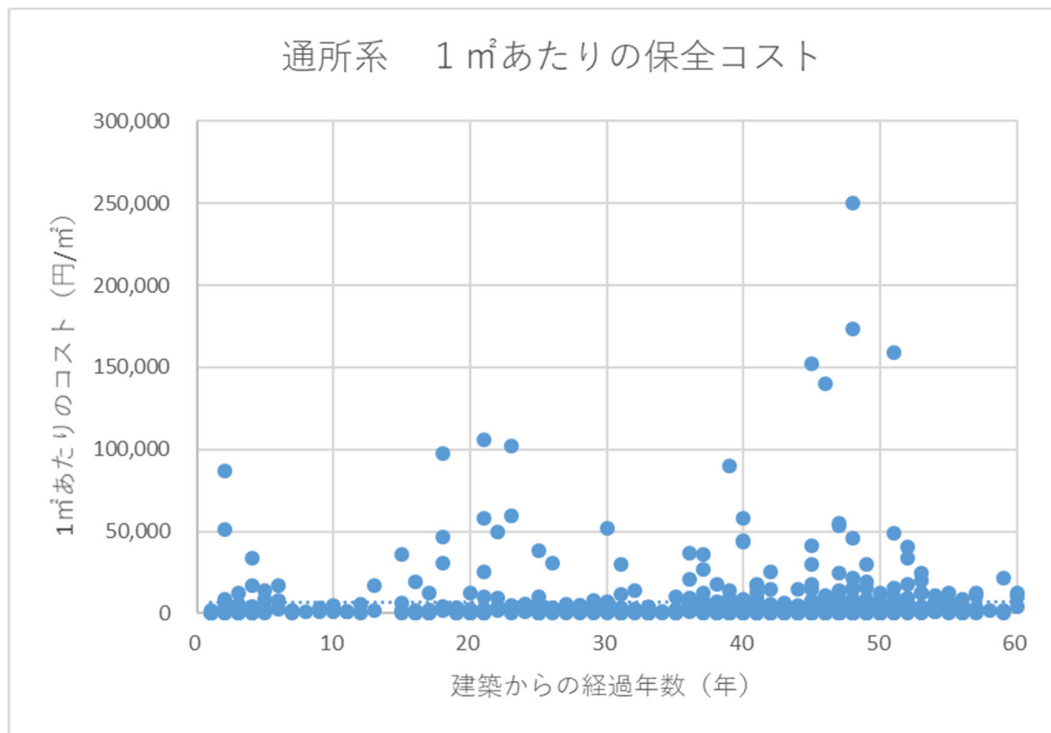


表 60 通所系施設の建築からの経過年数ごとの 1 m²あたりの保全コスト

建築からの経過年数（年）		1 m ² あたりの保全コストの中央値（円）	回答数
以上	以下		
0	20	1,744	102
21	40	2,488	151
41	60	1,886	369
61	—	4,060	15

上記より、保全コストについて、入所系施設、通所系施設ともに面積との関係を一定の式に示すことは困難である。

建築からの経過年数と保全コストの間にも明確な傾向を見出すことはできなかったが、地区年数別の保全コストは表 61 に整理されたため、ライフサイクルコストを推計する際には、保全コストは築年数に応じて計上することとする。

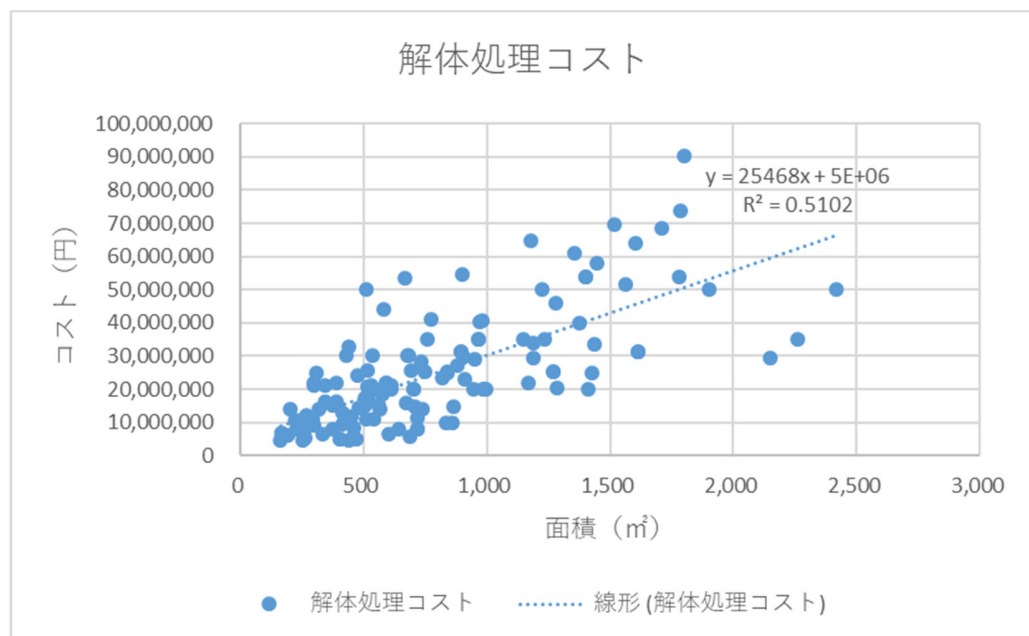
A-5 解体処理コストの分析

入所系、通所系の施設について解体処理コストを分析する。入所系施設と通所系施設をあわせて分析する。

横軸に施設の延床面積、縦軸に施設ごとの解体処理コストをとり、直線近似による近似式と R^2 の値を記載する。

図 14 に延床面積（問 7-1、問 23-1、問 39-1、問 55-1）、解体処理コスト（問 18-1、問 34-1、問 50-1、問 66-1）の関係を記載する。直線近似をした場合、 R^2 は 0.51 と 0.5 より大きいことから、延床面積により解体処理コストを説明することができると解釈できる。

図 14 入所系及び通所系施設に関する延床面積と解体処理コストの関係



上記の結果を踏まえて、児童福祉施設全体における解体処理コストと延床面積の関係は、表 62 の式で表せると想定する。

表 61 解体処理コストと延床面積の関係

x : 延床面積 (㎡)、 y : 解体処理コスト (円) としたとき、
 $y = 25,468 \times x + 4,839,407$

A-6 修繕費の分析

入所系、通所系の施設に関して、修繕費に関する分析を行う。

ここで、修繕の実施周期（何年に1回修繕を行うか）に関する状況を表63に示す。全体では、5.0年未満の周期であるとした回答が84.0%を占める。

建築以降の実施周期を求めると平均して3.5年となる。

表 62 建築からの修繕の実施周期

修繕の実施周期 (年)			入所系 (問 15-9、 問 31-9)		通所系 (問 47-9、 問 63-9)		入所系+通所系 (問 15-9、 問 31-9、問 47-9、 問 63-9)	
以上		未満	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
0.1	—	5.0	19	79.2%	416	84.2%	435	84.0%
5.0	—	10.0	2	8.3%	35	7.1%	37	7.1%
10.0	—	15.0	0	0.0%	16	3.2%	16	3.1%
15.0	—	20.0	1	4.2%	9	1.8%	10	1.9%
20.0	—		2	8.3%	18	3.6%	20	3.9%
合計			24	100.0%	494	100.0%	518	100.0%

全体の平均値 3.5 年

また、修繕費に関して、直近1年分の1㎡あたりの金額（中央値）を築年数の区分ごとに分析した。単位面積あたりの修繕費は、入所系施設、通所系施設のいずれにおいても築年数の経過に応じて高くなっていることが分かった（表64）。

表 63 1年あたり1㎡あたりの修繕費（円）

区分 (築年数)	1㎡あたりの修繕費（円／年）	
	入所系施設	通所系施設
全体	348	429
0-20 年	189	235
21-40 年	237	490
41-60 年	494	479
61 年-	494	626

A-7 更新費の分析

入所系、通所系の施設に関して、更新費に関する分析を行う。

更新の実施周期の状況を表 65 に示す。平均して 11.8 年となった。ただし、実施周期の長さ別にみると、入所系施設と通所系施設を合わせて「0.1 年以上 5 年未満」に 41.9%が集中しており、他方で「20.0 年以上」も 24.2%を占めているため、更新周期はばらつきが大きい。

表 64 建築からの更新の実施周期

更新の実施周期 (年)			入所系 (問 16-9、問 32-9)		通所系 (問 48-9、問 64-9)		入所系+通所系 (問 16-9、問 32-9、問 48-9、問 64-9)	
以上		未満	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
0.1	—	5.0	5	41.7%	90	41.9%	95	41.9%
5.0	—	10.0	0	0.0%	44	20.5%	44	19.4%
10.0	—	15.0	0	0.0%	18	8.4%	18	7.9%
15.0	—	20.0	1	8.3%	14	6.5%	15	6.6%
20.0	—		6	50.0%	49	22.8%	55	24.2%
合計			12	100.0%	215	100.0%	227	100.0%

全体の平均値 11.8 年

また、更新費に関して、直近 1 年分の 1 m²あたりの金額（中央値）を築年数の区分ごとの値として記載する（表 66）。

表 65 1 年あたり 1 m²あたりの更新費（円）

区分 (築年数)	1 m ² あたりの更新費（円／年）	
	入所系施設	通所系施設
全体	429	1,139
0-20 年	157	510
21-40 年	252	1,287
41-60 年	1,733	1,806
61 年-	1,733	416

A-8 改修の分析

入所系、通所系の施設に関して、改修費に関する分析を行う。

改修の実施周期に関する回答の状況を表 67 に示す。入所系施設と通所系施設全体では、10.0 年未満の周期であるとした回答が 49.9%を占める。

建築以降の実施周期を求めると平均して 11.0 年となる。

表 66 建築からの改修の実施周期

改修の実施周期 (年)			入所系 (問 17-9、問 33-9)		通所系 (問 49-9、問 65-9)		入所系+通所系 (問 17-9、問 33-9、問 49-9、問 65-9)	
以上		未満	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
0.1	—	5.0	2	15.4%	98	33.1%	100	32.4%
5.0	—	10.0	1	7.7%	53	17.9%	54	17.5%
10.0	—	15.0	3	23.1%	43	14.5%	46	14.9%
15.0	—	20.0	0	0.0%	21	7.1%	21	6.8%
20.0	—		7	53.8%	81	27.4%	88	28.5%
合計			8	100.0%	296	100.0%	309	100.0%

全体の平均値 11.0 年

また、改修費に関して、直近 1 年分の 1 m²あたりの金額（中央値）を築年数の区分ごとの値として記載する（表 68）。

表 67 1 年あたり 1 m²あたりの改修費（円）

区分 (築年数)	1 m ² あたりの更新（円／年）	
	入所系施設	通所系施設
全体	3,610	7,555
0-20 年	5,059	1,907
21-40 年	3,128	6,421
41-60 年	3,863	12,675
61 年-	3,863	27,240

3.2 インフラ長寿命化に関する推計結果

本節では、インフラ長寿命化に関する推計を行うにあたっての算定式を説明し、算定式を用いた推計結果を記載する。算定に当たっては1施設あたりのコスト推計をモデル化し、次いで、その結果を全国の施設に適用することにより、インフラ長寿命化による効果を推計した。

3.2.1. 推計条件

2章で述べた集計結果に基づき、1施設あたりのコストを推計する。

推計では、以下の3パターンを想定し、それぞれのLCC（ライフサイクルコスト）を算出することで長寿命化によるコスト削減効果を定量的に推定する。パターンごとに考慮する事項を表69にまとめた。また、表70に各シナリオでどのコストがかかるかを整理した。

表 68 ライフサイクルコストの算出シナリオ

1. ライフサイクルコスト推計対象年数
70年間
2. 延床面積
800 m ²
3. シナリオ
・ 共通事項
建築後 30 年間は運用コスト及び維持管理コストのみ計上し、修繕・更新・改修はしない。
・ 建築 31 年目からのコスト計上シナリオ
シナリオ 1：建物の寿命を延ばす取り組みをせず、建て替える
最低限のメンテナンスだけ実施する。すなわち運用コストと維持管理コストのみをかけ、修繕・更新・改修はしない。ただし、建築後 40 年で性能劣化により建替えの必要が生じるため、40 年目に最初の建物を取り壊す。41 年目に同じ場所に新しい建物を建築して、そのまま 30 年使う。
シナリオ 2：「長寿命化」しつつ LCC を抑えるよう計画的に保全する
建築から 31 年目以降は、運用と維持管理に加え、一定サイクルで修繕・更新・改修を行う「長寿命化」に取り組む。具体的には 31 年目に一括して修繕・更新・改修を実施。以降は一定の周期でそれぞれ修繕・更新・改修を行い、70 年間一つの建物を使い続け、最後に取り壊す。
シナリオ 3：建て替えはしないが、老朽化でやむなく保全を行うことになる
建築後 40 年目までは①同様に運用コストと維持管理コストだけかける。41 年目以降は建物の老朽化に伴い維持管理に加え一定サイクルで修繕・更新・改修の必要性が生じるため、一定周期で保全し、70 年間一つの建物を使い続ける。ただし、取り組む時期が遅かったため、維持管理を含む保全コストが②より割高になる。70 年間一つの建物を使い続け、最後に取り壊す。

表 69 LCC の算出にあたりシナリオ毎に考慮する事項

項目	シナリオ 1	シナリオ 2	シナリオ 3
長寿命化	なし	あり	なし
建物寿命 ⁷	40 年	70 年	70 年
建築コスト	○ (2 回)	○ (1 回)	○ (1 回)
運用コスト	○ (1 回/年)	○ (1 回/年)	○ (1 回/年)
保全コスト	△ (1 回/年) ・維持管理コストのみを計上	△ (1 回/年) ・1～30 年目は維持管理コストのみを計上 ・31 年目以降は保全コスト全体を計上	△ (1 回/年) ・1～40 年目は維持管理コストのみを計上 ・41 年目以降は保全コストに割増係数 (41 年目以降 60 年目までが 4.71、61 年目以降が 10.9) ⁸ をかけて計上
	維持管理コスト	○ (1 回/年)	○ (1 回/年)
	修繕、更新、改修コスト	× ・計上無し	△ ・41 年目以降計上
解体処理コスト	○ (1 回) 40 年目に計上	○ (1 回) 70 年目に計上	○ (1 回) 70 年目に計上
LCC の算出方法	＝建築コスト×2 (回) ＋運用コスト× (年数) (回) ＋保全コスト× (年数) (回) ＋解体処理コスト×1 回	＝建築コスト×1 (回) ＋運用コスト× (年数) (回) ＋ (修繕コスト＋更新コスト＋改修コスト) × 1 (回) ＋保全コスト× (年数) (回) ＋解体処理コスト×1 回	＝建築コスト×1 (回) ＋運用コスト× (年数) (回) ＋保全コスト× (年数) (回) ＋解体処理コスト×1 回

これらの条件に基づいて、シナリオごとに LCC を算出する。

⁷青森県ライフサイクルコスト試算手法 及び施設評価手法開発業務 報告書 <https://www.mlit.go.jp/common/001102408.pdf>

上記報告書に記載のパターン A を参考にし、40 年を寿命、30 年を長寿命化の結果として仮定した。

⁸過去の改修実施回数による改修費の違いに基づいて算出した。改修費については試算に中央値を用いていることから、ここでは中央値の比を算出した。41 年目以降 60 年目までの係数 (改修回数 1 回と 2 回の改修費の比)、61 年目以降 (改修回数 1 回と 2 回以上の改修費の比)

3.2.2. 各コストの推定方法

表 71 に示す方法で、入所系施設、通所系施設に関し、前述の方法で建築コスト、運用コスト、保全コスト、解体処理コストを算出した。

表 70 各種コストを算出するための式

※延床面積 X (㎡)	施設種別		
	入所系施設	通所系施設	
		保育所	保育所以外
①建築コスト Y ₁ (円)	Y ₁ =523,231×X (円)	Y ₁ =362,895×X (円)	Y ₁ =535,398×X (円)
②運用コスト Y ₂ (円／年)	Y ₂ =建築からの経過年数による係数×X ※建築からの経過年数による係数は表 57 に記載	Y ₂ =建築からの経過年数による係数×X ※建築からの経過年数による係数は表 58 に記載	
③保全コスト Y ₃ (円／年)	Y ₃ =建築からの経過年数による係数×X ※建築からの経過年数による係数は表 59 に記載	Y ₃ =建築からの経過年数による係数×X ※建築からの経過年数による係数は表 60 に記載	
④解体処理コスト Y ₄ (円)	Y ₄ =25,468×X+4,839,407 (円)		
⑤ライフサイクルコスト (円)	LCC = Y ₁ + Y ₂ +Y ₃ + Y ₄		

3.2.3. 試算結果

以下では、回答の中で多かった延床面積 800 m²の建物について、試算結果を記載する。

入所系施設、通所系施設のそれぞれに関し、3種類のシナリオでライフサイクルコストを算出した。その結果、シナリオ2（長寿命化をする場合）のLCCが最も少なくなった。

表 71 に各シナリオのコストを示した。建て替えをせず、保全をいつから始めるかという点で差異があるシナリオ2と3の結果を比較してみると、LCCを70年間で割った「1年あたりのLCC」は、シナリオ2の方がシナリオ3よりも2～3割程度低くなった。建て替えを前提とするか否かでシナリオ1とシナリオ2を比較した場合、特に入所系施設でシナリオ1がシナリオ2と比べ約1.6倍のコストがかかる結果となった。これは、試算対象期間中に新たな建物をもう一度作ることで、建築コストが2回計上された影響が大きい。

これらの試算結果より、長寿命化を図ることにより70年間で見た場合の1年間あたりのLCCを低減させることが可能であるといえる。

表 71 3シナリオの70年間のLCCの比較

	LCC (70年分) (円)	1年あたりのLCC (円)
A.入所系施設		
シナリオ1	1,046,610,214	14,951,574
シナリオ2	658,997,710	9,414,253
シナリオ3	807,078,745	11,529,696
B.通所系施設（保育所）		
シナリオ1	768,169,876	10,973,855
シナリオ2	643,414,799	9,191,640
シナリオ3	981,474,283	14,021,061
C.通所系施設（保育所以外）		
シナリオ1	1,044,174,676	14,916,781
シナリオ2	781,417,199	11,163,103
シナリオ3	1,119,476,683	15,992,524

3.2.4. 各シナリオの詳細

前述した入所系施設、通所系施設（保育所、保育所以外）について、それぞれ3シナリオの内訳を記載する。

A. 入所系施設

a. シナリオ1

シナリオ1に関して、70年間のLCCを構成するコストの内訳を表72に示す。

その内訳として、建築以降、現在（30年目）までのコストの内訳（表73、表74、表75）、今後建て替えまでの期間（31年目～40年目）のコストの内訳（表76、表77、表78）、今後建て替えた後の期間（41年目～70年目）のコストの内訳（表79、表80、表81）を示す。なお、最初の建物を建築してから70年目には、一度取り壊して新たに建てた二つ目の建物が寿命を迎える前であることから、解体は行わない。

表72 入所系施設のシナリオ1における70年間のLCCの構成コストの詳細

	ライフサイクル全体 でのコスト	LCC全体に 占める割合	(参考) 1年あたり コスト
建築コスト（円）	837,169,600	80.0%	11,959,566
運用コスト（円）	99,867,504	9.5%	1,426,679
保全コスト（円）	84,359,303	8.1%	1,205,133
解体処理コスト（円）	25,213,807	2.4%	360,197

現在（30年時点）までのコスト

表 73 入所系施設のシナリオ 1 における建築コスト（現在まで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
建築コスト（円）	523,231	418,584,800	418,584,800

表 74 入所系施設のシナリオ 1 における運用コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,788	1,430,377	28,607,545
21-30	1,777	1,421,747	14,217,472
31-40	1,777	1,421,747	0
41-	1,702	1,361,518	0

表 75 入所系施設のシナリオ 1 における保全コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,293	1,034,212	20,684,243
21-30	1,791	1,433,027	14,330,272
31-40	1,791	1,433,027	0
41-	6,260	5,007,790	0

今後のコスト

建て替え（40 年目）まで

表 76 入所系施設のシナリオ 1 における運用コスト内訳（建て替えまで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,788	1,430,377	0
21-30	1,777	1,421,747	0
31-40	1,777	1,421,747	14,217,472
41-	1,702	1,361,518	0

表 77 入所系施設のシナリオ 1 における保全コスト内訳（建て替えまで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,293	1,034,212	0
21-30	1,791	1,433,027	0
31-40	1,791	1,433,027	14,330,272
41-	6,260	5,007,790	0

表 78 入所系施設のシナリオ 1 における解体処理コスト（建て替えまで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
解体処理コスト（円）	25,468	25,213,807	25,213,807

建て替え（41年目）後

表 79 入所系施設のシナリオ1における建築コスト（建て替え後）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
建築コスト（円）	523,231	418,584,800	418,584,800

表 80 入所系施設のシナリオ1における運用コスト内訳（建て替え後）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,788	1,430,377	28,607,545
21-30	1,777	1,421,747	14,217,472
31-40	1,777	1,421,747	0
41-60	1,702	1,361,518	0
61-	1,702	1,361,518	0

表 81 入所系施設のシナリオ1における保全コスト内訳（建て替え後）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,293	1,034,212	20,684,243
21-30	1,791	1,433,027	14,330,272
31-40	1,791	1,433,027	0
41-60	6,260	5,007,790	0
61-	14,486	11,589,152	0

b. シナリオ 2

シナリオ 2 に関して、70 年間の LCC を構成するコストの内訳（表 82）を示す。

その内訳として、建築以降、現在（30 年目）までのコストの内訳（表 83、表 84、表 85）、今後の期間（31 年目～70 年目）のコストの内訳（表 86、表 87、表 88）を示す。

表 82 入所系施設のシナリオ 2 における 70 年間の LCC の構成コストの詳細

	ライフサイクル全体 でのコスト	LCC 全体に 占める割合	(参考) 1 年あたり コスト
建築コスト (円)	418,584,800	63.5%	5,979,783
運用コスト (円)	97,888,033	14.9%	1,398,400
保全コスト (円)	117,311,070	17.8%	1,675,872
解体処理コスト (円)	25,213,807	3.8%	360,197

現在（30 年時点）までのコスト

表 83 入所系施設のシナリオ 2 における建築コスト（現在まで）

	1 m ² あたり (円)	1 回あたり (円)	合計 (円)
建築コスト (円)	523,231	418,584,800	418,584,800

表 84 入所系施設のシナリオ 2 における運用コスト内訳（現在まで）

築年数 (年)	1 m ² あたり (円)	1 年あたり (円)	合計 (円)
0-20	1,788	1,430,377	28,607,545
21-30	1,777	1,421,747	14,217,472
31-40	1,777	1,421,747	0
41-	1,702	1,361,518	0

表 85 入所系施設のシナリオ 2 における保全コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,293	1,034,212	20,684,243
21-30	1,791	1,433,027	14,330,272
31-40	1,791	1,433,027	0
41-	6,260	5,007,790	0

今後のコスト（31 年目～70 年目）

表 86 入所系施設のシナリオ 2 における運用コスト内訳（今後 70 年目まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,788	1,430,377	0
21-30	1,777	1,421,747	0
31-40	1,777	1,421,747	14,217,472
41-60	1,702	1,361,518	27,230,364
61-	1,702	1,361,518	13,615,182

表 87 入所系施設のシナリオ 2 における保全コスト内訳（今後 70 年目まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	2,176	1,740,949	0
21-30	1,520	1,215,805	0
31-40	1,520	1,215,805	50,399,805
41-60	1,329	1,063,225	21,264,500
61-	1,329	1,063,225	10,632,250

表 88 入所系施設のシナリオ 2 における解体処理コスト（今後 70 年目まで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
解体処理コスト（円）	25,468	25,213,807	25,213,807

c. シナリオ 3

シナリオ 3 に関して、70 年間の LCC を構成するコストの内訳（表 89）を示す。

その内訳として、建築以降、現在（30 年目）までのコストの内訳（表 90、表 91、表 92）、今後の期間（31 年目～70 年目）のコストの内訳（表 93、表 94、表 95）を示す。

表 89 入所系施設のシナリオ 3 における 70 年間の LCC の構成コストの詳細

	ライフサイクル全体 でのコスト	LCC 全体に 占める割合	(参考) 1 年あたり コスト
建築コスト (円)	418,584,800	51.9%	5,979,783
運用コスト (円)	97,888,033	12.1%	1,398,400
保全コスト (円)	265,392,104	32.9%	3,791,316
解体処理コスト (円)	25,213,807	3.1%	360,197

現在（30年時点）までのコスト

表 90 入所系施設のシナリオ3における建築コスト（現在まで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
建築コスト（円）	523,231	418,584,800	418,584,800

表 91 入所系施設のシナリオ3における運用コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,788	1,430,377	28,607,545
21-30	1,777	1,421,747	14,217,472
31-40	1,777	1,421,747	0
41-	1,702	1,361,518	0

表 92 入所系施設のシナリオ3における保全コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,293	1,034,212	20,684,243
21-30	1,791	1,433,027	14,330,272
31-40	1,791	1,433,027	0
41-	6,260	5,007,790	0

今後のコスト（31年目～70年目）

表 93 入所系施設のシナリオ 3 における運用コスト内訳（今後 70 年目まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,788	1,430,377	0
21-30	1,777	1,421,747	0
31-40	1,777	1,421,747	14,217,472
41-60	1,702	1,361,518	27,230,364
61-	1,702	1,361,518	13,615,182

表 94 入所系施設のシナリオ 3 における保全コスト内訳（今後 70 年目まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,293	1,034,212	0
21-30	1,791	1,433,027	0
31-40	1,791	1,433,027	14,330,272
41-60	6,260	5,007,790	100,155,794
61-	14,486	11,589,152	115,891,523

表 95 入所系施設のシナリオ 3 における解体処理コスト（今後 70 年目まで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
解体処理コスト（円）	25,468	25,213,807	25,213,807

B. 通所系施設（保育所）

a. シナリオ 1

シナリオ 1 に関して、70 年間の LCC を構成するコストの内訳（表 96）を示す。

その内訳として、建築以降、現在（30 年目）までのコストの内訳（表 97、表 98、表 99）、今後建て替えまでの期間（31 年目～40 年目）のコストの内訳（表 100、表 101、表 102）、今後建て替えた後の期間（41 年目～70 年目）のコストの内訳（表 103、表 104、表 105）を示す。

表 96 通所系施設（保育所）のシナリオ 1 における 70 年間の LCC の構成コストの詳細

	ライフサイクル全体 でのコスト	LCC 全体に 占める割合	（参考）1 年あたり コスト
建築コスト（円）	580,632,000	75.6%	8,294,743
運用コスト（円）	104,783,875	13.6%	1,496,912
保全コスト（円）	57,540,194	7.5%	822,003
解体処理コスト（円）	25,213,807	3.3%	360,197

現在（30年時点）までのコスト

表 97 通所系施設（保育所）のシナリオ1における建築コスト（現在まで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
建築コスト（円）	362,895	290,316,000	290,316,000

表 98 通所系施設（保育所）のシナリオ1における運用コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	22,568,655
21-30	2,485	1,988,219	19,882,188
31-40	2,485	1,988,219	0
41-	2,780	2,223,755	0

表 99 通所系施設（保育所）のシナリオ1における保全コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	836	668,581	13,371,613
21-30	1,283	1,026,566	10,265,656
31-40	1,283	1,026,566	0
41-	8,883	7,106,215	0

今後のコスト

建て替え（40年目）まで

表 100 通所系施設（保育所）のシナリオ1における運用コスト内訳（建て替えまで）

築年数（年）	1㎡あたり（円）	1年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	0
21-30	2,485	1,988,219	0
31-40	2,485	1,988,219	19,882,188
41-	2,780	2,223,755	0

表 101 通所系施設（保育所）のシナリオ1における保全コスト内訳（建て替えまで）

築年数（年）	1㎡あたり（円）	1年あたり（円）	合計（円）
0-20	836	668,581	0
21-30	1,283	1,026,566	0
31-40	1,283	1,026,566	10,265,656
41-	8,883	7,106,215	0

表 102 通所系施設（保育所）のシナリオ1における解体処理コスト（建て替えまで）

	1㎡あたり（円）	1回あたり（円）	合計（円）
解体処理コスト（円）	25,468	25,213,807	25,213,807

建て替え（41年目）後

表 103 通所系施設（保育所）のシナリオ1における建築コスト（建て替え後）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
建築コスト（円）	362,895	290,316,000	290,316,000

表 104 通所系施設（保育所）のシナリオ1における運用コスト内訳（建て替え後）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	22,568,655
21-30	2,485	1,988,219	19,882,188
31-40	2,485	1,988,219	0
41-60	2,780	2,223,755	0
61-	3,638	2,910,295	0

表 105 通所系施設（保育所）のシナリオ1における保全コスト内訳（建て替え後）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	836	668,581	13,371,613
21-30	1,283	1,026,566	10,265,656
31-40	1,283	1,026,566	0
41-60	8,883	7,106,215	0
61-	44,251	35,400,618	0

b. シナリオ 2

シナリオ 2 に関して、70 年間の LCC を構成するコストの内訳（表 106）を示す。

その内訳として、建築以降、現在（30 年目）までのコストの内訳（表 107、表 108、表 109）、今後の期間（31 年目～70 年目）のコストの内訳（表 110、表 111、表 112）を示す。

表 106 通所系施設（保育所）のシナリオ 2 における 70 年間の LCC の構成コストの詳細

	ライフサイクル全体 でのコスト	LCC 全体に 占める割合	(参考) 1 年あたり コスト
建築コスト (円)	290,316,000	45.1%	4,147,371
運用コスト (円)	135,911,071	21.1%	1,941,587
保全コスト (円)	191,973,920	29.8%	2,742,485
解体処理コスト (円)	25,213,807	3.9%	360,197

現在（30年時点）までのコスト

表 107 通所系施設（保育所）のシナリオ2における建築コスト（現在まで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
建築コスト（円）	362,895	290,316,000	290,316,000

表 108 通所系施設（保育所）のシナリオ2における運用コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	22,568,655
21-30	2,485	1,988,219	19,882,188
31-40	2,485	1,988,219	0
41-	2,780	2,223,755	0

表 109 通所系施設（保育所）のシナリオ2における保全コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	836	668,581	13,371,613
21-30	1,283	1,026,566	10,265,656
31-40	1,283	1,026,566	0
41-	8,883	7,106,215	0

今後のコスト（31年目～70年目）

表 110 通所系施設（保育所）のシナリオ 2 における運用コスト内訳（今後 70 年目まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	0
21-30	2,485	1,988,219	0
31-40	2,485	1,988,219	19,882,188
41-60	2,780	2,223,755	44,475,092
61-	3,638	2,910,295	29,102,947

表 111 通所系施設（保育所）のシナリオ 2 における保全コスト内訳（今後 70 年目まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,744	1,395,029	0
21-30	2,488	1,990,318	0
31-40	2,488	1,990,318	105,684,010
41-60	1,886	1,508,750	30,175,010
61-	4,060	3,247,763	32,477,632

表 112 通所系施設（保育所）のシナリオ 2 における解体処理コスト（今後 70 年目まで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
解体処理コスト（円）	25,468	25,213,807	25,213,807

c. シナリオ 3

シナリオ 3 に関して、70 年間の LCC を構成するコストの内訳（表 113）を示す。

その内訳として、建築以降、現在（30 年目）までのコストの内訳（表 114、表 115、表 116）、今後の期間（31 年目～70 年目）のコストの内訳（表 117、表 118、表 119）を示す。

表 113 通所系施設（保育所）のシナリオ 3 における 70 年間の LCC の構成コストの詳細

	ライフサイクル全体 でのコスト	LCC 全体に 占める割合	(参考) 1 年あたり コスト
建築コスト (円)	290,316,000	29.6%	4,147,371
運用コスト (円)	135,911,071	13.8%	1,941,587
保全コスト (円)	530,033,404	54.0%	7,571,906
解体処理コスト (円)	25,213,807	2.6%	360,197

現在（30年時点）までのコスト

表 114 通所系施設（保育所）のシナリオ3における建築コスト（現在まで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
建築コスト（円）	362,895	290,316,000	290,316,000

表 115 通所系施設（保育所）のシナリオ3における運用コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	22,568,655
21-30	2,485	1,988,219	19,882,188
31-40	2,485	1,988,219	0
41-	2,780	2,223,755	0

表 116 通所系施設（保育所）のシナリオ3における保全コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	836	668,581	13,371,613
21-30	1,283	1,026,566	10,265,656
31-40	1,283	1,026,566	0
41-	8,883	7,106,215	0

今後のコスト（31年目～70年目）

表 117 通所系施設（保育所）のシナリオ 3 における運用コスト内訳（今後 70 年目まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	0
21-30	2,485	1,988,219	0
31-40	2,485	1,988,219	19,882,188
41-60	2,780	2,223,755	44,475,092
61-	3,638	2,910,295	29,102,947

表 118 通所系施設（保育所）のシナリオ 3 における保全コスト内訳（今後 70 年目まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	836	668,581	0
21-30	1,283	1,026,566	0
31-40	1,283	1,026,566	10,265,656
41-60	8,883	7,106,215	142,124,295
61-	44,251	35,400,618	354,006,184

表 119 通所系施設（保育所）のシナリオ 3 における解体処理コスト（今後 70 年目まで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
解体処理コスト（円）	25,468	25,213,807	25,213,807

C. 通所系施設（保育所以外）

a. シナリオ 1

シナリオ 1 に関して、70 年間の LCC を構成するコストの内訳（表 120）を示す。

その内訳として、建築以降、現在（30 年目）までのコストの内訳（表 121、表 122、表 123）、今後建て替えまでの期間（31 年目～40 年目）のコストの内訳（表 124、表 125、表 126）、今後建て替えた後の期間（41 年目～70 年目）のコストの内訳（表 127、表 128、表 129）を示す。

表 120 通所系施設（保育所以外）のシナリオ 1 における 70 年間の LCC の構成コストの詳細

	ライフサイクル全体 でのコスト	LCC 全体に 占める割合	（参考）1 年あたり コスト
建築コスト（円）	856,636,800	82.0%	12,237,669
運用コスト（円）	104,783,875	10.0%	1,496,912
保全コスト（円）	57,540,194	5.5%	822,003
解体処理コスト（円）	25,213,807	2.4%	360,197

現在（30年時点）までのコスト

表 121 通所系施設（保育所以外）のシナリオ 1 における建築コスト（現在まで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
建築コスト（円）	535,398	428,318,400	428,318,400

表 122 通所系施設（保育所以外）のシナリオ 1 における運用コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	22,568,655
21-30	2,485	1,988,219	19,882,188
31-40	2,485	1,988,219	0
41-	2,780	2,223,755	0

表 123 通所系施設（保育所以外）のシナリオ 1 における保全コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	836	668,581	13,371,613
21-30	1,283	1,026,566	10,265,656
31-40	1,283	1,026,566	0
41-	8,883	7,106,215	0

今後のコスト

建て替え（40年目）まで

表 124 通所系施設（保育所以外）のシナリオ1における運用コスト内訳（建て替えまで）

築年数（年）	1㎡あたり（円）	1年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	0
21-30	2,485	1,988,219	0
31-40	2,485	1,988,219	19,882,188
41-	2,780	2,223,755	0

表 125 通所系施設（保育所以外）のシナリオ1における保全コスト内訳（建て替えまで）

築年数（年）	1㎡あたり（円）	1年あたり（円）	合計（円）
0-20	836	668,581	0
21-30	1,283	1,026,566	0
31-40	1,283	1,026,566	10,265,656
41-	8,883	7,106,215	0

表 126 通所系施設（保育所以外）のシナリオ1における解体処理コスト（建て替えまで）

	1㎡あたり（円）	1回あたり（円）	合計（円）
解体処理コスト（円）	25,468	25,213,807	25,213,807

建て替え（41年目）後

表 127 通所系施設（保育所以外）のシナリオ1における建築コスト（建て替え後）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
建築コスト（円）	535,398	428,318,400	428,318,400

表 128 通所系施設（保育所以外）のシナリオ1における運用コスト内訳（建て替え後）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	22,568,655
21-30	2,485	1,988,219	19,882,188
31-40	2,485	1,988,219	0
41-60	2,780	2,223,755	0
61-	3,638	2,910,295	0

表 129 通所系施設（保育所以外）のシナリオ1における保全コスト内訳（建て替え後）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	836	668,581	13,371,613
21-30	1,283	1,026,566	10,265,656
31-40	1,283	1,026,566	0
41-60	8,883	7,106,215	0
61-	44,251	35,400,618	0

b. シナリオ 2

シナリオ 2 に関して、70 年間の LCC を構成するコストの内訳（表 130）を示す。

その内訳として、建築以降、現在（30 年目）までのコストの内訳（表 131、表 132、表 133）、今後の期間（31 年目～70 年目）のコストの内訳（表 134、表 135、表 136）を示す。

表 130 通所系施設（保育所以外）のシナリオ 2 における 70 年間の LCC の構成コストの詳細

	ライフサイクル全体 でのコスト	LCC 全体に 占める割合	(参考) 1 年あたり コスト
建築コスト (円)	428,318,400	54.8%	6,118,834
運用コスト (円)	135,911,071	17.4%	1,941,587
保全コスト (円)	191,973,920	24.6%	2,742,485
解体処理コスト (円)	25,213,807	3.2%	360,197

現在（30年時点）までのコスト

表 131 通所系施設（保育所以外）のシナリオ2における建築コスト（現在まで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
建築コスト（円）	535,398	428,318,400	428,318,400

表 132 通所系施設（保育所以外）のシナリオ2における運用コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	22,568,655
21-30	2,485	1,988,219	19,882,188
31-40	2,485	1,988,219	0
41-	2,780	2,223,755	0

表 133 通所系施設（保育所以外）のシナリオ2における保全コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	836	668,581	13,371,613
21-30	1,283	1,026,566	10,265,656
31-40	1,283	1,026,566	0
41-	8,883	7,106,215	0

今後のコスト（31年目～70年目）

表 134 通所系施設（保育所以外）のシナリオ2における運用コスト内訳（今後70年目まで）

築年数（年）	1㎡あたり（円）	1年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	0
21-30	2,485	1,988,219	0
31-40	2,485	1,988,219	19,882,188
41-60	2,780	2,223,755	44,475,092
61-	3,638	2,910,295	29,102,947

表 135 通所系施設（保育所以外）のシナリオ2における保全コスト内訳（今後70年目まで）

築年数（年）	1㎡あたり（円）	1年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,744	1,395,029	0
21-30	2,488	1,990,318	0
31-40	2,488	1,990,318	105,684,010
41-60	1,886	1,508,750	30,175,010
61-	4,060	3,247,763	32,477,632

表 136 通所系施設（保育所以外）のシナリオ2における解体処理コスト（今後70年目まで）

	1㎡あたり（円）	1回あたり（円）	合計（円）
解体処理コスト（円）	25,468	25,213,807	25,213,807

c. シナリオ 3

シナリオ 3 に関して、70 年間の LCC を構成するコストの内訳（表 137）を示す。

その内訳として、建築以降、現在（30 年目）までのコストの内訳（表 138、表 139、表 140）、今後の期間（31 年目～70 年目）のコストの内訳（表 141、表 142、表 143）を示す。

表 137 通所系施設（保育所以外）のシナリオ 3 における 70 年間の LCC の構成コストの詳細

	ライフサイクル全体 でのコスト	LCC 全体に 占める割合	（参考）1 年あたり コスト
建築コスト（円）	428,318,400	38.3%	6,118,834
運用コスト（円）	135,911,071	12.1%	1,941,587
保全コスト（円）	530,033,404	47.3%	7,571,906
解体処理コスト（円）	25,213,807	2.3%	360,197

現在（30年時点）までのコスト

表 138 通所系施設（保育所以外）のシナリオ3における建築コスト（現在まで）

	1 m ² あたり（円）	1 回あたり（円）	合計（円）
建築コスト（円）	535,398	428,318,400	428,318,400

表 139 通所系施設（保育所以外）のシナリオ3における運用コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	22,568,655
21-30	2,485	1,988,219	19,882,188
31-40	2,485	1,988,219	0
41-	2,780	2,223,755	0

表 140 通所系施設（保育所以外）のシナリオ3における保全コスト内訳（現在まで）

築年数（年）	1 m ² あたり（円）	1 年あたり（円）	合計（円）
0-20	836	668,581	13,371,613
21-30	1,283	1,026,566	10,265,656
31-40	1,283	1,026,566	0
41-	8,883	7,106,215	0

今後のコスト（31年目～70年目）

表 141 通所系施設（保育所以外）のシナリオ3における運用コスト内訳（今後70年目まで）

築年数（年）	1㎡あたり（円）	1年あたり（円）	合計（円）
0-20	1,411	1,128,433	0
21-30	2,485	1,988,219	0
31-40	2,485	1,988,219	19,882,188
41-60	2,780	2,223,755	44,475,092
61-	3,638	2,910,295	29,102,947

表 142 通所系施設（保育所以外）のシナリオ3における保全コスト内訳（今後70年目まで）

築年数（年）	1㎡あたり（円）	1年あたり（円）	合計（円）
0-20	836	668,581	0
21-30	1,283	1,026,566	0
31-40	1,283	1,026,566	10,265,656
41-60	8,883	7,106,215	142,124,295
61-	44,251	35,400,618	354,006,184

表 143 通所系施設（保育所以外）のシナリオ3における解体処理コスト（今後70年目まで）

	1㎡あたり（円）	1回あたり（円）	合計（円）
解体処理コスト（円）	25,468	25,213,807	25,213,807

3.3.1. 試算シートの作成

上記調査により明らかになった情報を用いて、自治体における特定の建物に関する LCC を試算する際に活用できるシートを作成した。同シートにおいては、延床面積（㎡）、現在の経過年数（年）を任意にすることで、上述したシナリオ1、シナリオ2、シナリオ3のそれぞれの LCC を比較することができる。⁹

⁹ なお、60年以上経過している建物については、基本的に建て替えが推奨されることから、同試算においては、シナリオ1のLCC試算の対象となる建築年数を59年と設定した。

4 まとめ

上述した試算結果よりインフラ長寿命化にあたり検討することが望ましいと考えられる事項や長寿命化を含む運用の実施の際に検討すべき事項を考察する。

4.1 インフラ長寿命化のために望ましいこと

上述した試算結果により、施設に関する長寿命化を図ることにより LCC の低減を図ることができることが明らかになった。したがって、コストの低減を図る観点からも長寿命化を実施することが望ましいことが示された。

建築から一定年数が経過し、その間特段の修繕等を実施していない施設であっても、修繕等に着手することでコスト低減効果が見込まれることが示された。したがって、自治体内に存在する施設に関して、今後も継続して利用の予定があるにも関わらず修繕等の実績がない場合には、早い段階で修繕等の計画を策定し、実施することがコスト削減の観点からも望ましい。

また、本調査の試算結果は、建築以降 30 年間修繕等を実施せず、その後にあらためて長寿命化を図るという仮定のもとで算出したものである。したがって、建築後すぐに修繕等を実施することによりさらに高いコスト低減効果が見込まれる。そのため、今後建築を予定する施設についてはあらかじめ修繕等を盛り込んだ計画を策定することがコスト削減の観点からも重要である。

4.2 インフラ長寿命化のために、運用・保全時に実施するのが望ましいこと

運用・保全時を実施するうえで、運用や保全を行った履歴やその時の予算・実支出等のデータを残し、いつでも参照できるようにしておくことが求められる。今回の試算で明らかになったように、建物の経年劣化により運用や保全にかかる各種コストが増加することが考えられ、予算などの策定においてもこうした経年変化の影響を織り込むことが必要となる。さらには、データの変化を見る中で明らかにこれまでと異なる傾向がある場合には、隠れた故障等が存在することがあるため、大きな影響を及ぼす前に事前に保全を施すことが可能となる場合がある。

また、今回の試算では取り入れていないが、故障等に都度対応するという方法をとった場合、対応期間中は施設の提供ができなくなる可能性があり、そうした損失を考慮すると、故障前に定期的に対応を行うことの効用はさらに大きなものとなる。したがって、運用・保全時に実施することとして、故障が発生する前に修繕等により対応することが望ましいと考えられる。

付録1 アンケート調査票

令和2年度 インフラ長寿化のための児童福祉施設等における更新費用等の算定に関する調査研究
自治体アンケート調査

・本調査は、全国の自治体を対象として、公立の児童福祉施設等（公設公営、公設私営）の維持管理に関する計画の策定・実施状況について伺うものです。

・調査票は＜1＞個別施設計画の策定状況、＜2＞個別の施設状況の計2種類の設問（全66問）で構成されています。＜1＞から＜2＞まで全ての設問にご回答ください。ただし、設問によっては、該当者のお答えいただく内容となっております。

・回答いただいた結果は、本事業の実施事務局であるPwCコンサルティング合同会社において集計・分析を行い、報告書としてとりまとめます。

・ご回答いただいた情報は統計分析のみに使用します。

・ご回答は電子媒体（パソコン等）で入力の上、令和2年11月6日までに、本調査票の集計事務局にメールでご提出をお願いいたします。

<記入済み調査票の返送先・調査内容に関するお問い合わせ先>

<事業実施主体>

【回答上の注意事項】

- ・本調査は回答に30分程度お時間を頂戴いたします。回答に係る資料の調査等を含めると数日程度お時間を要する可能性があります。
- ・赤又は青緑色で塗りつぶされたセルがご回答対象です。ご回答ください。
- ・直接記入いただく項目に関しては、貴自治体で把握されていない場合には「-」を、貴自治体で把握しており値が0の場合には「0」をご記入ください。
- ・行、列の追加、削除は行わないでください。
- ・現時点を令和2年(2020年)3月末日現在としてお答えください。年度を記入いただく場合には、西暦での記入をお願いします。
- ・金額については、支払い当時の金額を記入ください（現在価値に割り戻す必要はありません）
- ・記入マニュアルにその他注意事項を記載しておりますので、そちらを参照いただき以下ご記入ください。

問0 本調査に関して、事務局よりご連絡させていただき際のお問合せ先をご教示ください。

問0-1	所属部署	
問0-2	お名前	
問0-3	電話番号	
問0-4	メールアドレス	

<1>貴自治体における、公立児童福祉施設等（主たる用途が児童福祉施設等であるもの）を対象とした個別施設計画の策定状況について教えてください。

問1 貴自治体についてお答えください。

[\[注意事項へのリンク\]](#)

問1-1	都道府県名		県
問1-2	市区町村名	※貴自治体が都道府県の場合には「-」としてください。	

問2 貴自治体内に立地する公立児童福祉施設等（公設公営、公設私営）について、種別ごとの施設数（総数）と、そのうち個別施設計画（未策定の場合の取り扱いとは別添解説をご覧ください）を策定している施設数（策定対象数）をお答えください。

複数の機能を有する場合には、主要な機能を有する施設に計上ください。A-1、B-1の延床面積については、整数でお答えください。

[\[注意事項へのリンク\]](#)

施設種別		A.総数		A-1.延床面積 (整数)		B.策定対象数		B-1.延床面積 (整数)	
問2-1	1 助産施設	(入所系)		m				m	
問2-2	2 乳児院	(入所系)		m				m	
問2-3	3 母子生活支援施設	(入所系)		m				m	
問2-4	4 児童養護施設	(入所系)		m				m	
問2-5	5 児童自立支援施設	(入所系)		m				m	
問2-6	6 婦人保護施設	(入所系)		m				m	
問2-7	7 児童心理治療施設	(入所系)		m				m	
問2-8	8 保育所	(通所系)		m				m	
問2-9	9 保育所型認定こども園	(通所系)		m				m	
問2-10	10 幼保連携型認定こども園	(通所系)		m				m	
問2-11	11 児童厚生施設（児童遊園は除く）	(通所系)		m				m	
問2-12	12 児童家庭支援センター	(通所系)		m				m	
問2-13	13 母子・父子福祉施設	(通所系)		m				m	
合計			0 施設	0 m		0 施設		0 m	

※この調査において、便宜上、各施設を上記のとおり入所系と通所系とわけています。

入所系施設数（問2-1～問2-7の「B.策定対象数」の合計） 0 施設 → ご質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

通所系施設数（問2-8～問2-13の「B.策定対象数」の合計） 0 施設 → ご質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

※ご回答いただけていない箇所があります。ご確認をお願いいたします。

< 2 > 問3以降は、問2で回答いただいた個別施設計画を策定している公立児童福祉施設等のうち、入所系、通所系施設のそれぞれについてお答えください。

< 2-1 > 問2で回答いただいた個別施設計画を策定している入所系の公立児童福祉施設等のうち、以下の条件に該当する施設についてそれぞれ教えてください。

- ① 最も古い（建設年が古い）施設 ② 最も近年に改修又は更新を実施した施設

①最も古い（建設年が古い）施設 [\[注意事項へのリンク\]](#)

【建物諸元】

問3 お答えいただく対象となる施設の種別と名称をお答えください。

問3-1 施設の種別（選択式）

問3-2 施設名（記入式）

問4 対象となる施設の建築年度（竣工年度）をお答えください。

問4-1 建築年度

(西暦)

--

 年度

問5 対象となる公立児童福祉施設等に関する個別施設計画について、計画の策定年度と計画期間をお答えください。

問5-1 策定年度

(西暦)

--

 年度

問5-2 計画初年度

(西暦)

--

 年度

問5-3 最終年度

(西暦)

--

 年度

問6 施設の構造（RC造など）と階数をお答えください。（構造は選択、階数は数字を入力ください）

問6-1 施設の構造（選択してください）

問6-2 階数（ご記入ください）

地上

--

 階建
地下

--

 階建

問7 対象施設の延床面積をお答えください。

問7-1 延床面積（整数でお答えください）

--

 m²

問8 【1981年6月1日以前に建築された建物の場合ご回答ください】対象の施設の耐震化状況をお答えください。

問8-1 施設の耐震化・免振化・制震化の実施状況をお答えください（選択式）

--

問9 想定している耐用（利用）年数をお答えください。（今後何年間使われる予定かお答えください）

問9-1 建設当初の耐用（利用）予定年数

--

 年間

問9-2 現時点での今後の利用予定年数

--

 年間

問10 今後、施設を外部に譲渡する予定があるでしょうか。もし予定がありましたら、年度をお答えください。

問10-1 譲渡予定の有無（選択式）

問10-2 有の場合譲渡年度（西暦でご記入ください）

(西暦)

--

 年

問11 対象となる施設について、災害等の被害を受けて全壊や半壊状態となり再建しているかお答えください。

問11-1 全壊や半壊状態からの再建の有無（選択式）

--

【ライフサイクルコスト（LCC）算出のための基礎データ】

- ・以下、ライフサイクルコストを算出するために必要な事項についてお答えください。
- ・施設全体（躯体及びその内部を含む）に関して、実績、現状、将来推計の区分に沿ってお答えください。
- ・各項目の詳細（建築コスト・運用コスト・保全コスト・解体処理コスト等）については、別添の解説をご覧ください。

計画 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問12 施設に関する個別施設計画において、運用コスト・保全コストについて費用見通しの算出、予算化はされているでしょうか。

A. 運用コスト B. 保全コスト

問12-1 解体までの期間の費用見通し算出の有無（選択式）

問12-2 令和2年度の予算化（当初予算ベース）の有無（選択式）

実績 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問13 対象となる施設の建設に要した費用（建築コスト）をお答えください。

A. 合計金額

問13-1 建築コスト（合計） ※自動計算

問13-2 設計コスト

問13-3 新築コスト

問13-4 工事監理コスト

問13-5 その他

	0 円
	円
	円
	円
	0 円

※まだご回答いただけていない設問がございます。ご確認をお願いいたします。

現状 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問14 施設の運用コスト、保全コストをお答えください。

A.1年あたりの額には、把握できている直近年度の額をお答えください。
B.合計金額には、把握できている場合、建設からこれまでの各コストの合計額をお答えください。

		A.直近1年間の額	B.合計金額（もし把握できていれば）
問14-1	運用コスト（合計） ※自動計算	0 円/年	0 円
問14-2	光熱水コスト	円/年	円
問14-3	その他（税金等）	0 円/年	0 円
問14-4	保全コスト（合計） ※自動計算	0 円/年	0 円
問14-5	維持管理コスト	円/年	円
問14-6	修繕等コスト	円/年	円
問14-7	その他	0 円/年	0 円

【問14-6で回答いただいた修繕等コストに関して内訳をお答えください。】

修繕費、更新費、改修費の各項目に対して、これまでの実施回数、1～4回前の実施年度、次回の実施（予定）年度、建設から現在までの全期間の実施周期、総費用額、直近（1回前）の費用をお答えください。
※修繕、更新、改修の具体的な事例については、付属のマニュアル<回答いただくにあたって>をご覧ください。

問15 修繕費についてご回答ください。 [\[注意事項へのリンク\]](#)

※修繕とは、機能に支障のない範囲まで回復することを指します。

問15-1	建設からこれまでの実施回数		回
問15-2	直近（1回前）の実施年度	（西暦）	年度
問15-3	前回（2回前）の実施年度	（西暦）	年度
問15-4	前々回（3回前）の実施年度	（西暦）	年度
問15-5	前々々回（4回前）の実施年度	（西暦）	年度
問15-6	次回実施（予定）年度	（西暦）	年度
問15-7	建設から現在までの全期間の実施周期（小数点以下第1位までお答えください。）		年
問15-8	これまでの総費用額		円
問15-9	直近（1回前）の修繕費用		円
問15-10	費用計上の対象期間（選択式）		

問16 更新費についてご回答ください。

※更新とは、建設当時の機能を回復することを指します。

問16-1	建設からこれまでの実施回数		回
問16-2	直近（1回前）の実施年度	（西暦）	年度
問16-3	前回（2回前）の実施年度	（西暦）	年度
問16-4	前々回（3回前）の実施年度	（西暦）	年度
問16-5	前々々回（4回前）の実施年度	（西暦）	年度
問16-6	次回実施（予定）年度	（西暦）	年度
問16-7	建設から現在までの全期間の実施周期（小数点以下第1位までお答えください。）		年
問16-8	これまでの総費用額		円
問16-9	直近（1回前）の更新費用		円
問16-10	費用計上の対象期間（選択式）		

問17 改修費についてご回答ください。

※改修とは、建築当時の機能よりも高い機能とすることを指します。

問17-1	建設からこれまでの実施回数		回
問17-2	直近（1回前）の実施年度	（西暦）	年度
問17-3	前回（2回前）の実施年度	（西暦）	年度
問17-4	前々回（3回前）の実施年度	（西暦）	年度
問17-5	前々々回（4回前）の実施年度	（西暦）	年度
問17-6	次回実施（予定）年度	（西暦）	年度
問17-7	建設から現在までの全期間の実施周期（小数点以下第1位までお答えください。）		年
問17-8	これまでの総費用額		円
問17-9	直近（1回前）の改修費用		円

投来推計 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問18 施設解体に際して、想定されている解体処理コストをお答えください。

問18-1	解体処理コスト（合計） ※自動計算	0	円
問18-2	解体コスト		円
問18-3	廃棄処分コスト		円
問18-4	その他	0	円

※まだご回答いただけていない設問がございます。ご確認をお願いいたします。

②最も近年に改修又は更新を実施した施設

【建物諸元】 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問19 お答えいただく対象となる施設の種類と名称をお答えください。

問19-1 施設の種類（選択してください）

問19-2 施設名（記入ください）

問20 対象となる施設の建築年度（竣工年度）をお答えください。

問20-1 建築年度

（西暦） 年度

問21 対象となる公立児童福祉施設等に関する個別施設計画について、計画の策定年度と計画期間をお答えください。

問21-1 策定年度

（西暦） 年度

問21-2 計画初年度

（西暦） 年度

問21-3 最終年度

（西暦） 年度

問22 施設の構造（RC造など）と階数をお答えください。（構造は選択、階数は数字を入力ください）

問22-1 施設の構造（選択してください）

問22-2 階数（ご記入ください）

地上 階建
地下 階建

問23 対象施設の延床面積をお答えください。

問23-1 延床面積（整数でお答えください）

m²

問24 【1981年6月1日以前に建築された建物の場合ご回答ください】対象の施設の耐震化状況をお答えください。

問24-1 施設の耐震化・免振化・制震化の実施状況をお答えください（選択式）

--

問25 想定している耐用（利用）年数をお答えください。（今後何年間使われる予定かお答えください）

問25-1 建設当初の耐用（利用）予定年数

年間

問25-2 現時点での今後の利用予定年数

年間

問26 今後、施設を外部に譲渡する予定があるでしょうか。もし予定がありましたら、年度をお答えください。

問26-1 譲渡予定の有無（選択式）

問26-2 有の場合譲渡年度（西暦でご記入ください）

（西暦） 年

問27 対象となる施設について、災害等の被害を受けて全壊や半壊状態となり再建しているかお答えください。

問27-1 全壊や半壊状態からの再建の有無（選択式）

--

【ライフサイクルコスト（LCC）算出のための基礎データ】

- ・以下、ライフサイクルコストを算出するために必要な事項についてお答えください。
- ・施設全体（躯体及びその内部を含む）に関して、実績、現状、将来推計の区分に沿ってお答えください。
- ・各項目の詳細（建築コスト・運用コスト・保全コスト・解体処理コスト等）については、別添の解説をご覧ください。

計画 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問28 施設に関する個別施設計画において、運用コスト・保全コストについて費用見通しの算出、予算化はされているでしょうか。

A. 運用コスト

B. 保全コスト

問28-1 解体までの期間の費用見直し算出の有無（選択式）

問28-2 令和2年度の予算化（当初予算ベース）の有無（選択式）

実績 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問29 対象となる施設の建設に要した費用（建築コスト）をお答えください。

問29-1 建築コスト ※自動算出

問29-2 設計コスト

問29-3 新築コスト

問29-4 工事監理コスト

問29-5 その他

A. 合計金額

	0	円
		円
		円
		円
	0	円

※まだ回答いただけていない設問がございます。ご確認をお願いいたします。

現状 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問30 施設の運用コスト、保全コストをお答えください。

A.1年あたりの額には、把握できている直近年度の額をお答えください。

B.合計金額には、把握できている場合、建設からこれまでの各コストの合計額をお答えください。

		A.1年あたりの額	B.合計金額（もし把握できていれば）
問30-1	運用コスト（合計） ※自動算出	0 円/年	0 円
問30-2	光熱水コスト	円/年	円
問30-3	その他（税金等）	0 円/年	0 円
問30-4	保全コスト（合計） ※自動算出	0 円/年	0 円
問30-5	維持管理コスト	円/年	円
問30-6	修繕等コスト	円/年	円
問30-7	その他	0 円/年	0 円

【問30-6で回答いただいた修繕等コストに関して内訳を問31～問33でお答えください。】

修繕費、更新費、改修費の各項目に対して、これまでの実施回数、1～4回前の実施年度、次回の実施（予定）年度、建設から現在までの全期間の実施周期、総費用額、直近（1回前）の費用をお答えください。

※修繕、更新、改修の具体的な事例については、付属のマニュアルをご覧ください。

問31 修繕費 についてご回答ください [\[注意事項へのリンク\]](#)

※修繕とは、機能に支障のない範囲まで回復することを指します

問31-1	建設からこれまでの実施回数		回
問31-2	直近（1回前）の実施年度	（西暦）	年度
問31-3	前回（2回前）の実施年度	（西暦）	年度
問31-4	前々回（3回前）の実施年度	（西暦）	年度
問31-5	前々々回（4回前）の実施年度	（西暦）	年度
問31-6	次回実施（予定）年度	（西暦）	年度
問31-7	建設から現在までの全期間の実施周期（小数点以下第1位までお答えください。）		年
問31-8	これまでの総費用額		円
問31-9	直近（1回前）の修繕費用		円
問31-10	費用計上の対象期間（選択式）		

問32 更新費 についてご回答ください

※更新とは、建設当時の機能を回復することを指します。

問32-1	建設からこれまでの実施回数		回
問32-2	直近（1回前）の実施年度	（西暦）	年度
問32-3	前回（2回前）の実施年度	（西暦）	年度
問32-4	前々回（3回前）の実施年度	（西暦）	年度
問32-5	前々々回（4回前）の実施年度	（西暦）	年度
問32-6	次回実施（予定）年度	（西暦）	年度
問32-7	建設から現在までの全期間の実施周期（小数点以下第1位までお答えください。）		年
問32-8	これまでの総費用額		円
問32-9	直近（1回前）の更新費用		円
問32-10	費用計上の対象期間（選択式）		

問33 改修費 についてご回答ください

※改修とは、建築当時よりも高い機能とすることを指します。

問33-1	建設からこれまでの実施回数		回
問33-2	直近（1回前）の実施年度	（西暦）	年度
問33-3	前回（2回前）の実施年度	（西暦）	年度
問33-4	前々回（3回前）の実施年度	（西暦）	年度
問33-5	前々々回（4回前）の実施年度	（西暦）	年度
問33-6	次回実施（予定）年度	（西暦）	年度
問33-7	建設から現在までの全期間の実施周期（小数点以下第1位までお答えください。）		年
問33-8	これまでの総費用額		円
問33-9	直近（1回前）の改修費用		円

将来推計 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問34 施設解体に際して、想定されている解体処理コストをお答えください。

問34-1	解体処理コスト（自動算出）	0	円
問34-2	解体コスト		円
問34-3	廃棄処分コスト		円
問34-4	その他	0	円

※まだ回答いただけていない設問がございます。ご確認をお願いいたします。

< 2 - 2 > 問2で回答いただいた個別施設計画を策定している通所系の公立児童福祉施設等のうち、以下の条件に該当する施設についてそれぞれ教えてください。

- ① 最も古い（建設年が古い）施設 ② 最も近年に改修又は更新を実施した施設

①最も古い（建設年が古い）施設について

【建物諸元】 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問35 お答えいただく対象となる施設の種類と名称をお答えください。

問35-1 施設の種類（選択式）	
問35-2 施設名（記入式）	

問36 対象となる施設の建築年度（竣工年度）をお答えください。

問36-1 建築年度	(西暦)		年度
------------	------	--	----

問37 対象となる公立児童福祉施設等に関する個別施設計画について、計画の策定年度と計画期間をお答えください。

問37-1 策定年度	(西暦)		年度
問37-2 計画初年度	(西暦)		年度
問37-3 最終年度	(西暦)		年度

問38 施設の構造（RC造など）と階数をお答えください。（構造は選択、階数は数字を入力ください）

問38-1 施設の構造（選択してください）	
問38-2 階数（ご記入ください）	地上 階建 地下 階建

問39 対象施設の延床面積をお答えください。

問39-1 延床面積（整数でお答えください）		㎡
------------------------	--	---

問40 【1981年6月1日以前に建築された建物の場合ご回答ください】対象の施設の耐震化状況をお答えください。

問40-1 施設の耐震化・免振化・制震化の実施状況をお答えください（選択式）	
--	--

問41 想定している耐用（利用）年数をお答えください。（今後何年間使われる予定かお答えください）

問41-1 建設当初の耐用（利用）予定年数		年間
問41-2 現時点での今後の利用予定年数		年間

問42 今後、施設を外部に譲渡する予定があるでしょうか。もし予定がありましたら、年度をお答えください。

問42-1 譲渡予定の有無（選択式）	
問42-2 有の場合譲渡年度（西暦でご記入ください）	(西暦) 年

問43 対象となる施設について、災害等の被害を受けて全壊や半壊状態となり再建しているかお答えください。

問43-1 全壊や半壊状態からの再建の有無（選択式）	
----------------------------	--

【ライフサイクルコスト（LCC）算出のための基礎データ】

- ・以下、ライフサイクルコストを算出するために必要な事項についてお答えください。
- ・施設全体（躯体及びその内部を含む）に関して、実績、現状、将来推計の区分に沿ってお答えください。
- ・各項目の詳細（建築コスト・運用コスト・保全コスト・解体処理コスト等）については、別添の解説をご覧ください。

計画 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問44 施設に関する個別施設計画において、運用コスト・保全コストについて費用見通しの算出、予算化はされているでしょうか。

	A. 運用コスト	B. 保全コスト
問44-1 解体までの期間の費用見通し算出の有無（選択式）		
問44-2 令和2年度の予算化（当初予算ベース）の有無（選択式）		

実費 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問45 対象となる施設の建設に要した費用（建築コスト）をお答えください。

	A. 合計金額
問45-1 建築コスト（合計） ※自動計算	0 円
問45-2 設計コスト	円
問45-3 新築コスト	円
問45-4 工事監理コスト	円
問45-5 その他	0 円

※まだ回答いただけていない設問がございます。ご確認をお願いいたします。

現状 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問46 施設の運用コスト、保全コストをお答えください。

A.1年あたりの額には、把握できている直近年度の額をお答えください。

B.合計金額には、把握できている場合、建設からこれまでの各コストの合計額をお答えください。

		A.直近1年間の額	B.合計金額（もし把握できていれば）
問46-1	運用コスト（合計） ※自動計算	0 円/年	0 円
問46-2	光熱水コスト	円/年	円
問46-3	その他（税金等）	0 円/年	0 円
問46-4	保全コスト（合計） ※自動計算	0 円/年	0 円
問46-5	維持管理コスト	円/年	円
問46-6	修繕等コスト	円/年	円
問46-7	その他	0 円/年	0 円

【問46-6で回答いただいた修繕等コストに関して内訳を問47～問49でお答えください。】

修繕費、更新費、改修費の各項目に対して、これまでの実施回数、1～4回前の実施年度、次回の実施（予定）年度、

建設から現在までの全期間の実施周期、総費用額、直近（1回前）の費用をお答えください。

※修繕、更新、改修の具体的な事例については、付属のマニュアルをご覧ください。

問47 修繕費についてご回答ください。

[\[注意事項へのリンク\]](#)

※修繕とは、機能に支障のない範囲まで回復することを指します。

問47-1	建設からこれまでの実施回数		回
問47-2	直近（1回前）の実施年度	（西暦）	年度
問47-3	前回（2回前）の実施年度	（西暦）	年度
問47-4	前々回（3回前）の実施年度	（西暦）	年度
問47-5	前々々回（4回前）の実施年度	（西暦）	年度
問47-6	次回実施（予定）年度	（西暦）	年度
問47-7	建設から現在の全期間の実施周期（小数点以下第1位までお答えください。）		年
問47-8	これまでの総費用額		円
問47-9	直近（1回前）の修繕費用		円
問47-10	費用計上の対象期間（選択式）		

問48 更新費についてご回答ください

※更新とは、建設当時の機能を回復することを指します。

問48-1	建設からこれまでの実施回数		回
問48-2	直近（1回前）の実施年度	（西暦）	年度
問48-3	前回（2回前）の実施年度	（西暦）	年度
問48-4	前々回（3回前）の実施年度	（西暦）	年度
問48-5	前々々回（4回前）の実施年度	（西暦）	年度
問48-6	次回実施（予定）年度	（西暦）	年度
問48-7	建設から現在の全期間の実施周期（小数点以下第1位までお答えください。）		年
問48-8	これまでの総費用額		円
問48-9	直近（1回前）の更新費用		円
問48-10	費用計上の対象期間（選択式）		

問49 改修費についてご回答ください。

※改修とは、建築当時の機能よりも高い機能とすることを指します。

問49-1	建設からこれまでの実施回数		回
問49-2	直近（1回前）の実施年度	（西暦）	年度
問49-3	前回（2回前）の実施年度	（西暦）	年度
問49-4	前々回（3回前）の実施年度	（西暦）	年度
問49-5	前々々回（4回前）の実施年度	（西暦）	年度
問49-6	次回実施（予定）年度	（西暦）	年度
問49-7	建設から現在の全期間の実施周期（小数点以下第1位までお答えください。）		年
問49-8	これまでの総費用額		円
問49-9	直近（1回前）の改修費用		円

将来推計

[\[注意事項へのリンク\]](#)

問50 施設解体に際して、想定されている解体処理コストをお答えください。

問50-1	解体処理コスト（合計）	0	円
問50-2	解体コスト		円
問50-3	廃棄処分コスト		円
問50-4	その他	0	円

※まだご回答いただけていない設問がございます。ご確認をお願いいたします。

②最も近年に改修又は更新を実施した施設

【建物諸元】 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問51 お答えいただく対象となる施設の種類の名称をお答えください。

問51-1 施設の種類の（選択してください）

問51-2 施設名（記入ください）

問52 対象となる施設の建築年度（竣工年度）をお答えください。

問52-1 建築年度

（西暦）

	年度
--	----

問53 対象となる公立児童福祉施設等に関する個別施設計画について、計画の策定年度と計画期間をお答えください。

問53-1 策定年度

（西暦）

	年度
--	----

問53-2 計画初年度

（西暦）

	年度
--	----

問53-3 最終年度

（西暦）

	年度
--	----

問54 施設の構造（RC造など）と階数をお答えください。（構造は選択、階数は数字を入力ください）

問54-1 施設の構造（選択してください）

問54-2 階数（ご記入ください）

地上

地下

	階建
	階建

問55 対象施設の延床面積をお答えください。

問55-1 延床面積（整数でお答えください）

	㎡
--	---

問56 【1981年6月1日以前に建築された建物の場合ご回答ください】 対象の施設の耐震化状況をお答えください。

問56-1 施設の耐震化・免震化・制震化の実施状況をお答えください（選択式）

--

問57 想定している耐用（利用）年数をお答えください。（今後何年間使われる予定かお答えください）

問57-1 建設当初の耐用（利用）予定年数

問57-2 現時点での今後の利用予定年数

	年間
	年間

問58 今後、施設を外部に譲渡する予定があるでしょうか。もし予定がありましたら、年度をお答えください。

問58-1 譲渡予定の有無（選択式）

問58-2 有の場合譲渡年度（西暦でご記入ください）

（西暦）

	年
--	---

問59 対象となる施設について、災害等の被害を受けて全壊や半壊状態となり再建しているかお答えください。

問59-1 全壊や半壊状態からの再建の有無（選択式）

--

【ライフサイクルコスト（LCC）算出のための基礎データ】

- ・以下、ライフサイクルコストを算出するために必要な事項についてお答えください。
- ・施設全体（躯体及びその内部を含む）に関して、実績、現状、将来推計の区分に沿ってお答えください。
- ・各項目の詳細（建築コスト・運用コスト・保全コスト・解体処理コスト等）については、別添の解説をご覧ください。

計画 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問60 施設に関する個別施設計画において、運用コスト・保全コストについて費用見通しの算出、予算化はされているでしょうか。

A. 運用コスト

B. 保全コスト

問60-1 解体までの期間の費用見直し算出の有無（選択式）

問60-2 令和2年度の予算化（当初予算ベース）の有無（選択式）

実績 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問61 対象となる施設の建設に要した費用（建築コスト）をお答えください。

問61-1 建築コスト（自動算出）

問61-2 設計コスト

問61-3 新築コスト

問61-4 工事監理コスト

問61-5 その他

A. 合計金額	
	円
	円
	円
	円
	円

現状 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問62 施設の運用コスト、保全コストをお答えください。

A. 1年あたりの額には、把握できている直近年度の額をお答えください。

B. 合計金額には、把握できている場合、建設からこれまでの各コストの合計額をお答えください。

問62-1 運用コスト（合計） ※自動算出

問62-2 光熱水コスト

問62-3 その他（税金等）

問62-4 保全コスト（合計） ※自動算出

問62-5 維持管理コスト

問62-6 修繕等コスト

問62-7 その他

A. 1年あたりの額		B. 合計金額（もし把握できていれば）	
	円/年		円
	円/年		円
	円/年		円
	円/年		円
	円/年		円
	円/年		円

※まだご回答いただけていない設問がございます。ご確認をお願いいたします。

【問62-6で回答いただいた修繕等コストに関して内訳を問63～問65でお答えください。】

修繕費、更新費、改修費の各項目に対して、これまでの実施回数、1～4回前の実施年度、次回の実施（予定）年度、建設から現在までの全期間の実施周期、総費用額、直近（1回前）の費用をお答えください。
※修繕、更新、改修の具体的な事例については、付属のマニュアルをご覧ください。

問63 修繕費についてご回答ください [\[注意事項へのリンク\]](#)

※修繕とは、機能に支障のない範囲まで回復することを指します

問63-1	建設からこれまでの実施回数		回
問63-2	直近（1回前）の実施年度	（西暦）	年度
問63-3	前回（2回前）の実施年度	（西暦）	年度
問63-4	前々回（3回前）の実施年度	（西暦）	年度
問63-5	前々々回（4回前）の実施年度	（西暦）	年度
問63-6	次回実施（予定）年度	（西暦）	年度
問63-7	建設から現在までの全期間の実施周期（小数点以下第1位までお答えください。）		年
問63-8	これまでの総費用額		円
問63-9	直近（1回前）の修繕費用		円
問63-10	費用計上の対象期間（選択式）		

問64 更新費についてご回答ください

※更新とは、建設当時の機能を回復することを指します。

問64-1	建設からこれまでの実施回数		回
問64-2	直近（1回前）の実施年度	（西暦）	年度
問64-3	前回（2回前）の実施年度	（西暦）	年度
問64-4	前々回（3回前）の実施年度	（西暦）	年度
問64-5	前々々回（4回前）の実施年度	（西暦）	年度
問64-6	次回実施（予定）年度	（西暦）	年度
問64-7	建設から現在までの全期間の実施周期（小数点以下第1位までお答えください。）		年
問64-8	これまでの総費用額		円
問64-9	直近（1回前）の更新費用		円
問64-10	費用計上の対象期間（選択式）		

問65 改修費についてご回答ください

※改修とは、建築当時よりも高い機能とすることを指します。

問65-1	建設からこれまでの実施回数		回
問65-2	直近（1回前）の実施年度	（西暦）	年度
問65-3	前回（2回前）の実施年度	（西暦）	年度
問65-4	前々回（3回前）の実施年度	（西暦）	年度
問65-5	前々々回（4回前）の実施年度	（西暦）	年度
問65-6	次回実施（予定）年度	（西暦）	年度
問65-7	建設から現在までの全期間の実施周期（小数点以下第1位までお答えください。）		年
問65-8	これまでの総費用額		円
問65-9	直近（1回前）の改修費用		円

将来推計 [\[注意事項へのリンク\]](#)

問66 施設解体に際して、想定されている解体処理コストをお答えください。

問66-1	解体処理コスト（自動算出）	0	円
問66-2	解体コスト		円
問66-3	廃棄処分コスト		円
問66-4	その他	0	円

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

※まだご回答いただけていない設問がございます。ご確認をお願いいたします。

連絡事項・問い合わせ事項

<回答いただくにあたって>

令和2年度「インフラ長寿命化のための児童福祉施設等における更新費用等の算定に関する調査研究（以下、「インフラ長寿命化調査」）に関して、記入上の注意事項をまとめました。

お手数ながら、以下の記載事項をご確認の上、ご記入ください。

○全般的なご確認事項

以下では、施設のうち、躯体、空調、電気、水道、ガス等に係る設備を対象としてご回答ください。

貴自治体の体制により、複数の部署（計画策定担当課・建築担当課・運営維持管理担当課等）にご回答いただく必要がある場合がございます。大変お手数ながら、その場合は適宜ご担当の課にてご対応いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

○記入に際して全般的なお願い事項

数字については、半角での入力をお願いいたします。

該当する施設が存在していない場合には、「0」を記入いただき、貴自治体での状況が把握できていない場合には、「-」を記入ください。

○個別施設計画未策定の自治体様について

個別施設計画について、現在策定されていない場合でも、対象となる施設が定まっている場合には、個別施設計画策定「済」とみなしてご回答ください。なお、今後個別施設計画を策定予定の場合には、アンケート末の自由記入欄に、「個別施設計画は〇〇年度に策定予定」と記入いただけると幸いです。

○具体的な記入上の注意事項

<1>貴自治体における、公立児童福祉施設等（主たる用途が児童福祉施設等であるもの）を対象とした個別施設計画の策定状況について教えてください。

問1

「都道府県」、「市区町村」部分については、選択肢となっておりますので、貴自治体にあわせてご選択ください。

貴自治体が都道府県の場合には、「市区町村」の部分に「-」を記入ください。

問2

問2-1～問2-7が入所系施設、問2-8～2-13が通所系施設となっております。

➤「A.総数」には、貴自治体内に立地している公立児童福祉施設等の総数をお答えください。

➤「A-1.延床面積」には、公立児童福祉施設等の種別ごとの総延床面積をお答えください。また、小数点以下第1位を四捨五入して整数でお答えください。

（例）「1助産施設」が3施設存在している場合には、3施設の延床面積の合計値をお答えください。

➤1つの施設に複数施設の機能がある場合、最も面積の大きな施設のみを計上してください。Bについても同様です。

➤（例）1つの施設が、種別1（面積：100㎡）種別2（面積：1,000㎡）、種別3（面積：500㎡）の機能を有する施設があった場合、種別2の機能が有する面積が最も大きいため、「A.施設数」では、種別2に「1」を計上し、種別1と種別3には計上しないでください。また、「A-1.延床面積」では、種別2に、合計値「1,600（=100+1,000+500）」を計上し、種別1と種別3には計上しないでください。

➤「B.策定対象数」には、Aに含まれる施設のうち、個別施設計画の対象に含まれる児童福祉施設等の数をお答えください。

➤「B-1.延床面積」には、個別施設計画の対象に含まれる公立児童福祉施設等の種別ごとの総延床面積をお答えください。また、小数点以下第一位を四捨五入して整数でお答えください。

＜2＞個別施設計画を策定している公立児童福祉施設等のうち、以下の条件に該当する施設についてそれぞれ教えてください。

施設の選定について

- 問2で回答いただいた通所系施設、入所系施設のうち、「B.策定対象数」に計上した施設について、以下の設問にお答えください。
- 問3以降では、入所系施設、通所系施設のそれぞれについて、施設①と施設②の基準に該当する2つの施設を選択いただき、ご回答ください。
- 以下では、入所系施設の設問（問3～問34）について説明しますが、通所系施設の設問（問35～問66）についても同様ですので、適宜読み替えてください。
- 施設①、②を選定する際には、集計分析の都合上、災害などにより全壊・半壊し、再建した施設を除外ください。なお、貴自治体内で選定対象となる施設が再建した施設のみになる場合には、その施設についてご回答いただき、その旨を入所系施設の場合、問11（施設①）、問27（施設②）、通所系施設の場合問43、問59にて回答ください。
- 貴自治体において、①と②の選定基準を適用することで①と②で同じ施設が選定される場合には、①を優先いただき、②には異なる施設を選定ください。
（例）1970年に施設a（1,000㎡）と施設b（2,000㎡）が建設された場合には、施設bを施設①として回答して回答してください。

- 施設②に関しては、以下の順で施設を選定してください。
- 1.最も近年に改修を行った施設と更新を行った施設で、それぞれの工事の実施年が異なる場合、改修と更新のうち最も近年実施した方の施設を選択ください。
（例）2015年に施設aで改修を行い、2017年に施設bで更新を行った場合には、2017年に更新を行った施設2を施設②として選定し、以降の設問に回答してください。
- 2.同年に改修を実施した施設と更新を実施した施設が存在する場合には、改修を行った施設を選択ください。
（例）2010年に施設aで改修を行い、施設bで更新を行った場合には、改修を行った施設aを施設②として選定し、以降の設問に回答してください。
- 3.同年に改修を実施した施設が複数存在する場合、また同年に更新を実施した施設が複数存在している場合には、それぞれ延床面積の最も大きな施設を選択ください。
（例）2016年に施設a（1,000㎡）と施設b（2,000㎡）でともに改修を実施した場合には、施設bを施設②として選択し、以降の設問に回答してください。
（例）2016年に施設a（1,000㎡）と施設b（2,000㎡）でともに更新を実施した場合には、施設bを施設②として選択し、以降の設問に回答してください。
- ①最も古い（建築年が古い）建物について／②最も近年に改修または更新を実施した建物について
- 以下、入所系の施設①に関する注意書きを記載しますが、施設②に関しても同様ですので読み替えてください。
ご参考までに入所系の施設②、通所系の施設①、②の対応する設問をカッコ内に記載します。

問3（問19）（問35）（問51）

問3-1 該当する施設を選択してください。

問3-2 施設名については、正式名称をお答えいただくとありがたく存じます。

問4（問20）（問36）（問52）

竣工年度を西暦でお答えください。

問5（問21）（問37）（問53）

選択いただいた公立児童福祉施設等を対象とした個別施設計画についてお答えください。

問5-1：計画を策定した年度

問5-2：問5-1で策定した計画の中で定めている計画開始年度

問5-3：計画の最終年度

問6（問22）（問38）（問54）

施設の構造をお答えください。複数の構造が混在している場合には、最も面積の大きな構造でお答えください。

問6-2：地下階が存在しない場合には、回答欄に「0」を記入ください。

問7（問23）（問39）（問55）

延床面積をお答えください。小数点以下を四捨五入し整数でお答えください。

問 8（問24）（問40）（問56）

1981年6月1日以前の旧耐震基準に則って建築された施設を対象とします。

※1981年6月1日以降に竣工した施設であっても、建築確認が1981年6月1日以前に行われた施設であれば、回答の対象となります。

（例）1981年1月に建築確認を行い、1982年8月に竣工した施設は対象とします。

問 9（問25）（問41）（問57）

お分かりにならない場合には、「-」を記入ください。

問9-1：建築当初に想定していた耐用年数をお答えください。

問9-2：現時点（令和2年3月末現在）において、今後何年間利用する予定であるのかをお答えください。

問10（問26）（問42）（問58）

「譲渡」に該当するか否かは以下の定義に従ってご判断ください。

「譲渡」を貴自治体において施設の保全に関する費用負担がなくなる行為と定義します。

具体的には、有償無償を問わず、所有権が貴自治体から外部に移転すること、貴自治体からの金銭的負担を伴わず、貴自治体外（事業体等）で有期・無期で施設運営を実施する方式を譲渡とします。

（例）例えば、以下に示す運営費について自治体側の負担が発生しない独立採算型を対象とします。

（参考）内閣府「PFIの事業方式と類型」

https://www8.cao.go.jp/pfi/pfi_jouhou/tebiki/kiso/kiso11_01.html

問11（問27）（問43）（問59）

貴自治体内に半壊・全壊状態から再建した施設のみが存在しており、当該施設を対象とした場合には「有」を選択ください。

ライフサイクルコスト（LCC）算出のための基礎データ

▶本調査では、各設問で項目の内容を次の通り定義します。問13以降の設問に回答する際は、以下の表を参照ください。

設問番号				本アンケートでの区分	定義・内訳
問13	問29	問45	問61	建築コスト	建物の建設等に関するコストです。 設計コスト、新築コスト、工事監理コスト、その他から構成されます。
問13	問29	問45	問61	設計コスト	設計コストは、設計費、積算費、調査費から構成されます。
問13	問29	問45	問61	新築コスト	新築コストは建築工事費、電気設備工事費、機械設備工事費から構成されます。
問13	問29	問45	問61	工事監理コスト	工事の監理に係るコストから構成されます。
問13	問29	問45	問61	その他	建築に係るその他のコストです。
問14	問30	問46	問62	運用コスト	施設を運営する際に必要となるコストです。 光熱水コスト、その他から構成されます。
問14	問30	問46	問62	光熱水コスト	光熱水コストは、電気料金、ガス料金、油代（燃料代）、水道料金を含みます。
問14	問30	問46	問62	その他	その他には、運用にあたって必要となるその他の運用コストです。税金が発生した場合にはその他に含まれます。
問14	問30	問46	問62	保全コスト	建築物が完成してから取り壊されるまでの間、性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を育し、保持し続けるために必要となるコストです。 維持管理コスト、修繕などコスト、その他から構成されます。
問14	問30	問46	問62	維持管理コスト	点検・保守費、運転・監視費、清掃費などから構成されます。
—	—	—	—	点検・保守費	周期が1年未満のものを指します。
—	—	—	—	運転・監視費	機器の運転や監視に係る費用を指します
—	—	—	—	清掃費	清掃に関する費用です。
問14	問30	問46	問62	修繕等コスト	修繕等コストは分解整備費、修繕費、更新費、改修費から構成されます。
—	—	—	—	分解整備費	点検・保守費との違いとしては、周期が1年を超えるものを対象とします。
問15	問31	問47	問63	修繕費	修繕費は建物建材などを取り換えることにより、機能上支障のない程度まで回復させるための費用を指します。施設全体を対象とする修繕、一部分を対象とする修繕の両方を含むものとします。
問16	問32	問48	問64	更新費	更新費は建築部材の全面的な取り換えにより建設当時の機能を回復させるための費用を指します。施設全体を対象とする更新、一部分を対象とする更新の両方を含むものとします。
問17	問33	問49	問65	改修費	改修費は建築部材の全面的な取り換えにより機能・性能を建設当時より向上させるための費用を指します。
問14	問30	問46	問62	その他	その他は、保全にあたって必要となるその他の保全コストです。
問18	問34	問50	問66	解体処分コスト	建物を解体処分する際に必要となるコストです。 解体コスト、廃棄処分コスト、その他から構成されます。
問18	問34	問50	問66	解体コスト	建物を解体工事する際に工事に要する費用を指します。
問18	問34	問50	問66	廃棄処分コスト	建物の解体に伴って排出される廃棄物の処理に係る費用を示します。
問18	問34	問50	問66	その他	その他には、解体処分にあたって、上記以外のコストが発生した場合に記載ください。

※分解整備等費用には、突発的に発生する費用と定期的な保守点検費用を含みますが、保守点検費用のうち周期が1年を超えるものを対象としてください。

※分解整備等費用と修繕費を区別する観点では、分解整備等費用に、清掃や調整、消耗部品と推測されるもの（交換を前提として設計されているもの。周期としては、機器寿命の1/3以下の周期で設定されているものを消耗品と推測します）を含みます。

問12（問28）（問44）（問60）

個別施設設計画において、対象とする施設について、個別施設設計画、予算措置上での状況をお答えください。

問12-1：個別施設設計画において、対象施設に関する運用コスト、保全コストの想定（見込額）を算出されているかをお答えください。

問12-2：お答えいただいた個別施設設計画にて定められた見込額について、今年度の貴自治体の当初予算に計上されているかをお答えください。

問13（問29）（問45）（問61）

建築時のコストについてお答えください。この項目については、実績を記入ください。

各コストについて、合計の額を記載ください。複数年度にまたがる場合には、複数年度の合計額を計上してください。なお、工事監理コストについて、新築コスト（建設工事費等）と分離することが難しい場合には、新築コストとあわせて計上ください。

問13-5：「その他」は問13-1「建築コスト（合計）」の数値が、問13-2「設計コスト」、問13-3「新築コスト」、問13-4「工事監理コスト」の合計値と一致していない場合に記入ください。通常は「0」になります。

問14（問30）（問46）（問62）

施設の運営に必要なランニングコスト等について、運用コスト、保全コストの観点からご回答ください。

維持管理コストと修繕等コストなどの内訳に関しては、上表を確認いただき該当する項目をご判断ください。

「A.直近1年間の額」は、直近（2019年度、もしお分かりにならない場合にはそれ以前の最も新しい年度）の各項目ごとの直近1年間の金額を記入ください。

「B.合計金額」は、把握されている場合には、建築以降の各コストに関する合計額を記載ください。なお、途中年度からのみ把握されている場合には、その合計額をお答えください。

問14-3：「その他」は問14-1「運用コスト（合計）」の数値が、問14-2「光熱水コスト」と一致していない場合に記入ください。通常は「0」になります。

問14-7：「その他」は問14-4「保全コスト（合計）」の数値が、問14-5「維持管理コスト」、問14-6「保全等コスト」の合計値と一致していない場合にご回答ください。通常は「0」になります。

問15～問17（問31～問33）（問47～問49）（問63～問65）

修繕費、更新費、改修費は、処置後に施設の機能がどれくらい回復したかにより、修繕費、更新費、改修費の分類を判断してください。施設全体の高寿命化が図られる場合や、以前の装置に比べても金銭的なメリットが発生している場合には、最も大掛かりな保全行為である改修に分類ください。また、実施することにより機器の価格帯が上昇している場合にも改修に分類ください。

修繕費に関して、同一年度に複数回実施している場合には、同一年度の実施回数を1回とカウントしてください。

また、修繕費、更新費について、データの廃棄等により建築当初からの資料がそろっていない場合には、直近5年間（2015年度～2019年度）または直近10年間（2010年度～2019年度）のうち記入可能な範囲を対象として回答ください（下記の「問〇-10」を参照ください）。

以下、小設問について共通しているため、「問〇-0」という様式で記載します。「問〇-10」のみ、修繕費、更新費が対象となります。

問〇-1：建設からこれまでの実施回数は、修繕、更新、改修について、それぞれの回数を整数でご回答ください。

問〇-2、問〇-3、問〇-4、問〇-5：

「直近（1回前）の実施年度」から「前々々回（4回前）の実施年度」は、西暦で年度をお答えください。また、例えば過去に4回に満たない回数しか実施していない場合には、その回数分のみご回答ください。

（例）修繕を過去に3回実施した場合には、問15-5前々々回（4回前）の実施年度は「-」とご回答ください。

問〇-6：次回実施（予定）年度は、予定が定まっていない場合には「-」とご回答ください。

問〇-7：建設から現在の全期間の実施周期は、修繕、更新、改修のそれぞれに対して、建築年度から現在（2020年3月末）までの年数を（実施回数＋1）で割ることでご回答ください。なお、建築初年度は年度途中で竣工した場合でも1年とカウントしてください。また、修繕、更新、改修の実施回数が5回以上の場合には、その回数としてください。

また、ご回答にあたっては、小数点以下第2位を四捨五入いただき小数点以下第1位までお答えください。

「建設から現在の全期間の実施周期」

=（建築から2019年度末現在（2020年3月末）までの期間）÷（実施回数＋1）

（例）1990年度に建てられた建物について、更新が6回実施されていた場合の求め方。

建築から現在までの期間＝2019（現在）－1990＋1＝30年間

「建築から現在の全期間の実施周期」＝30÷（6＋1）＝4.3（年）

問〇-8：これまでの総費用額は、修繕、更新、改修のそれぞれに関して、建築以降の費用が把握できている場合にその合計値をご回答ください。もしお分かりにならない場合には、「-」をご回答ください。

問〇-9：直近の更新費用は、修繕、更新、改修のそれぞれに関して、直近（1回前）の額を記載ください。また、直近年度において、修繕、更新、改修のそれぞれについて、1年間に複数回実施した場合、把握が可能な範囲で複数回の合計額を計上してください。

以下に、想定される修繕、更新、改修の区分の代表的な例を示します。

（例１）建物の照明器具（蛍光灯）が壊れた場合

修繕：部品の交換や配線、スイッチの交換など全体を取り換えない簡易な作業。（簡易なもの（10万円以下を目安）は維持管理コスト（点検・保守費）に計上ください）
更新：故障前と同じ照明器具（蛍光灯）に交換する
改修：故障前よりも性能（この場合には省エネ効果）の高い照明器具（LED）に交換する

（例２）屋根の防水シートが破損して漏水が発生している場合

修繕：屋根の防水シートの一部に上から別のシートを貼り付ける
更新：屋根の防水シートの全体を前と同じものに取り換える
改修：屋根の防水シートを強度が高いものに取り換える

（例３）空調施設が故障した場合

修繕：空調施設の室外機を取り換える
更新：以前と同程度の機能を有する設備一式に取り換える
改修：以前よりも高い機能（省エネ能力の向上など）を有する設備一式に取り換える

（例４）これまでガスを用いていた設備をオール電化に切り替える場合

修繕：非該当
更新：老朽化に伴い、一部の設備を電化に交換する。既存のガスコンロをIHに切り替える、給湯器をガス式から電気式に切り替える
改修：施設内の給湯設備一式をオール電化に取り換える

（例５）防音機能を強化する場合

修繕：非該当
更新：非該当
改修：床や壁などを防音仕様に変更する

（例６）耐震化を図る場合

修繕：非該当
更新：非該当
改修：柱などの強化により耐震強度を上げる、新たに耐震化、制震化、免震化する

問〇-10：修繕費、更新費に関して、建築当初からの情報がなく、直近５年間または10年間を計上の対象として記入いただいた場合には「直近５年間」または「直近10年間」を選択いただき、建築以降の全期間を計上の対象とした場合には、「全期間」を選択ください。

（例）建築してから年数が３年で、全期間を対象とした場合には、「全期間」を選択ください。

（例）建築してから年数が７年で、全期間を対象とした場合には、「全期間」を選択ください。

問18（問34）（問50）（問66）

今後、施設の利用を終了する際に想定されている解体処理等に係るコストをお答えください。

当該建物について、個別施設計画等に該当する値が記載されている場合にはその値をご記入ください。

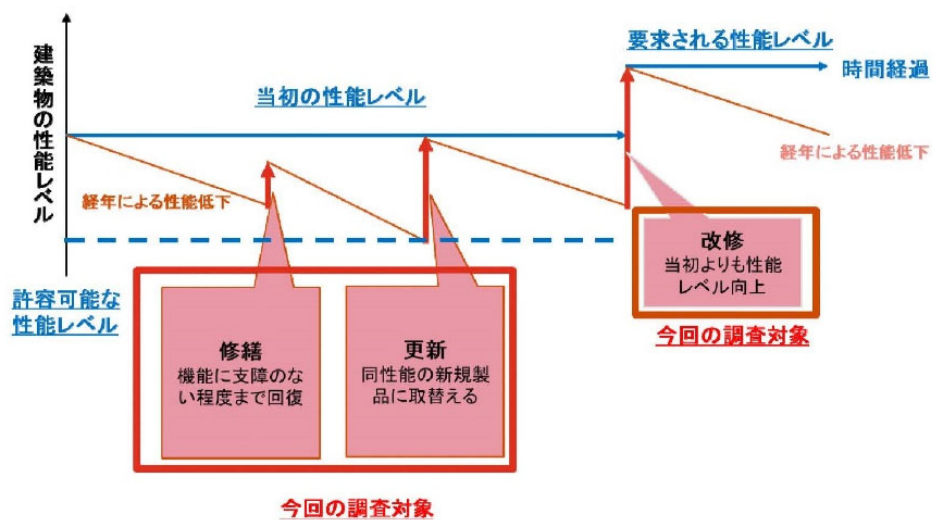
記載されていない場合や、現時点で想定が困難な場合には「-」を記入ください。

問18-4：「その他」は問18-1「解体処理コスト（自動算出）」の数値が、問18-2「解体コスト」、問18-3「廃棄処分コスト」の合計値と一致していない場合にご回答ください。通常は「0」になります。

問35-問66

通所系に関する設問（問35～問66）は、入所系施設に関する設問（問3～問34）と同様の内容となりますので、回答にあたっては上記の記載を適宜読み替えてご回答ください。

(参考) 修繕、更新、改修の概念を示す図



付録2 アンケート単純集計結果

表1 施設種別ごとの施設数の総数及び延床面積（問2）

施設種別		施設数（施設数）			施設の延床面積（㎡）		
		施設数の合計	回答のあった自治体数	1自治体あたりの施設数の平均	全国合計面積	1自治体あたりの延床面積の平均	1施設当たりの延床面積の平均
1	助産施設	29	24	1.2	249,628	10,401	8,608
2	乳児院	3	3	1.0	3,014	1,005	1,005
3	母子生活支援施設	44	41	1.1	52,069	1,270	1,183
4	児童養護施設	14	9	1.6	35,725	3,969	2,552
5	児童自立支援施設	30	28	1.1	155,767	5,563	5,192
6	婦人保護施設	14	12	1.2	14,863	1,239	1,062
7	児童心理治療施設	9	8	1.1	22,439	2,805	2,493
8	保育所	4,898	724	6.8	4,034,793	5,573	824
9	保育所型認定こども園	216	91	2.4	240,121	2,639	1,112
10	幼保連携型認定こども園	570	170	3.4	719,883	4,235	1,263
11	児童厚生施設（児童遊園は除く）	2,157	396	5.4	1,027,786	2,595	476
12	児童家庭支援センター	57	33	1.7	36,964	1,120	648
13	母子・父子福祉施設	9	9	1.0	5,949	661	661
合計		8,050	1,548	5.2	6,599,001	4,263	820

表 2 個別施設計画を策定している自治体における施設種別施設数及び延床面積（問 2）

		個別施設計画が策定された自治体					
施設種別		施設数			施設の延床面積		
		施設数の合計	回答のあった自治体数	1自治体あたりの施設数の平均	全国合計面積	回答のあった1自治体あたりの延床面積の平均	1施設あたりの延床面積の平均
1	助産施設	19	14	1.4	245,885	17,563	12,941
2	乳児院	1	1	1.0	1,911	1,911	1,911
3	母子生活支援施設	25	24	1.0	29,460	1,228	1,178
4	児童養護施設	5	5	1.0	9,125	1,825	1,825
5	児童自立支援施設	27	26	1.0	141,388	5,438	5,237
6	婦人保護施設	11	9	1.2	12,926	1,436	1,175
7	児童心理治療施設	7	6	1.2	19,049	3,175	2,721
8	保育所	3,768	540	7.0	3,190,080	5,908	847
9	保育所型認定こども園	142	63	2.3	154,366	2,450	1,087
10	幼保連携型認定こども園	458	127	3.6	581,758	4,581	1,270
11	児童厚生施設（児童遊園は除く）	1,635	294	5.6	754,934	2,568	462
12	児童家庭支援センター	33	19	1.7	24,443	1,286	741
13	母子・父子福祉施設	8	8	1.0	5,120	640	640
合計		6,139	1,136	5.4	5,170,445	4,551	842

表 3 回答のあった施設のうち個別施設計画を定めている施設の割合（問 2）

		個別施設計画を定めた場合の値÷総数の割合					
施設種別		施設数			施設の延床面積		
		施設数の合計	回答のあった自治体数	1 自治体あたりの施設数の平均	全国合計面積	回答のあった 1 自治体あたりの延床面積の平均	1 施設当たりの延床面積の平均
1	助産施設	65.5%	58.3%	112.3%	98.5%	168.9%	150.3%
2	乳児院	33.3%	33.3%	100.0%	63.4%	190.2%	190.2%
3	母子生活支援施設	56.8%	58.5%	97.1%	56.6%	96.7%	99.6%
4	児童養護施設	35.7%	55.6%	64.3%	25.5%	46.0%	71.5%
5	児童自立支援施設	90.0%	92.9%	96.9%	90.8%	97.8%	100.9%
6	婦人保護施設	78.6%	75.0%	104.8%	87.0%	116.0%	110.7%
7	児童心理治療施設	77.8%	75.0%	103.7%	84.9%	113.2%	109.1%
8	保育所	76.9%	74.6%	103.1%	79.1%	106.0%	102.8%
9	保育所型認定こども園	65.7%	69.2%	95.0%	64.3%	92.9%	97.8%
10	幼保連携型認定こども園	80.4%	74.7%	107.6%	80.8%	108.2%	100.6%
11	児童厚生施設（児童遊園は除く）	75.8%	74.2%	102.1%	73.5%	98.9%	96.9%
12	児童家庭支援センター	57.9%	57.6%	100.6%	66.1%	114.9%	114.2%
13	母子・父子福祉施設	88.9%	88.9%	100.0%	86.1%	96.8%	96.8%
合計		76.3%	73.4%	-	78.4%	-	-

【単純集計】

以下、最も古い（建築年が古い）施設を「最も古い施設」、最も近年に改修又は更新を実施した施設を「最も新しい施設」と記載する。

< 1 > 入所系・通所系施設別、最も古い及び新しい施設の内訳

（１）建物諸元

表 4 対象施設の建築年度

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 4-1)	最も新しい施設 (問 20-1)	最も古い施設 (問 36-1)	最も新しい施設 (問 52-1)
有効回答数	53	33	654	548
平均値（年度）	1,984	1,995	1,980	1,997
中央値（年度）	1,982	1,994	1,976	1,999

表 5 個別施設計画の策定年度

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 5-1)	最も新しい施設 (問 21-1)	最も古い施設 (問 37-1)	最も新しい施設 (問 53-1)
有効回答数	41	23	507	437
平均値（年度）	2,019	2,018	2,019	2,019
中央値（年度）	2,019	2,019	2,020	2,020

表 6 個別施設計画の初年度

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 5-2)	最も新しい施設 (問 21-2)	最も古い施設 (問 37-2)	最も新しい施設 (問 53-2)
有効回答数	41	23	481	413
平均値（年度）	2,019	2,019	2,019	2,019
中央値（年度）	2,020	2,020	2,020	2,020

表 7 個別施設計画の最終年度

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 5-3)	最も新しい施設 (問 21-3)	最も古い施設 (問 37-3)	最も新しい施設 (問 53-3)
有効回答数	41	23	449	384
平均値（年度）	2,033	2,034	2,034	2,034

中央値（年度）	2,029	2,029	2,030	2,030
---------	-------	-------	-------	-------

表 8 施設の構造（単一回答）

	入所系				通所系			
	最も古い施設 （問 6-1）		最も新しい施設 （問 22-1）		最も古い施設 （問 38-1）		最も新しい施設 （問 54-1）	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
RC 造 （鉄筋コンクリート構造）	39	73.6%	29	82.9%	332	50.9%	251	45.5%
S 造 （鉄骨構造）	4	7.5%	2	5.7%	138	21.1%	136	24.7%
SRC 造 （鉄骨鉄筋コンクリート 造）	8	15.1%	3	8.6%	13	2.0%	18	3.3%
木造構造	2	3.8%	1	2.8%	170	26.0%	146	26.5%
有効回答数	53	100.0%	35	100.0%	653	100.0%	551	100.0%

表 9 施設の階数（地上階）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 （問 6-2）	最も新しい施設 （問 22-2）	最も古い施設 （問 38-2）	最も新しい施設 （問 54-2）
有効回答数	53	34	651	546
平均値（階建）	3.1	2.8	1.4	1.5
中央値（階建）	3.0	2.0	1.0	1.0

表 10 施設の階数（地下階）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 （問 6-2）	最も新しい施設 （問 22-2）	最も古い施設 （問 38-2）	最も新しい施設 （問 54-2）
有効回答数	8	4	12	25
平均値（階建）	1.1	1.3	1.0	1.1
中央値（階建）	1.0	1.0	1.0	1.0

表 11 施設の延床面積

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 7-1)	最も新しい施設 (問 23-1)	最も古い施設 (問 39-1)	最も新しい施設 (問 55-1)
有効回答数	53	33	654	548
平均値 (㎡)	5,230	5,175	800	1,141
中央値 (㎡)	1,336	1,609	618	895

表 12 施設の耐震化状況 (単一回答)

	入所系				通所系			
	最も古い施設 (問 8-1)		最も新しい施設 (問 24-1)		最も古い施設 (問 40-1)		最も新しい施設 (問 56-1)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
実施済み	20	37.7%	29	82.9%	18	78.3%	160	29.8%
未実施 (今後実施予定無)	7	13.2%	2	5.7%	3	13.0%	40	7.5%
対象外	26	49.1%	3	8.6%	2	8.7%	336	62.7%
有効回答数	53	100.0%	35	100.0%	23	100.0%	536	100.0%

表 13 建設当初の耐用 (利用) 予定年数

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 9-1)	最も新しい施設 (問 25-1)	最も古い施設 (問 41-1)	最も新しい施設 (問 57-1)
有効回答数	33	24	374	342
平均値 (年)	51.2	52.0	44.9	45.8
中央値 (年)	50.0	50.0	47.0	47.0

表 14 現時点での今後の利用予定年数

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 9-2)	最も新しい施設 (問 25-2)	最も古い施設 (問 41-2)	最も新しい施設 (問 57-2)
有効回答数	33	21	370	321
平均値 (年)	31.0	37.2	41.3	58.6
中央値 (年)	28.0	40.0	12.0	30.0

表 15 施設の譲渡予定の有無（単一回答）

	入所系				通所系			
	最も古い施設 (問 10-1)		最も新しい施設 (問 26-1)		最も古い施設 (問 42-1)		最も新しい施設 (問 58-1)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
有	0	0%	0	0%	297	31.6%	11	2.0%
無	54	100.0%	33	100.0%	642	68.4%	541	98.0%
有効回答数	54	100.0%	33	100.0%	939	100.0%	552	100.0%

表 16 譲渡有の場合の譲渡年度（西暦）

	通所系	
	最も古い施設 (問 42-2)	最も新しい施設 (問 58-2)
有効回答数	383	11
平均値（年度）	2015	2022
中央値（年度）	2020	2022

表 17 全壊や半壊状態からの再建の有無（単一回答）

	入所系				通所系			
	最も古い施設 (問 11-1)		最も新しい施設 (問 27-1)		最も古い施設 (問 43-1)		最も新しい施設 (問 59-1)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
有	0	0%	0	0%	5	0.8%	8	1.5%
無	55	100.0%	34	100.0%	648	99.2%	542	98.5%
有効回答数	55	100.0%	34	100.0%	653	100.0%	550	100.0%

(2) 計画

表 18 運用コストに係る解体までの期間の費用見通し算出の有無（単一回答）

	入所系				通所系			
	最も古い施設 (問 12-1A)		最も新しい施設 (問 28-1A)		最も古い施設 (問 44-1A)		最も新しい施設 (問 60-1A)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
有	7	13.0%	2	5.9%	79	12.4%	53	9.7%
無	47	87.0%	32	94.1%	560	87.6%	494	90.3%
有効回答数	54	100.0%	34	100.0%	639	100.0%	547	100.0%

表 19 保全コストに係る解体までの期間の費用見通し算出の有無（単一回答）

	入所系				通所系			
	最も古い施設 (問 12-1B)		最も新しい施設 (問 28-1B)		最も古い施設 (問 44-1B)		最も新しい施設 (問 60-1B)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
有	13	24.1%	7	20.6%	113	17.7%	80	14.6%
無	41	75.9%	27	79.4%	525	82.3%	467	85.4%
有効回答数	54	100.0%	34	100.0%	638	100.0%	547	100.0%

表 20 運用コストに係る令和 2 年度の予算化の有無（単一回答）

	入所系				通所系			
	最も古い施設 (問 12-2A)		最も新しい施設 (問 28-2A)		最も古い施設 (問 44-2A)		最も新しい施設 (問 60-2A)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
有	18	33.3%	12	35.3%	187	29.1%	154	28.1%
無	36	66.7%	22	64.7%	456	70.9%	395	71.9%
有効回答数	54	100.0%	34	100.0%	643	100.0%	549	100.0%

表 21 保全コストに係る令和 2 年度の予算化の有無（単一回答）

	入所系				通所系			
	最も古い施設 (問 12-2B)		最も新しい施設 (問 28-2B)		最も古い施設 (問 44-2B)		最も新しい施設 (問 60-2B)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
有	15	27.8%	10	30.3%	177	27.6%	150	27.3%
無	39	72.2%	23	69.7%	465	72.4%	399	72.7%
有効回答数	54	100.0%	33	100.0%	642	100.0%	549	100.0%

(3) 実績

表 22 建築コスト（合計）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 13-1)	最も新しい施設 (問 29-1)	最も古い施設 (問 45-1)	最も新しい施設 (問 61-1)
有効回答数	30	21	367	381
平均値（円）	1,515,974,782	1,016,801,380	356,407,507	401,570,979
中央値（円）	231,915,006	441,200,500	77,300,000	265,350,000

表 23 設計コスト

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 13-2)	最も新しい施設 (問 29-2)	最も古い施設 (問 45-2)	最も新しい施設 (問 61-2)
有効回答数	12	12	141	227
平均値（円）	86,028,251	46,899,145	107,791,153	76,448,080
中央値（円）	15,815,000	33,518,920	5,094,380	12,600,000

表 24 新築コスト

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 13-3)	最も新しい施設 (問 29-3)	最も古い施設 (問 45-3)	最も新しい施設 (問 61-3)
有効回答数	29	21	340	365
平均値 (円)	1,511,668,149	969,380,390	306,985,934	331,218,623
中央値 (円)	232,117,011	428,325,660	73,322,000	245,805,000

表 25 工事監理コスト

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 13-4)	最も新しい施設 (問 29-4)	最も古い施設 (問 45-4)	最も新しい施設 (問 61-4)
有効回答数	4	7	81	155
平均値 (円)	10,962,500	13,258,291	18,282,747	8,973,195
中央値 (円)	5,020,000	6,000,000	3,990,000	8,000,000

表 26 その他

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 13-5)	最も新しい施設 (問 29-5)	最も古い施設 (問 45-5)	最も新しい施設 (問 61-5)
有効回答数	4	3	41	66
平均値 (円)	130,320,078	113,414,342	50,420,866	60,134,399
中央値 (円)	90,766,500	9,747,312	16,340,487	19,773,121

(4) 現状

表 27 直近 1 年間の運用コスト

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-1A)	最も新しい施設 (問 30-1A)	最も古い施設 (問 46-1A)	最も新しい施設 (問 62-1A)
有効回答数	42	31	590	487
平均値 (円)	20,356,268	10,789,321	7,213,302	9,624,972
中央値 (円)	2,511,609	5,502,136	2,016,175	2,590,000

表 28 運用コストの合計金額

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-1B)	最も新しい施設 (問 30-1B)	最も古い施設 (問 46-1B)	最も新しい施設 (問 62-1B)
有効回答数	2	5	46	76
平均値 (円)	6,045,222	7,501,010	13,219,945	17,235,563
中央値 (円)	6,045,222	7,663,526	6,876,000	7,069,764

表 29 直近 1 年間の光熱水コスト

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-2A)	最も新しい施設 (問 30-2A)	最も古い施設 (問 46-2A)	最も新しい施設 (問 62-2A)
有効回答数	42	31	587	484
平均値 (円)	19,462,264	9,805,643	2,291,463	2,663,059
中央値 (円)	2,264,092	5,502,136	1,810,849	2,408,351

表 30 光熱水コストの合計金額

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-2B)	最も新しい施設 (問 30-2B)	最も古い施設 (問 46-2B)	最も新しい施設 (問 62-2B)
有効回答数	2	5	46	76
平均値 (円)	6,045,222	7,501,010	13,098,184	11,480,005
中央値 (円)	6,045,222	7,663,526	6,441,500	5,816,165

表 31 直近 1 年間のその他 (税金等) の額

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-3A)	最も新しい施設 (問 30-3A)	最も古い施設 (問 46-3A)	最も新しい施設 (問 62-3A)
有効回答数	4	1	83	73
平均値 (円)	9,387,036	30,494,028	35,069,393	46,553,984
中央値 (円)	8,251,974	30,494,028	4,322,202	8,250,269

表 32 その他（税金等）の合計金額

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-3B)	最も新しい施設 (問 30-3B)	最も古い施設 (問 46-3B)	最も新しい施設 (問 62-3B)
有効回答数	0	0	2	9
平均値（円）	-	-	2,800,500	48,602,485
中央値（円）	-	-	2,800,500	9,455,915

表 33 直近 1 年間の保全コスト

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-4A)	最も新しい施設 (問 30-4A)	最も古い施設 (問 46-4A)	最も新しい施設 (問 62-4A)
有効回答数	43	28	566	467
平均値（円）	16,835,355	5,458,127	6,522,149	9,288,677
中央値（円）	4,122,615	2,012,654	1,279,849	1,494,276

表 34 保全コストの合計金額

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-4B)	最も新しい施設 (問 30-4B)	最も古い施設 (問 46-4B)	最も新しい施設 (問 62-4B)
有効回答数	3	4	55	81
平均値（円）	27,870,242	4,593,157	32,539,513	36,545,615
中央値（円）	14,227,196	4,274,031	7,378,642	4,449,178

表 35 直近 1 年間の維持管理コスト

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-5A)	最も新しい施設 (問 30-5A)	最も古い施設 (問 46-5A)	最も新しい施設 (問 62-5A)
有効回答数	40	23	481	403
平均値（円）	6,415,545	4,377,194	4,358,697	6,269,312
中央値（円）	2,023,921	1,504,558	678,316	868,902

表 36 維持管理コストの合計金額

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-5B)	最も新しい施設 (問 30-5B)	最も古い施設 (問 46-5B)	最も新しい施設 (問 62-5B)
有効回答数	2	4	37	61
平均値 (円)	7,655,318	4,195,671	18,538,701	30,037,569
中央値 (円)	7,655,318	3,513,078	2,937,000	2,945,093

表 37 直近 1 年間の修繕等コスト

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-6A)	最も新しい施設 (問 30-6A)	最も古い施設 (問 46-6A)	最も新しい施設 (問 62-6A)
有効回答数	40	23	512	413
平均値 (円)	11,679,627	2,262,552	3,024,868	3,941,599
中央値 (円)	807,562	823,770	568,324	463,803

表 38 修繕等コストの合計金額

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-6B)	最も新しい施設 (問 30-6B)	最も古い施設 (問 46-6B)	最も新しい施設 (問 62-6B)
有効回答数	3	3	50	69
平均値 (円)	22,766,697	529,982	22,044,347	16,346,422
中央値 (円)	2,207,561	698,136	5,446,300	1,223,208

表 39 直近 1 年間のその他の額

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-7A)	最も新しい施設 (問 30-7A)	最も古い施設 (問 46-7A)	最も新しい施設 (問 62-7A)
有効回答数	1	1	33	23
平均値 (円)	113,400	113,400	1,000,615	7,973,862
中央値 (円)	113,400	113,400	403,000	360,353

表 40 その他の合計金額

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 14-7B)	最も新しい施設 (問 30-7B)	最も古い施設 (問 46-7B)	最も新しい施設 (問 62-7B)
有効回答数	0	0	3	0
平均値 (円)	-	-	507,968	-
中央値 (円)	-	-	590,595	-

修繕費に関して

表 41 建設からこれまでの修繕実施回数

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 15-1)	最も新しい施設 (問 31-1)	最も古い施設 (問 47-1)	最も新しい施設 (問 63-1)
有効回答数	14	11	175	185
平均値 (回)	14	25.6	13.1	8.1
中央値 (回)	14	3.0	5.0	5.0

表 42 直近 (1 回前) の修繕実施年度 (西暦)

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 15-2)	最も新しい施設 (問 31-2)	最も古い施設 (問 47-2)	最も新しい施設 (問 63-2)
有効回答数	3	20	474	364
平均値 (年度)	2,018	2,018	2,018	2,018
中央値 (年度)	2,019	2,019	2,019	2,019

表 43 前回 (2 回前) の修繕実施年度 (西暦)

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 15-3)	最も新しい施設 (問 31-3)	最も古い施設 (問 47-3)	最も新しい施設 (問 63-3)
有効回答数	30	18	407	306
平均値 (年度)	2,018	2,017	2,018	2,018
中央値 (年度)	2,018	2,018	2,018	2,018

表 44 前々回（3回前）の修繕実施年度（西暦）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 15-4)	最も新しい施設 (問 31-4)	最も古い施設 (問 47-4)	最も新しい施設 (問 63-4)
有効回答数	28	16	375	265
平均値（年度）	2,017	2,017	2,017	2,017
中央値（年度）	2,017	2,017	2,017	2,017

表 45 前々々回（4回前）の修繕実施年度（西暦）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 15-5)	最も新しい施設 (問 31-5)	最も古い施設 (問 47-5)	最も新しい施設 (問 63-5)
有効回答数	25	14	360	236
平均値（年度）	2,016	2,016	2,016	2,016
中央値（年度）	2,016	2,016	2,016	2,016

表 46 次回修繕実施（予定）年度（西暦）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 15-6)	最も新しい施設 (問 31-6)	最も古い施設 (問 47-6)	最も新しい施設 (問 63-6)
有効回答数	20	12	299	228
平均値（年度）	2,020	2,020	2,020	2,021
中央値（年度）	2,020	2,020	2,020	2,020

表 47 建設から現在の全期間の修繕実施周期

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 15-7)	最も新しい施設 (問 31-7)	最も古い施設 (問 47-7)	最も新しい施設 (問 63-7)
有効回答数	13	12	289	205
平均値（年）	4.0	3.5	3.9	3.4
中央値（年）	1.0	1.0	2.5	1.0

表 48 これまでの総修繕費用額

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 15-8)	最も新しい施設 (問 31-8)	最も古い施設 (問 47-8)	最も新しい施設 (問 63-8)
有効回答数	15	8	205	187
平均値 (円)	135,245,000	93,975,786	8,643,896	6,185,847
中央値 (円)	5,902,370	3,103,594	2,810,738	1,585,945

表 49 直近 (1 回前) の修繕費用

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 15-9)	最も新しい施設 (問 31-9)	最も古い施設 (問 47-9)	最も新しい施設 (問 63-9)
有効回答数	34	19	477	369
平均値 (円)	12,438,675	1,576,487	1,428,429	1,820,727
中央値 (円)	638,801	386,000	291,500	270,500

表 50 修繕費用計上の対象期間 (単一回答)

	入所系				通所系			
	最も古い施設 (問 15-10)		最も新しい施設 (問 31-10)		最も古い施設 (問 47-10)		最も新しい施設 (問 63-10)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
直近 5 年間	32	68.1%	14	50.0%	402	67.5%	290	56.0%
直近 10 年間	2	4.3%	1	3.6%	37	6.2%	21	4.1%
建築以降全期間	13	27.6%	13	46.4%	157	26.3%	207	39.9%
有効回答数	47	100.0%	28	100.0%	596	100.0%	518	100.0%

更新費に関して

表 51 建設からこれまでの更新実施回数

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 16-1)	最も新しい施設 (問 32-1)	最も古い施設 (問 48-1)	最も新しい施設 (問 64-1)
有効回答数	9	4	105	95
平均値 (回)	11.8	23.0	4.9	4.3
中央値 (回)	3.0	20.5	2.0	2.0

表 52 直近 (1 回前) の更新実施年度 (西暦)

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 16-2)	最も新しい施設 (問 32-2)	最も古い施設 (問 48-2)	最も新しい施設 (問 64-2)
有効回答数	20	7	201	166
平均値 (年度)	2,014	2,017	2,016	2,017
中央値 (年度)	2,019	2,019	2,018	2,019

表 53 前回 (2 回前) の更新実施年度 (西暦)

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 16-3)	最も新しい施設 (問 32-3)	最も古い施設 (問 48-3)	最も新しい施設 (問 64-3)
有効回答数	14	5	132	100
平均値 (年度)	2,014	2,016	2,015	2,015
中央値 (年度)	2,018	2,018	2,017	2,017

表 54 前々回 (3 回前) の更新実施年度 (西暦)

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 16-4)	最も新しい施設 (問 32-4)	最も古い施設 (問 48-4)	最も新しい施設 (問 64-4)
有効回答数	11	3	97	73
平均値 (年度)	2,012	2,018	2,013	2,013
中央値 (年度)	2,017	2,018	2,017	2,016

表 55 前々々回（4 回前）の更新実施年度（西暦）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 16-5)	最も新しい施設 (問 32-5)	最も古い施設 (問 48-5)	最も新しい施設 (問 64-5)
有効回答数	8	3	74	53
平均値（年度）	2,011	2,014	2,012	2,014
中央値（年度）	2,016	2,016	2,016	2,016

表 56 次回更新実施（予定）年度（西暦）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 16-6)	最も新しい施設 (問 32-6)	最も古い施設 (問 48-6)	最も新しい施設 (問 64-6)
有効回答数	6	5	85	93
平均値（年度）	2,025	2,026	2,022	2,025
中央値（年度）	2,021	2,021	2,020	2,021

表 57 建設から現在の全期間の更新実施周期

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 16-7)	最も新しい施設 (問 32-7)	最も古い施設 (問 48-7)	最も新しい施設 (問 64-7)
有効回答数	8	4	111	104
平均値（年）	16.1	12.5	13.4	9.7
中央値（年）	18.7	10.5	6.6	5.3

表 58 これまでの総更新費用額

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 16-8)	最も新しい施設 (問 32-8)	最も古い施設 (問 48-8)	最も新しい施設 (問 64-8)
有効回答数	9	4	109	87
平均値（円）	22,730,295	3,462,985	13,192,539	18,925,337
中央値（円）	4,789,500	2,440,541	3,143,076	3,487,353

表 59 直近（1 回前）の更新費用

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 16-9)	最も新しい施設 (問 32-9)	最も古い施設 (問 48-9)	最も新しい施設 (問 64-9)
有効回答数	19	7	191	159
平均値（円）	2,273,117	590,074	4,247,515	11,421,838
中央値（円）	767,470	451,500	865,170	1,080,000

表 60 更新費用計上の対象期間（単一回答）

	入所系				通所系			
	最も古い施設 (問 16-10)		最も新しい施設 (問 32-10)		最も古い施設 (問 48-10)		最も新しい施設 (問 64-10)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
直近 5 年間	27	57.5%	13	46.4%	316	54.4%	234	46.1%
直近 10 年間	4	8.5%	2	7.2%	39	6.7%	20	3.9%
建築以降全期間	16	34.0%	13	46.4%	226	38.9%	254	50.0%
有効回答数	47	100.0%	28	100.0%	581	100.0%	508	100.0%

改修費に関して

表 61 建設からこれまでの改修実施回数

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 17-1)	最も新しい施設 (問 33-1)	最も古い施設 (問 49-1)	最も新しい施設 (問 65-1)
有効回答数	14	9	181	156
平均値（回）	4.9	5.8	3.6	3.0
中央値（回）	2.5	1.0	2.0	1.0

表 62 直近（１回前）の改修実施年度（西暦）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 17-2)	最も新しい施設 (問 33-2)	最も古い施設 (問 49-2)	最も新しい施設 (問 65-2)
有効回答数	21	12	293	239
平均値（年度）	2,016	2,015	2,013	2,016
中央値（年度）	2,019	2,017	2,017	2,018

表 63 前回（２回前）の改修実施年度（西暦）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 17-3)	最も新しい施設 (問 33-3)	最も古い施設 (問 49-3)	最も新しい施設 (問 65-3)
有効回答数	13	7	149	122
平均値（年度）	2,013	2,012	2,012	2,014
中央値（年度）	2,017	2,018	2,016	2,017

表 64 前々回（３回前）の修繕実施年度（西暦）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 17-4)	最も新しい施設 (問 33-4)	最も古い施設 (問 49-4)	最も新しい施設 (問 65-4)
有効回答数	11	6	99	74
平均値（年度）	2,012	2,008	2,011	2,013
中央値（年度）	2,016	2,017	2,015	2,016

表 65 前々々回（４回前）の改修実施年度（西暦）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 17-5)	最も新しい施設 (問 33-5)	最も古い施設 (問 49-5)	最も新しい施設 (問 65-5)
有効回答数	8	5	77	53
平均値（年度）	2,014	2,010	2,010	2,012
中央値（年度）	2,015	2,016	2,014	2,015

表 66 次回改修実施（予定）年度（西暦）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 17-6)	最も新しい施設 (問 33-6)	最も古い施設 (問 49-6)	最も新しい施設 (問 65-6)
有効回答数	5	5	92	80
平均値（年度）	2,034	2,027	2,023	2,028
中央値（年度）	2,021	2,020	2,021	2,021

表 67 建設から現在の全期間の改修実施周期

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 17-7)	最も新しい施設 (問 33-7)	最も古い施設 (問 49-7)	最も新しい施設 (問 65-7)
有効回答数	8	5	150	146
平均値（年）	19.9	26.0	16.3	11.1
中央値（年）	16.8	29.0	11.2	6.3

表 68 これまでの総改修費用額

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 17-8)	最も新しい施設 (問 33-8)	最も古い施設 (問 49-8)	最も新しい施設 (問 65-8)
有効回答数	10	6	143	128
平均値（円）	48,453,763	24,898,895	43,214,884	77,760,099
中央値（円）	26,217,824	18,383,368	18,550,440	24,255,000

表 69 直近（1 回前）の改修費用

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 17-9)	最も新しい施設 (問 33-9)	最も古い施設 (問 49-9)	最も新しい施設 (問 65-9)
有効回答数	21	9	272	228
平均値（円）	42,215,507	7,337,715	20,618,298	43,314,256
中央値（円）	9,387,593	2,980,000	4,269,670	9,187,500

将来設計

表 70 解体処理コスト（合計）

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 18-1)	最も新しい施設 (問 34-1)	最も古い施設 (問 50-1)	最も新しい施設 (問 66-1)
有効回答数	8	6	97	55
平均値（円）	52,505,700	39,164,267	37,781,515	30,803,506
中央値（円）	46,725,000	37,011,500	20,000,000	23,250,000

表 71 解体コスト

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 18-2)	最も新しい施設 (問 34-2)	最も古い施設 (問 50-2)	最も新しい施設 (問 66-2)
有効回答数	8	6	95	53
平均値（円）	52,359,575	39,030,933	32,252,576	27,463,305
中央値（円）	46,725,000	37,011,500	17,281,000	20,000,000

表 72 廃棄処理コスト

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 18-3)	最も新しい施設 (問 34-3)	最も古い施設 (問 50-3)	最も新しい施設 (問 66-3)
有効回答数	1	1	47	31
平均値（円）	1,169,000	800,000	12,371,271	6,289,481
中央値（円）	1,169,000	800,000	2,526,805	4,000,000

表 73 その他

	入所系		通所系	
	最も古い施設 (問 18-4)	最も新しい施設 (問 34-4)	最も古い施設 (問 40-4)	最も新しい施設 (問 66-4)
有効回答数	0	0	3	3
平均値（円）	-	-	1,074,912	986,412
中央値（円）	-	-	1,000,000	1,000,000

令和２年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
インフラ長寿命化のための児童福祉施設等における
更新費用等の算定に関する調査研究
事業報告書

発 行 日：令和３年３月

編集・発行：PwC コンサルティング合同会社